

指導目標		◎言語感覚を豊かにすることによって、思考力・判断力を高める。 ◎筋道を立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、伝え合う力を高める。				
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
4	朝のリレー	1	◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。	速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
	言葉に出会うために	3	◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。	速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。 情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
	シンシユン	6	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことができる。 ◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。	場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
5	情報を的確に聞き取る	3	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 ◎必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。		「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。	進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。
	情報整理のレッスン 比較・分類	1	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。		学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。
	情報を整理して書こうわかりやすく説明する	5	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。
	漢字1 漢字の組み立てと部首漢字に親しもう1	1	◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

6	ダイコンは大きな根？	3	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	
	ちよっと立ち止まって	4	◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
	思考のレッスン1 意見と根拠	1	◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。		学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	4	◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ◎目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 ◎自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。	話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
	漢字に親しもう2	1	◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。		
	文法への扉1 言葉のまじり を考えよう	2	◎単語の類別について理解することができる。	単語の類別について理解している。		単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
	情報を集めよう 情報を読み取る う 情報を引用しよう	4	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ◎目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。

7	詩の世界 [書く] 詩を作 ろう	4	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことができる。 ◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 ◎根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
	比喩で広がる言葉の世界	3	◎比喩などの表現の技法を理解し使うことができる。 ◎文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。	比喩などの表現の技法を理解し使っている。	「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
	言葉1 指示する語句と 接続する語句	2	◎指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。	指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。		今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
	言葉を集めよう もっと「伝わる」 表現を目ざして	2	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。
	読書を楽しむ	1	◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。		読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。
	本の中の中学生 あと少し、もう 少し 西の魔女が死んだ ブラインドの向 こうに見える光 読書案内 本の 世界を広げよう 読書コラム 本 との出会い	1	◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 ◎文章を読んで理解したに基づいて、自分の考えを確かなものにするすることができる。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
9	大人になれな かった弟たちに…	6	◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 ◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。	登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。
	星の花が降る ころに	6	◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ◎場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。	「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
	聞き上手にな ろう 質問で話を引き 出す	2	◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ◎必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。	進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。

	項目を立てて書く 案内文を書く	3	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書くようとしている。
	「推敲」読み手の立場に立つ	1	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えることができる。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。	粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。
1 0	言葉2 方言と共通語	2	◎共通語と方言の果たす役割について理解することができる。	共通語と方言の果たす役割について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
	漢字2 漢字の音訓	1	◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	5	◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。		文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
	思考のレッスン2 原因と結果	1	◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
	根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	5	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
	漢字に親しもう3	1	◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	「話し合い」話し合いの展開を捉える	1	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。	
1 1	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	5	◎意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。
	音読を楽しもう 大阿蘇	1	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。

		味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。	文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。			
音読を楽しもう いろは歌 古典の世界	1	◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 ◎古典にはさまざまな種類の作品があることを知ることができる。	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。		古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。	
蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」 から	4	◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 ◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。	進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。	
今に生きる言葉 「書く」故事成語 を使って体験 文を書こう	2	◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして、「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。	
1 2	「不便」の価値 を見つめ直す 「書く」根拠を 明確にして、意 見をまとめよう	4	◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ◎目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。 ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする ◎根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして、「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。
	助言を自分の文章 に生かそう 作品の書評を書 く	2	◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 ◎根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。
	漢字に親しもう 4	1	◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。 また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。	小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	

			章の中で使うことができる。			
	文法への扉2 言葉の関係を考 えよう 書写	2	◎単語の類別について理解することができる。	単語の類別について理解している。		単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
		6	◎文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	・点画の大きさを意識しながら作品を書こうとしている。		・点画の大きさを意識しながら作品を書こうとしている。
1	少年の日の思い出	7	◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
	漢字に親しもう 5	1	◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読み、また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉3 単語の性質を見 つけよう	2	◎単語の類別について理解することができる。	単語の類別について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
	随筆二編	3	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
2	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆 を書く	4	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 ◎根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
	言葉3 さまざまな表現技法	2	◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。		積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
3	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	5	◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ◎相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。

		理し、伝えたいことを明確にすることができる。			
さくらの はな びら	1	◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ◎文章を読んで理解したことに基 づいて、自分の考えを確かなもの にすることができる。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し 使っている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づい て、自分の考えを確かなものにして	文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考え を確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。
学習を振り返る う	3	◎比較や分類、関係づけなどの情報の 整理のしかた、引用のしかたや出 典の示し方について理解を深め、そ れらを使うことができる。 ◎共通語と方言の果たす役割につ いて理解することができる。 ◎文章の中心的部分と付加的な 部分、事実と意見との関係などにつ いて叙述を基に捉え、要旨を把握す ることができる。 ◎文章を読んで理解したことに基 づいて、自分の考えを確かなもの にすることができる。 ◎相手の反応を踏まえながら、自分 の考えがわかりやすく伝わるよう に表現を工夫することができる。 ◎根拠を明確にしなが	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用 のしかたや出典の示し方について理解を深め、それら を使っている。 共通語と方言の果たす役割について理解している。	「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、 事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把 握している。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づい て、自分の考えを確かなものにして 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえなが ら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫して いる。 「書くこと」において、根拠を明確にしなが	今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取 り組もうとしている。
漢字小テスト…◎ 文法小テスト…◎ 定期テスト…◎ 授業内の活動・発表… ◎ プリント…◎ 書写…◎	スピー ーチ …◎ 小作 文… ◎ 作文 …◎ 定期 テス ト… ◎ 授業 内の 活 動・ 発表 …◎ 授業 への 取 り 組 み …◎	授業への取り組み…◎ 授業内の活動・発表…◎ 授業ノート…◎ 漢字ドリル…◎ 提出物…◎ プリント…◎			
漢字小テスト…◎ 文法小テスト…◎ 定期テスト…◎ 授業内の活動・発表… ◎ プリント…◎ 書写…◎	スピー ーチ …◎ 小作 文… ◎ 作文 …◎ 定期 テス ト… ◎ 授業 内の				

	活動・発表 …◎ 授業への 取り組み …○			
評価方法・評価場面		漢字小テスト…◎ 文法小テスト…◎ 定期テスト…◎ 授業内の活動・発表…◎ プリント…◎ 書写…◎	スピーチ…◎ 小作文…◎ 作文…◎ 定期テスト…◎ 授業内の活動・発表…◎ 授業への取り組み…○	

指導目標		◎言語感覚を豊かにすることによって、思考力・判断力を高める。 ◎論理的に考える力や共感力、想像力を養い、伝え合う力を高める。				
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
4	見えないだけ	1	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。		進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	アイスプラネット	6	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。	登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。	「ぐうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。	積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	問いを立てながら聞く	1	◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 ◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。	提案された意見とそれを裏付けるための根拠を区別して捉えている。	・提案内容を理解し、その要点を的確にメモしている。 ・意見と根拠の結び付きに注意して聞き、疑問点や確認したい点を明確にしている。	進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。
5	枕草子	5	◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。	・作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。 ・生活を振り返って、自分ならではの季節感を表すものを見つけている。	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
	情報整理のレッスン 思考の視覚化	1	◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。	問題1～3に取り組み、情報どうしの関係を図で表している。		学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。
	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	5	◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	集めた情報を表や図にまとめ、整理している。	調べてみたい職業を決め、知りたいことに適した方法を考えて、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。	粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。
	漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう 1	1	◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

	クマゼミ増加の原因を探る	6	◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。 ◎文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。	文章が六つの部分できていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。	・筆者の主張を捉え、それと仮説1～3との関係を理解している。 ・文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。	積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
6	思考のレッスン1 具体と抽象	1	◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	問題1,2に取り組み、複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。		学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。
	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	5	◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。 ◎自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。 ◎資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる	相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。	・アピールしたい点が効果的に伝わるように話の構成を工夫している。 ・プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
	漢字に親しもう2	1	◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉1 単語をどう分ける？	2	◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。		今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
	メディアの比較 特徴を生かして 「目分」を 集めよう	3	◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ◎目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。 ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 ◎目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理することができる。	情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。	・適切な情報を得るためには、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気づいている。 ・同一の話題について書かれた複数の情報メディアを比較し、それぞれ特徴について考えている。 ・目的や状況に応じて、どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えている。	粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。
7	短歌に親しむ 短歌を味わう [書く]短歌を作ろう	6	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えることができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。	情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。	・複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。 ・好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。 ・自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。	進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
	言葉の力	2	◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉に対する筆者の考え方を捉え、本や文章には、筆者の考え方が書かれていることや、それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。	言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
	言葉1 類義語・対義語・多義語	2	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。		今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。

9	言葉を比べよう もっと「伝わる」 表現を目ざして	1	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	抽象的な概念を表す言葉について理解し、類義語の微妙な違いを考えることを通して語感を磨いている。		今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。
	読書を楽しむ 1時間	1	◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読んでいきたいかを考えている。		本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。
	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」 は人生の宝物 読書案内 本の 世界を広げよう	1	◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	翻訳の違いによって作品の印象が異なることを知り、他の翻訳作品を楽しもうとしている。	・二人の翻訳者による「星の王子さま」を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて発表している。 ・これまでの読書生活を振り返り、豊かにするためにできることを具体的に考えている。	進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。
	盆土産	6	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。	登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。	登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。	粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。
	字のない葉書	3	◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。	表現に着目して人柄や心情を読み取り、それを生かして他の随筆を読んでいる。	前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。	進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	1	◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。 ◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。	どのように質問をすると、相手がさらに話したくなるかを考えている。	・話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。	粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。
	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	3	◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。 ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。 ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	・何かをお願いする文面などにおいて、どのような言葉を選ぶと、相手に引き受けてもらえるかを考えている。 ・相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。	自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。	積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。
	「推敲」表現の効果を考える	1	◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。 ◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。	手紙を推敲し、適切な敬語に書き改めている。	読み手の立場に立って手紙を推敲し、気持ちがより伝わるような表現に書き改めている。	粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。
	言葉 2 敬語	1	◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。	敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。		今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。
10	漢字 2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう 3	1	◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	・文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。 ・同音異義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。		学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	モアイは語る ——地球の未来	6	◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎文章の構成や論理の展開について考えることができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	筆者の意見（主張）がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。	・文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結びつきや論の進め方を吟味している。 ・自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。	粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
	思考のレッスン 2 根拠の吟味	1	◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	問題1, 2に取り組み、根拠を吟味している。		今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。

	根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く	4	◎意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり，表現の効果を考えて描写したりするなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。	根拠となる事実を具体的に示したり，想定される反論に対する意見を示したりしている。	粘り強く根拠の適切さを考え，学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。
	漢字に親しもう	1	◎第1学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字を書き，文や文章の中で使うことができる。	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	「討論」異なる立場から考える	1	◎意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くために考えをまとめることができる。	賛成・反対それぞれの立場の人が，根拠となる①～⑧の事実から，どんな意見を述べるのかを考えている。	同じ情報を基にしたり，同じ観点で考えたりしても，立場によって異なる意見になり得ることに気づいている。	進んで意見と根拠の関係について理解し，今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。
	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	4	◎意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎目的や場面に応じて，社会生活の中から話題を決め，異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討することができる。 ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くために考えをまとめることができる。	説得力のある根拠と共に，意見をまとめている。	・地域や社会で話題になっていることの中からテーマを決め，異なる立場の人の考えを予想しながら考えをまとめている。 ・互いの意見の共通点や相違点，話し合いの論点を踏まえて話している。	進んで互いの立場や考えを尊重し，学習の見通しをもって討論しようとしている。
11	音読を楽しもう 月夜の浜辺	1	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎詩の構成や表現の効果について考えることができる。	詩の中の語句に着目し，詩全体の世界を豊かに想像している。	詩の中の反復表現，対句表現，反語表現に着目し，その効果を考えている。	進んで表現の効果について考え，今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。
	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語	1	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しむことができる。 ◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。	・漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。 ・冒頭部分の現代語訳を読んで，「無常観」を感じ取っている。		進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り，学習課題に沿って朗読しようとしている。
	扇の的——「平家物語」から	4	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しむことができる。 ◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。 ◎登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈することができる。	・古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・与一や義経の言動，扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し，古人のものの見方や考え方を捉えている。	「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え，作品を読み深めている。	進んで登場人物の言動の意味について考え，学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	仁和寺にある法師 ——「徒然草」から [書く]人物の特徴を捉えて論じよう	4	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しむことができる。 ◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように，段落相互の関係などを明確にし，文章の構成や展開を工夫することができる。	・古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりにして，法師の言動やそれに対する作者のものの見方，考え方を理解している。	・法師と同じような経験がないかを踏まえて，考えたことを話し合っている。 ・文章の構成を工夫して，古典の登場人物について論じる文章を書いている。	積極的に考えたことを知識や経験と結び付け，学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
	漢詩の風景	3	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しむことができる。 ◎観点を明確にして漢詩を比較するなどし，漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。	漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。	好きな漢詩を選び，気に入った表現や句を引用しながら，構成や表現の効果を伝え合っている。	進んで作品の特徴を生かして朗読し，学習課題に沿って好きな漢詩を選び，その理由を述べようとしている。
12	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ	6	◎意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ◎目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て，内容を解釈することができる。 ◎観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や論理の展開，表現の効果について考えることができる。	・筆者が，どのような例示（具体）を基に，「最後の晩餐」を「かっこいい。」（抽象）と述べているのかを理解している。 ・二つの文章を比較し，それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。	・二つの文章に書かれていることを比較したり，関係づけたりしながら，それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。 ・文章の構成や表現の特徴について，二つの文章を比較して発見したことを発表している。	粘り強く観点を明確にして文章を比較し，今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。

1 2 3	魅力を効果的に伝えよう鑑賞文を書く	3	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。	作品の魅力が伝わる言葉にはどんなものがあるかを考え、より効果的な語句や表現を選んでいる。	・作品の魅力が伝わるよう、作品に描かれている様子を具体的に説明している。 ・友達と鑑賞文を読み合い、意見交換をすることで、自分の鑑賞文のよさや改善点を見いだしている。	進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。	
	漢字に親しもう5	1	◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	1	◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。			今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。
	研究の現場によるこそ日本に野生のゾウやサイがいた頃クモの糸でバイオリン読書案内 本の世界を広げよう	1	◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読もうとしている。	教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合っている。		本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。
	書写行書	4	◎点画の連続を省略を理解して書くことができる。 ◎点画の連続と配列を理解して書くことができる。 ◎文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	・点画の連続と省略、配列、大きさを意識しながら作品を書こうとしている。		・点画の連続と省略、配列、大きさを意識しながら作品を書こうとしている。	
	走れメロス「書く」作品の魅力をもとめ、語り合おう	8	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。	・「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取っている。 ・「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。 ・登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力や文章にまとめている。	粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力や文章にまとめようとしている。	
	漢字に親しもう6	1	◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。			学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉3 一字違いで大違い	2	◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。			今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
	構成や展開を工夫して書こう「ある日の自分」の物語を書く	4	◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 ◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 ◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。	これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えている。	・起承転結の流れで構成を考え、場面の展開が明確になるように、それぞれの場面での出来事や心情を整理している。 ・書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。	粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。	
	言葉3 話し言葉と書き言葉	1	◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。	話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。			今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
漢字3 送り仮名	2	◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる	送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。			学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。	

<p>国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る</p>	<p>5</p>	<p>◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 ◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。</p>	<p>・結論を見出しに、詳細を本文に書くなど、構成を工夫して記事を書いている。 ・壁新聞のテーマを話し合う際に出た意見を、表などを用いてまとめている。</p>	<p>・壁新聞のテーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにしながら話し合い、結論を導いている。 ・伝えたいことの優先順位を考えて、記事の大きさや割り付けを工夫している。 ・読み手の立場に立って推敲し、表現を工夫している。</p>	<p>粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。</p>
<p>木</p>	<p>1</p>	<p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p>	<p>「愛」、「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。</p>	<p>自分の知識や経験と結び付けて、作者のもの見方について考えている。</p>	<p>進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のもの見方について話し合おうとしている。</p>
<p>学習を振り返ろう</p>	<p>3</p>	<p>◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。 ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 ◎自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。 ◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。</p>	<p>・相手の心が動くように、卒業生に贈る言葉を選び、その理由を考えている。 ・敬語の働きを理解し、電子メールの下書きを推敲している。 ・根拠を明確にして、卒業生に贈る言葉について書いている。</p>	<p>・教科書の「アイスプラネット」と長編版「アイスプラネット」とを比較して読み、物語の設定の違いを捉えている。 ・教科書の「アイスプラネット」と長編版「アイスプラネット」とを比較して読み、登場人物の違いによって、どんな展開の可能性が加わるかを考えている。 ・卒業生に贈る言葉を考え、出典や理由を明らかにして、話の構成を工夫している。 ・「卒業生に贈る言葉」についての大川さんの提案を論理の展開に注意して聞き、話し手の伝えたいことを捉えている。 ・気持ちや用件が的確に伝わるように電子メールを書いている。 ・読み手の立場に立ち、表現の効果を考えて電子メールを推敲している。</p>	<p>進んで登場人物の設定のしかたや根拠の適切さを考え、今までの学習を生かして、学習課題に取り組もうとしている。</p>
<p>評価方法・評価場面</p>		<p>漢字小テスト…◎ 文法小テスト…◎ 定期テスト…◎ 授業内の活動・発表…◎ プリント…◎ 書写…◎</p>	<p>スピーチ…◎ 小作文…◎ 作文…◎ 定期テスト…◎ 授業内の活動・発表…◎ 授業への取り組み…○</p>	<p>授業への取り組み…◎ 授業内の活動・発表…◎ 授業ノート…◎ 漢字ドリル…◎ 提出物…◎ プリント…◎</p>	
<p>前期・後期取り組みにおける評価の集計 全体のまとめの提示</p>					
<p>年度末の評価</p>					

指導目標		◎暮らしの中で必要な国語の知識や技能を身に付けさせ、日本語の言語文化に親しませる。 ◎論理的に考える力や豊かに想像する力を養わせ、人とのかかわりの中で伝え合う力を高めさせる。 ◎言葉の価値を理解し言語文化に関わらせ、思いや考えを伝え合おうとさせる。				
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
4	世界は美しいと	2	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
	握手	5	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。 ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。	粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
	学んで時に之を習ふ ——「論語」から	4	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ◎文章を読んで考えを上げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。	「読むこと」において、文章を読んで考えを上げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている	人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	情報整理のレッスン 情報の信頼性	1	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。		学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。
	文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する	4	◎文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ◎目的や意図に応じて社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 ◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。	文章の種類とその特徴について理解を深めている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	進んで文章の種類を選択し、学習の見直しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。
	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1	1	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	作られた「物語」を超えて	5	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。 ◎文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。	進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。

思考のレッスン 具体化・抽象化	2	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。		具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。
漢字に親しもう2	1	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
文法への扉1 すいかは幾つ必要？	2	◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。		助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	4	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。 ◎文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。 ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。	積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。
俳句の可能性 俳句を味わう	5	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ◎文章の構成や表現のしかたについて評価することができる。 ◎多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 ◎表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類とその特徴について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の構成や表現のしかたについて評価している。 ・「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ・「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。	進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を 目指して	1	◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。		時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。
言葉1 和語・漢語・ 外来語	1	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。
挨拶 ——原爆の写真によ せて	3	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎詩の構成や表現のしかたについて評価することができる。 ◎詩を読んで考えを上げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。 ・「読むこと」において、詩を読んで考えを上げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
説得力のある構成を 考えよう スピーチで社会に思 いを届ける	7	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ◎目的や場面にに応じて社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 ◎自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面にに応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。	相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。
故郷	6	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを上げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。

		◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。			
[推敲]論理の展開を整える	1	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。
言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	2	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。		積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。
漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	1	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
人工知能との未来 人間と人工知能と創造性	3	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	情報の信頼性の確かめ方を理解使っている。	・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている	積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
多角的に分析して書く 説得力のある批評文を書く	4	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 ◎表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。	粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見直しをもって批評文を書くようとしている。
漢字に親しもう4	1	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
音読を楽しもう 初恋	2	◎理解し表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎詩の構成や展開、表現のしかたについて評価することができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、詩の構成や展開、表現のしかたについて評価している。	進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。
和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	1	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなど使っている。	「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。	進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見直しをもって鑑賞文を書くようとしている。
君待つと ——万葉・古今・新古今	4	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 ◎和歌の表現のしかたについて評価することができる。	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなど使っている。	「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。	進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見直しをもって鑑賞文を書くようとしている。
夏草 ——「おくのほそ道」から	6	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなど使っている。	・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見もち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。

		て、自分の意見をもつことができる。 (思・判・表C(1)エ) ◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。			
古典名句・名言集	1	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。		長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。
誰かの代わりに	3	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。
情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く	3	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。
漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5	1	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
文法への扉2 「ない」の違いがわからない?	1	◎単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解することができる。	単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。		単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。
温かいスープ	4	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
わたしを束ねないで	2	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	6	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 ◎場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 ◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。

漢字に親しもう6	1	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
学習を振り返ろう	4	◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。 ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 ◎自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。 ◎場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 ◎表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。	・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使用している。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。	粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。
評価方法・評価場面			漢字小テスト…◎ 文法小テスト…◎ 定期テスト…◎ 授業内の活動・発表…◎ プリント…◎ 書写…◎	スピーチ…◎ 小作文…◎ 作文…◎ 定期テスト…◎ 授業内の活動・発表…◎	授業への取り組み…◎ 授業内の活動・発表…◎ 授業ノート…◎ 漢字ドリル…◎ 提出物…◎ プリント…◎
前期・後期取り組みにおける評価の集計 全体のまとめの提示					
年度末の評価					

1年社会科 年間指導計画

前後期	分野	単元	時限	項目	学習内容・学習活動	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む能力	
前	地理的分野	第1部 世界と日本の地域構成	1章 世界の姿	1	地球をながめて	さまざまな視点から地図を見て、世界や日本の姿を大観する。	①小学校での既得の知識や日常生活での経験などと関連させて世界のおもな国をあげるとともに、地図や地球儀に親しみ、さらに世界のおおまかな地域構成について興味・関心をもって捉えようとする。 ②国名や国旗、国境線の特色などから、これらはさまざまな地理的事象と密接に関連していることを多面的・多角的に考察することができる。 ③緯度と経度を使って世界の地点を示すことができるとともに、世界のおおまかな略地図をポイントをふまえて描いたり、統計資料を活用したりすることができる。 ④世界の六大陸三大洋、六つの州を捉えるとともに、おもな国の名称と位置や緯度と経度のしくみ、さまざまな世界地図の特色を理解している。
				2	いろいろな国の国名と位置	国名や面積、形、人口、国旗などに着目し、世界の国々を大観する。	
				3	緯度と経度	緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解し、活用する。	
				4	地球儀と世界地図の違い	地球儀と世界地図の違いを知り、その活用の仕方を身につける。	
				5	章の学習を振り返ろう	世界の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	
		第2章 日本の姿	6	世界の中での日本の位置	地球儀や世界地図を活用しながら、さまざまな方法で日本の位置を示す。	①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
			7	時差でとらえる日本の位置	時差のしくみを理解し、日本とおもな国々(都市)の時差による違いや配慮などを考える。		
			8	日本の領域とその特色	領域のしくみや日本の領域の特色を理解し、日本がかかえる領土問題について主体的に考える。		
			9	都道府県と県庁所在地	都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解する。		
			10	章の学習を振り返ろう	日本の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。		
	第2部 世界のさまざまな地域	第1章 人々の生活と環境	11	世界のさまざまな生活と環境	世界各地の市場の写真からその地域の気候の特色や人々の生活のようすを大まかに読み取る。	①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ①世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。 ②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
			12	暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～	インドネシアの人々の生活のようすから、暑い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。		
			13	乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～	アラビア半島の人々の生活のようすから、乾燥した地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。		
			14	温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～	スペインの人々の生活のようすから、地中海性気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。		
			15	寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～	シベリアの人々の生活のようすから、寒い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。		

	域		16	6 高地の暮らし～アンデス山脈での生活～	アンデス山脈の人々の生活のようすから、高地の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。		
			17	7 世界各地の衣食住とその変化	世界各地の衣食住の特色や変化、人々の生活との関係について理解する。		
			18	8 人々の生活と宗教の関わり	世界各地の宗教と人々の生活とのかかわりについて理解する。		
			19	章の学習を振り返ろう	人々の生活と環境に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。		
歴史的分野	第1部 歴史のとりえ方と調べ方	第1節 歴史の流れと時代区分	20	歴史をたどろう	絵を活用して、小学校で学んだ内容を取り上げ、歴史を大きく変えた人物や出来事を考察し、時代を区分することの意味や意義を理解する。	①年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 ①資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 ②時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。 ③過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
			21	1 年代の表し方と時代区分	西暦、世紀、元号の意味と使い方を理解する。 政治の中心地による時代区分や文化の特徴から名付けられた時代区分があることを理解する。		
			22				
			第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた	23	1 歴史の謎を探る～問いを作ろう～	地域の歴史にふれ、調べてみたいことがらを探し、班で話し合うなどしてから調べる課題を決定する。	①自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的なことがらとの関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 ②比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統・文化に対する関心を持ち、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	24						
	25						
	26	2 資料をよく見てヒントを探そう		教科書や地域の副読本など、身近な資料から基本的な情報を集め、調べる視点を明確にして、いくつかの予想(仮説)を立てる。ルートマップなどの地図を用意し、マナーを守りながら野外調査や聞き取り調査を行って、情報を収集し、整理する。			
	27						
	28						
	29	3 謎解きの答えを分かりやすくまとめよう		調べたり考えたりしたことを整理し、まとめの報告書(レポート)を作成する。調べたことを発表し、意見交換を行ったのち、調査全体をふりかえり、改善できる点や工夫できる点を探して、今後の調査活動に生かせるようにする。			
	30						
31							

第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり	第1章 古代 古代国家の成立と東アジア 第1節 人類の登場から文明の発生へ	32			
		33	1 人類がたどった進化	環境の変化とともに、人類はどのように進化してきたのかを、文章や資料から読み取り、表または図にまとめる。	①世界の古代文明や宗教のおこりに基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 ①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。
		34	2 世界各地で生まれる文明	文明はどのような地域で誕生し、またその地域ではどのようなものが生まれたのかを、文章や地図資料から読み取り、表にまとめる。	①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 ①仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。 ②古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
		35	3 東アジアの文明の広がり	中国に登場した秦や漢ではどのような政治が行われたのか、文章や資料から読み取る。	②古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。
		36	4 ギリシャとローマの政治と文明	ギリシャとローマではどのような政治が行われたのか、文章や資料から読み取り、現代の民主政治と異なる点を考える。	
		37	5 仏教・キリスト教・イスラム教の誕生	世界的な規模で信仰されている宗教は、どのように生まれ、広まっていったのか、文章や地図から読み取る。	
	第2節 東アジアの中の倭(日本)	38	タイムトラベル①縄文時代を眺めてみよう タイムトラベル②弥生時代を眺めてみよう	縄文時代と弥生時代の集落をえがいた想像図を比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があるかを読み取り、各時代の特色を考え、疑問があれば追究すべき課題(生徒自身の「単元を貫く問い」を設定する)。	①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとのかかわりなどをもとに、東アジアの文明の影響を受けながらわが国で国家が形成されていったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。
		39	1 縄文から弥生への変化	縄文時代から弥生時代にかけて、人々の生活はどのように変化したのか、稲作とかかわらせて考える。	②農耕の広まりや生産技術の発展に着目して、農耕の広まりが生活や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
		40	2 ムラがまとまりクニへ	日本列島の各地にあった国々はどのようにしてまとまっていったのか、中国の歴史書が伝えていることなどをもとに考える。	③日本列島における国家形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
		41	3 鉄から見えるヤマト王権	ヤマト王権はどのようにして勢力を拡大していったのか、鉄や前方後円墳が各地に広まった理由をもとに考える。	
第3節 中国にならった国家づくり	42	タイムトラベル③ 奈良時代を眺めてみよう	縄文時代や弥生時代の集落などと奈良時代の国分寺建設のようすをえがいた想像図を比べて、どのような点に変化し、どのような	①律令国家の確立に至るまでの過程をもとに、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	
	43	1 ヤマト王権と仏教伝来	蘇我氏や聖徳太子は、どのような国をつくろうとしたのか、蘇我氏と聖徳太子が協力して行った政策などをもとに考える。	②東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	
	44	2 律令国家を目指して	東アジア諸国との関係のなかで、倭(日本)はどのような改革を進めたのか、天智天皇と天武天皇が行った政策などを文章や資料	③律令国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	45	3 律令国家での暮らし	奈良時代の土地制度、税制度は人々の生活にどのような影響を与えたのか、資料などをもとに考える。		
	46	4 大陸の影響を受けた天平文化	奈良時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、大陸の影響と文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。		
	47				

			48	タイムトラベル④ 平安時代を眺めてみよう	平安時代(平安京)における人々や貴族の生活の様子をえがいた想像図を見て、奈良時代(平城京)と比べてどのような点が変わり、どのような共通点があるのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題(生徒自身の「単元を貫く問い」)を設定する。	①撰閣政治をもとに、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③古代の文化と東アジアとの関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
		49	1 権力を握った貴族たち	平安京に都を移したのち、朝廷の政治にどのような変化が見られるようになり、なぜ藤原氏が政治の実権を握ることができたのか、文章や系図などをもとに考える。		
		50	2 唐風から日本風へ変わる文化	平安時代にはどのような特色をもった新しい文学や仏教が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。		
		51	章の学習を振り返ろう	古代の日本で国が成立するための共通点や必要なことを考え、最も重要なものを選び、その理由とともに発表し合う。古代とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。		
後	地理的分野	第2部 世界のさまざまな地域	第1節 アジア州			①アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解している。 ②他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察、表現させる。 ③人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしている。
			52	1 アジア州の自然環境	アジア州を地域区分し、地形や気候を中心に、国々や自然などの基本的な特色を理解する。	
			53	2 アジア州の農業・文化と経済発展	アジア州の農業について、モンスーンの影響や降水量の違いに着目してその特色を理解するとともに、人口が集中する沿岸部で	
			54	3 経済発展を急速に遂げた中国	中国の急速な経済発展や生活の変化を工業化と関連付けて理解するとともに、急速な経済発展によっておこる課題について考え	
			55	4 最も近い隣国、韓国	文化や工業の特色、首都一極集中による地域の課題などについて理解し、日本との関わりについて考える。	
			56	5 経済発展を目指す東南アジア	外国とのかかわりの中で進んできた東南アジアの工業化の実態について理解する。	
			57	6 産業の発展と人口増加が急速に進む南アジア	南アジアの文化や産業の発展について、人口増加と関連させながら理解する。	
			58	7 資源が豊富な中央アジア・西アジア	西アジアや中央アジアの経済成長について資源開発と関連させながら理解する。	
			59	節の学習を振り返ろう	アジア州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	
			60	1 ヨーロッパ州の自然環境	地形や気候を中心に、ヨーロッパ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	
			61	2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性	位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を理解する。	
			62	3 EUの成り立ちとその影響	ヨーロッパ州の国境をこえた結びつきに着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを考える。	
			63	4 ヨーロッパの農業とEUの影響	ヨーロッパ州の農業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。	

	64	5 ヨーロッパの工業とEUの影響	ヨーロッパ州の工業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。	
	65	6 EUが抱える課題	EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題やこれからのEUのあり方について考える。	
第3節 アフリカ州	66	1 アフリカ州の自然環境	赤道をはさんで南北に広がる広大な範囲を概観し、地形や気候を中心に、アフリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	①アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べまとめている。 ②一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追究し、そのような貿易形態の問題点を多面的・多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。 ③モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。
	67	2 アフリカの歴史と文化	アフリカの文化の特色や変化について、歴史的背景やヨーロッパとのつながりに着目しながら理解する。	
	68	3 特定の輸出品に頼るアフリカの経済	アフリカの産業の実態や課題について、その変化に着目しながら理解する。	
	69	4 アフリカが抱える課題とその取り組み	アフリカ各国が抱えている問題を理解し、そこからの脱却について考える。	
第4節 北アメリカ州	70	1 北アメリカ州の自然環境	地形や気候を中心に、北アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	①多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解しまとめている。 ②北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察している。 ③世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。
	71	2 移民の歴史と多様な民族構成	北アメリカ州の民族構成や地域分布、多様な文化について理解する。	
	72	3 大規模な農業と多様な農産物	北アメリカ州の農業の特色について、世界の食料事情と関連させながら理解する。	
	73	4 世界をリードする工業	アメリカ合衆国の工業の発展と世界への影響について理解する。	
	74	5 アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題	アメリカ合衆国の人々の生活や文化の特色を理解し、世界への影響や課題を考える。	
第5節 南アメリカ州	75	1 南アメリカ州の自然環境	地形や気候を中心に、南アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	①多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解するとともに、ブラジルでは経済発展が進む一方で、経済格差などの問題が生じていることを、本文や資料から調べまとめている。近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。 ③多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。
	76	2 多様な民族・文化と人々の生活	南アメリカの文化の特色をその国々の歴史的背景に着目しながら理解する。	
	77	3 大規模化する農業と成長する工業	南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について、開発に着目しながら理解する。	
	78	4 ブラジルにみる開発と環境保全	アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、より良い地域の在り方	
	79	1 オセアニア州の自然環境	地形や気候を中心に、オセアニア州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	①自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすと、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べまとめている。 ②オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとの

歴史的分野	第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり	第6節 オセアニア州	80	2 移民の歴史と多文化社会への歩み	オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解する。	つながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。 ③広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
			81	3 他地域と結び付いて発展する産業	オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色を理解する。		
	第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり	第2章 中世 武家政権の成長と東アジア	第1節 武士の世の始まり	82	タイムトラベル⑤ 鎌倉時代を眺めてみよう 13～14世紀ごろのある場面	鎌倉時代の農村のようすをえがいた想像図を見て、平安時代と比べて、どのような点が変わり、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題(生徒自身の「単元を貫く問い」を設定する)。	①鎌倉幕府の成立などをもとに、武士が台頭して、主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②武士の政治への進出と展開や貴族の政治との違いに着目して、武家政治の特徴を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代から中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③武家政治の成立とユーラシアの交流について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
				83	1 各地で生まれる武士団	武士はどのようにして現れ、都や地方でどのような役割を果たし、どのように成長していったのかを、文章や資料などから読み取る。	
				84	2 朝廷と結び付く武士	平氏はどのような出来事をきっかけにして実権をにぎり、どのような政治を行い、なぜ滅ぼされたのか、予想を立てたり、文章や資料などから読み取ったりする。	
				85	3 鎌倉を中心とした武家政権	鎌倉を中心とした武家政権は、どのような特徴をもっていたのか、御家人の視点から考えたり、まとめたりする。	
				86	4 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 ◎鎌倉時代には、どのような特色を	鎌倉時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、武家の政治や新しい仏教の動きに着目させ、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。	
				87	1 海を越えて迫る元軍	蒙古襲来はどのような戦いで、幕府と御家人の関係にどのような影響を与えたのか、文章や絵画資料などから読み取ったり考え	
		第2節 武家政権の内と外	88	2 南北朝の内乱と新たな幕府	鎌倉幕府はどのようにしてほろび、その後、政治はどのように変化していったのか、守護と守護大名の違いなどに着目し、資料な		
			89	3 東アジアの交易と倭寇	室町幕府は東アジア諸国とどのような関係を築いたのか、文章や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。		
			90	4 琉球とアイヌの人々がつながる交易	琉球王国やアイヌの人々は周辺諸国とどのような関係を築いていたのか、資料や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。		
			91	タイムトラベル⑥ 室町時代を眺めてみよう 15世紀ごろのある場面	室町時代の港町のようすをえがいた想像図を見て、鎌倉時代と比べて、どのような点が変わり、どのような共通点があったのかを読み		
			92	1 技術の発達とさまざまな職業	鎌倉・室町時代において、産業と交通はどのように発達したのか、農業生産力向上のための工夫やさまざまな職業の登場、商		
			93	2 団結して自立する民衆	争いや戦乱が続くなかで、人々はどのような行動を起こしたのか、「自分たちの力」「利害」「結びつき」をキーワードにして、資料な		
			94	3 全国に広がる下剋上	応仁の乱をきっかけに、各地でどのような勢力が新たに力をつけたのか、地図などをもとに調べたりまとめたりする。		
第3節 人々の結び付きが強まる社会	95	4 庶民に広がる室町文化 ◎室町時代にはどのような特色を持っ	室町時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。	①農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などをもとに、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②農業や商工業の発達に着目して、民衆の成長が社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③民衆の成長と新たな文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			

	96	章の学習を振り返ろう 武家政権の成長と東アジア	中世までに登場した身分や職業を武士と庶民のまとまりに分けて、それぞれのタテとヨコの関係図をつくり、どのような結びつきが	
第3章 近世 武家政権の展開と世界の動き 第1節 大航海によって結び付く世界	97	1 ヨーロッパの変革	イスラム勢力の広がりによって、キリスト教中心のヨーロッパはどのように変化したのか、十字軍やルネサンスをもとにして考え	①ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている
	98	2 大航海時代の幕開け	新航路を開拓したヨーロッパの国々によって、世界はどのように変化したのか、地図などの資料をもとに考え、ヨーロッパとアジア	
	99	3 東アジアの貿易と南蛮人 ◇節の問いを振り返ろう◇ ヨーロッパの国々が進出した地域では、どのような変化が起こったのか、「貿易」と「キリスト教」という言葉を使って説明してみよう。	ヨーロッパとの貿易や交流は、戦国時代の日本にどのような影響を与えたのか、鉄砲とキリスト教に着目して考える。	
	100		◇各地域の経済と文化がどのように変化したかを確認させる。	
	101	タイムトラベル⑦ 安土桃山時代を眺めてみよう 16世紀ごろのある場面	安土桃山時代の町づくりが行われているようすをえがいた想像図を見て、鎌倉・室町時代と比べて、どのような点が変わり、どのような点が変わり、どのような点が変わり、どのような点が変わり、	①ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている
第2節 戦乱から全国統一へ	102	1 信長・秀吉による全国統一	織田信長は、どのようにして全国を統一していったのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに読み取る。	①ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている
	103	2 秀吉が導いた近世社会	豊臣秀吉が国内と海外に対して行った政策は、どのような影響を残したのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに考える。	
	104	3 戦国大名と豪商が担った桃山文化 ◇節の問いを振り返ろう◇ 信長と秀吉による全国統一政策により、日本の社会はどのように変わったか、中世の社会の特色と比較して説明しよう。	織田信長や豊臣秀吉が登場した時代には、どのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。	
	105		◇人々の生活や経済の変化に注目させる。	

指導目標		広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。				
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	第2編 日本のさまざまな地域 第1章 日本の姿	8	●地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観させる。	国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを理解し、様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。	日本の地域構成を、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の地域構成に対する関心を高め主体的に課題を追求しようとしている。
5月 6月 7月	第2章 世界と比べた日本の地域的特徴	22	●世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を様々な面から大観させる。	世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野から見た自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きを理解し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。	世界と比べた日本の地域的特色を、世界的視野や日本全体の視野から見た自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きを基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界と比べた日本の地域的特色に対する関心を高め、主体的に課題を追求しようとしている。
8月 9月 10月 11月	第3章 日本の諸地域	30	●日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいずれかを中核とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。	日本の諸地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいずれかを中核とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。	日本の諸地域の地域的特色を、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいずれかを中核とした考察の仕方を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、主体的に課題を追究しようとしている。
				前 期 評 価		
評価方法・評価場面				定期テスト …◎ 授業への取り組み…○ 小テスト …○ ノート …○ プリント …◎ レポート課題 …◎ (夏休み課題含む)…○	定期テスト …◎ 授業への取り組み…○ ノート …◎ プリント …◎ レポート課題 …◎ (夏休み課題含む)…○	定期テスト …○ 授業への取り組み…◎ ノート …◎ プリント …◎ レポート課題 …○ (夏休み課題含む)…○

<p>1 1 月</p> <p>1 2 月</p>	<p>【歴史的分野】</p> <p>第3章 近世の日本 発展と世界の動き</p> <p>1 節 ヨーロッパとの 出会い</p> <p>2 節 信長・秀吉の全国 統一</p> <p>3 節 江戸幕府の政治</p> <p>4 節 産業・交通の発達 と町人文化</p> <p>5 節 幕府政治の改革</p>	<p>9</p>	<p>●戦国の動乱とヨーロッパ人の来航、織田・豊臣による統一事業を通して、政治や社会の大きな変化について理解する。</p> <p>●身分制度を基盤とする社会が成立し展開したという観点から、我が国における近世社会（武家社会）の成立とその変化をとらえる。</p>	<p>・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航を、世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。</p> <p>・織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化を、わが国の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解するとともに、武将や豪商などの生活文化の展開に気付き、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。</p> <p>・近世日本の歴史に関して、その知識を十分に身につけ、江戸幕府が長く続いた理由を考えるために適切な資料を選択し、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。</p> <p>・江戸時代の農民の生活を資料を十分に活用して調べ、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。</p>	<p>・戦国の動乱と、その時期のヨーロッパ人の来航及びヨーロッパ文化がわが国の社会にもたらした影響を多角的・多面的に考察することができる。</p> <p>・織田・豊臣による統一事業と対外関係のあらまし、文化の展開を通して、歴史の流れと時代の特色を多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・様々な資料を通して、産業、交通、町人文化の特色を多面的・多角的に考察している。</p> <p>・身分制度が確立したことの意味を、差別された人々の立場に立って考察し、その過程や結果を適切に表現している</p>	<p>・戦国の動乱と、その時期のヨーロッパ人の来航に対する関心を高め、主体的に課題を追求しようとしている。</p> <p>・織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と文化の展開に対する関心を高め、主体的に課題を追求しようとしている。</p> <p>・江戸幕府の政治の仕組み、対外関係、身分制度に関心をもち、主体的に課題を追究しようとしている。</p> <p>・社会の変動や幕府政治改革に関心をもち、その時代に生きた人々の立場になって学習活動を行っている。</p>
<p>1 月</p> <p>2 月</p> <p>3 月</p>	<p>第4章 近代の日本と世界</p> <p>1 節 欧米諸国の進出と 幕府の危機</p> <p>2 節 明治・日本の国づ くり</p> <p>3 節 アジア最初の立憲 国家・日本</p> <p>4 節 近代産業の発展と 近代文化の形成</p>	<p>19</p>	<p>●19世紀後半の開国と明治維新以降の我が国の近代化の歴史について、世界の動きとのかかわりの中をとらえる。</p>	<p>・明治時代の日本と世界の歴史に関して基本的事項を理解し、資料から市民革命や産業革命の背景や、欧米諸国との対等の外交関係を樹立するまでの経緯を調べ、資料を読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。</p> <p>・様々な資料から日清戦争前後の産業の発展の様子を、読み取ったり、図表などにまとめたりすることができる。</p>	<p>・開国が政治的、社会的、経済的にどのような影響を与えたかについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・複雑な国際情勢の中で独立を保ち、近代国家を形成していった政府や人々の活動について考えを深め、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・市民革命の自由・平等の要求や産業革命の新たな労働問題から人権問題について関心をもちとともに、それらについて自分の意見を持つようとしている。</p> <p>・我が国の近代の歴史と、それに関わる世界の動きに関心を高め、国際協調の精神を養い主体的に課題を追求しようとしている。</p>
<p>学 年 末 評 価</p>						
				<p>定期テスト …◎</p> <p>授業への取り組み…○</p> <p>小テスト …○</p> <p>ノート …○</p> <p>プリント …◎</p> <p>レポート課題 …◎</p> <p>(夏休み課題含む)…○</p>	<p>定期テスト …◎</p> <p>授業への取り組み…○</p> <p>ノート …◎</p> <p>プリント …◎</p> <p>レポート課題 …◎</p> <p>(夏休み課題含む)…○</p>	<p>定期テスト …○</p> <p>授業への取り組み…◎</p> <p>ノート …◎</p> <p>プリント …◎</p> <p>レポート課題 …○</p> <p>(夏休み課題含む)…○</p>

指導目標		社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。				
月	章	時数	指導目標	観点別評価規準		
				知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	<p>【歴史的分野】</p> <p>第4章 近代の日本と世界</p> <p>第3節 アジア最初の立憲国家・日本</p> <p>第4節 近代産業の発展と近代文化の形成</p>	1 2	<ul style="list-style-type: none"> 自由民権運動の広がりや、大日本帝国憲法のおおまかな特色、帝国議会の仕組みや明治時代の選挙の仕組みや特徴を理解させる。 自由民権運動の広がりやが国会の開設や憲法の制定に与えた影響とその課題を考えさせる。 議会政治の始まりや国際社会との関わりについて、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究させる。 条約改正の経過を理解し、明治政府の国内での取組と世界情勢の変化から条約改正について考えさせる。 帝国主義の意味と、イギリス・ロシアの世界進出、日清戦争・日露戦争に至る経緯を、東アジアや世界の動きや日本の国内情勢から理解させる。 日清戦争・日露戦争が、その後の日本社会や東アジア、世界に与えた影響と変化について考えさせる。 日本の産業革命と国民生活の変化、教育や芸術の発展などを基に、日本で近代産業が発達し、近代文化が形成されたことを理解させる。 工業化の進展が国民生活や文化に与えた影響について、その光と影の二面性を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 近代産業の発達と近代文化の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自由民権運動の広がりや、大日本帝国憲法のおおまかな特色、帝国議会の仕組みや明治時代の選挙の仕組みや特徴を理解している。 帝国主義の意味と、イギリス・ロシアの世界進出、日清戦争・日露戦争に至る経緯を、東アジアや世界の動きや日本の国内情勢から理解している。 日本の産業革命と国民生活の変化、教育や芸術の発展などを基に、日本で近代産業が発達し、近代文化が形成されたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自由民権運動の広がりやが国会の開設や憲法の制定に与えた影響とその課題を考えている。 条約改正の経過を理解し、明治政府の国内での取組と世界情勢の変化から条約改正について考えている。 日清戦争・日露戦争が、その後の日本社会や東アジア、世界に与えた影響と変化について考えている。 工業化の進展が国民生活や文化に与えた影響について、その光と影の二面性を考察し、事象を相互に関連づけるなどして、近代の社会の変化の様子を、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 議会政治の始まりについて、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 国際社会との関わりについて、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 近代産業の発達と近代文化の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	<p>第5章 二度の世界大戦と日本</p> <p>第1節 第一次世界大戦前後の日本と世界</p> <p>第2節 第二次世界大戦終結までの日本と世界</p>	1 9	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦の背景とその後の民族運動の高まりと国際協調の動き、日本国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。 戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子や時代の特色を多角的・多面的に考察し、表現させる。 近代後半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦の背景とその後の民族運動の高まりと国際協調の動き、日本国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子や時代の特色を、多角的・多面的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 近代後半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。

5月	第6章 現代の日本と世界 第1節 第二次世界大戦後の占領と再建 第2節 経済大国・日本の国際的役割	1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きのなかで新しい日本の建設が進められたことを理解させる。 ・高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解させる。 ・諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多角的・多面的に考察し、表現させる。 ・現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きのなかで新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ・高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多角的・多面的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決している。
6月	【公民的分野】 第1章 現代社会と私たち	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解させる。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。 ・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際社会に与える影響について、また、文化の継承と想像の意義について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会の関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・私たちが生きる現代社会と文化の特色について、また、現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際社会に与える影響について、また、文化の継承と想像の意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会の関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが生きる現代社会と文化の特色について、また、現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
評価方法・評価場面			定期テスト …◎ 小テスト …○ 授業への取り組み …○ ノート …◎ レポート課題 …◎ (夏休みの課題含む)	定期テスト …◎ 小テスト …○ 授業への取り組み …○ ノート …◎ レポート課題 …◎ (夏休みの課題含む)	定期テスト …◎ 授業への取り組み …◎ ノート …◎ レポート課題 …○ (夏休みの課題含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業にまじめに参加し、課題の取組や発言等も含め、粘り強く熱心に取り組んでいる。 ・よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第2章 個人の尊厳と日本国憲法	1 6	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解させる。 ・民主的な社会生活を営むためには法に基づく政治が大切であること、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、わが国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決に向け自らの学習を振

			<p>主義を基本的原則としていることについて理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、わが国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多角的・多面的に考察、表現させる。 ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民主的な社会生活を営むためには法に基づく政治が大切であること、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 	<p>意義について、多角的・多面的に考察、表現している。</p>	<p>り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。</p>
第3章 現代の民主政治と社会	24	<ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解させる。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる。 ・地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・民主政治と政治参加について、現代社会の見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ・地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と政治参加について、現代社会の見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。 	
第4章 私たちの暮らしと経済	25	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について、また、市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際、市場における価格の決め方や資源の分配について理解させる。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の生産活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について、また、市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の分配について理解している。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の生産活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。 	

第5章 地球社会と私たち	1 5	<ul style="list-style-type: none"> 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解させる。 地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などの着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的、多角的に考察、構想し、表現させる。 世界編和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などの着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的、多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界編和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
--------------	-----	---	--	---	---

学 年 末 評 価

評価方法・評価場面	<table border="0"> <tr> <td>定期テスト</td><td>…◎</td> </tr> <tr> <td>小テスト</td><td>…○</td> </tr> <tr> <td>授業への取り組み</td><td>…○</td> </tr> <tr> <td>ノート</td><td>…◎</td> </tr> <tr> <td>レポート課題</td><td>…◎</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">（夏休みの課題含む）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 社会科用語の意味を理解している。 基本的な名称を理解している。 文章史料や資料統計を活用し、読み取りや計算などによって、問題を解くことができる。 </td> </tr> </table>	定期テスト	…◎	小テスト	…○	授業への取り組み	…○	ノート	…◎	レポート課題	…◎	（夏休みの課題含む）		<ul style="list-style-type: none"> 社会科用語の意味を理解している。 基本的な名称を理解している。 文章史料や資料統計を活用し、読み取りや計算などによって、問題を解くことができる。 		<table border="0"> <tr> <td>定期テスト</td><td>…◎</td> </tr> <tr> <td>小テスト</td><td>…○</td> </tr> <tr> <td>授業への取り組み</td><td>…○</td> </tr> <tr> <td>ノート</td><td>…◎</td> </tr> <tr> <td>レポート課題</td><td>…◎</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">（夏休みの課題含む）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 考える力を必要とする問題を解くことができる。 自分の考えたことをまとめ、記述をして表すことができる。 </td> </tr> </table>	定期テスト	…◎	小テスト	…○	授業への取り組み	…○	ノート	…◎	レポート課題	…◎	（夏休みの課題含む）		<ul style="list-style-type: none"> 考える力を必要とする問題を解くことができる。 自分の考えたことをまとめ、記述をして表すことができる。 		<table border="0"> <tr> <td>定期テスト</td><td>…◎</td> </tr> <tr> <td>授業への取り組み</td><td>…◎</td> </tr> <tr> <td>ノート</td><td>…◎</td> </tr> <tr> <td>レポート課題</td><td>…○</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">（夏休みの課題含む）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 授業にまじめに参加し、課題の取組や発言等も含め、粘り強く熱心に取り組んでいる。 よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 </td> </tr> </table>	定期テスト	…◎	授業への取り組み	…◎	ノート	…◎	レポート課題	…○	（夏休みの課題含む）		<ul style="list-style-type: none"> 授業にまじめに参加し、課題の取組や発言等も含め、粘り強く熱心に取り組んでいる。 よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 	
定期テスト	…◎																																										
小テスト	…○																																										
授業への取り組み	…○																																										
ノート	…◎																																										
レポート課題	…◎																																										
（夏休みの課題含む）																																											
<ul style="list-style-type: none"> 社会科用語の意味を理解している。 基本的な名称を理解している。 文章史料や資料統計を活用し、読み取りや計算などによって、問題を解くことができる。 																																											
定期テスト	…◎																																										
小テスト	…○																																										
授業への取り組み	…○																																										
ノート	…◎																																										
レポート課題	…◎																																										
（夏休みの課題含む）																																											
<ul style="list-style-type: none"> 考える力を必要とする問題を解くことができる。 自分の考えたことをまとめ、記述をして表すことができる。 																																											
定期テスト	…◎																																										
授業への取り組み	…◎																																										
ノート	…◎																																										
レポート課題	…○																																										
（夏休みの課題含む）																																											
<ul style="list-style-type: none"> 授業にまじめに参加し、課題の取組や発言等も含め、粘り強く熱心に取り組んでいる。 よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 																																											

指導目標		<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的に表現・処理する技能を育てる。 ○ 数学を活用して事象を論理的、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。 ○ 数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を進んで活用したり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとする態度を育てる。 				
月	章	時数	指導目標	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	0章 算数から数学へ 1 整数の性質	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 素因数分解の意味や素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 自然数をいくつかの数の積で表すと、もとの数の約数や、もとの数がどんな数の倍数であるかがわかることを理解している。 ⑤ 素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 素因数分解の結果から、数の性質を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだそうとしている。
5月	1章【正負の数】 数の世界をひろげよう 1 正負の数	25	<ul style="list-style-type: none"> ● 正負の数の必要性と意味を理解する。 ● 数直線や絶対値をもとにして正負の数の大小を考え、その関係を不等号を使って表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 正負の数の必要性と意味を、具体的な場面と結び付けて理解している。 ⑤ 数直線を使ったり、絶対値をもとにして正負の数の大小を考え、その関係を不等号を使って表すことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 正負の数の必要性と意味を考えようとしている。 ⑤ 正負の数の大小関係を考えようとしている。
	2 加法と減法		<ul style="list-style-type: none"> ● 正負の数の加法・減法の計算ができる。 ● 正負の数の加法と減法の混じった式を、項の和と見たり、式の計算をしたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 正負の数の加法・減法の意味や計算方法を理解し、計算ができる。 ⑤ 正負の数の加法・減法の混じった式の計算方法を理解し、計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 同符号、異符号の数の加法について、加えた2つの数と和の符号や絶対値に着目して、計算方法を見だし、説明することができる。 ⑤ 正負の数の加法と減法の混じった式を、項の和とみることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 正負の数の加法や減法、それらの混じった式の計算方法を考えようとしている。
6月	3 乗法と除法		<ul style="list-style-type: none"> ● 正負の数の乗法・除法、四則の混じった計算、分配法則を利用した計算ができる。 ● 累乗の意味を理解し、正負の数の累乗の計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 正負の数の乗法・除法の意味や、計算方法を理解し、計算ができる。 ⑤ 累乗の意味を理解し、正負の数の累乗の計算ができる。 ⑤ 正負の数の四則の混じった式の計算順序を理解し、計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 除法を乗法の逆算とみて、正負の数の除法の計算方法を考え、説明することができる。 ⑤ 数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 正負の数の乗法・除法、四則の混じった計算方法を考えようとしている。 ⑤ 数の範囲と四則計算の可能性の関係を調べようとしている。
	4 正負の数の利用		<ul style="list-style-type: none"> ● 正負の数を利用して、くふうして平均値を求める方法を考え、説明することができる。 ● 身のまわりの問題を、正負の数を利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 具体的な場面で正負の数を使って表したり処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 正負の数を利用して、工夫して平均値を求める方法を考え、説明することができる。 ⑤ 身のまわりの問題を、正負の数を利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ⑤ 正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

7月	2章【文字と式】 数学のことばを身につけよう 1 文字を使った式	18	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字を用いることの必要性和意味を理解し、具体的な数量を、文字を使った式で表すことができる。 ● πの意味を理解し、円周の長さや円の面積を、文字を使った式で表すことができる。また、文字を使った式が表す数量を、読み取ることができる。 ● 文字に数を代入することや式の値の意味を理解し、式の値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 文字を用いることの必要性和意味を理解している。 ㊦ 文字式の表し方のきまりを理解し、様々な数量を文字で表したり、文字式を読み取ったりすることができる。 ㊦ πの意味とπを使った式の表し方のきまりを理解し、文字を使った式で表すことができる。 ㊦ 文字に数を代入することや式の値の意味を理解し、式の値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 具体的な数量を表した文字が、どんな数の代わりとして使われているかを考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。
	2 文字式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ● 項と係数の意味を理解し、文字の部分が同じ項を1つの項にまとめることができる。 ● 1次式の加減乗除の計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 文字の部分が同じ項を1つの項にまとめることができる。 ㊦ 1次式の加減乗除の計算方法を理解し、計算ができる。 ㊦ 1次式のいろいろな計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 棒の本数を求める式から、その求め方を読み取り、図を使って説明することができる。 ㊦ 具体的な場面と関連づけて、1次式の加法・減法の計算方法を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 棒の本数を求める式から、その求め方を読み取って説明しようとしている。 ㊦ 1次式の計算方法を考えようとしている。 	
	3 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな整数を文字を用いた式で表したり、式が表す数を読み取ったりすることができる。 ● 等式、不等式の意味を理解し、数量の間の関係を等式や不等式で表したり、等式や不等式が表す数量の関係を読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ いろいろな整数を文字を用いた式で表したり、式が表す数を読み取ったりすることができる。 ㊦ 数量の間の関係を等式や不等式で表すことができる。 ㊦ 等式や不等式が表す数量の間の関係を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 具体的な事象と関連づけて考え、式や図を使って表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ㊦ 文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
9月	3章【方程式】 未知の数の求め方を考えよう 1 方程式とその解き方	14	<ul style="list-style-type: none"> ● 求めたい数量がある問題を、既習の内容を活用して解決することを通して、方程式の必要性を理解する。 ● 方程式とその解の意味を理解し、文字に値を代入して方程式の解を求めることができる。 ● 等式の性質等を利用して方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 方程式とその解の意味を理解している。 ㊦ 1次方程式を解く手順を理解しており、様々な方程式について、解を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 求めたい数量がある問題を、既習の内容を活用して考え、式や図を使って説明することができる。 ㊦ 等式の性質を使って方程式を解く過程を振り返って、移項の考えを見だし、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 求めたい数量がある問題を、既習の内容を活用して考えようとしている。 ㊦ 方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ㊦ 方程式を効率的に解く方法を考えようとしている。
評価方法・評価場面			<ul style="list-style-type: none"> ○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト <p>・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。</p> <p>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト <p>・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎授業への取り組み ◎ノート ◎ワーク・プリント ◎課題・レポート ◎自己評価・個人内評価 <p>・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</p>	
前期評価						

	2 1次方程式の利用		<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な場面に関する問題を、方程式を利用して解決することができる。 ● 比例式の性質を理解し、その性質を利用して文字の値を求めたり、具体的な問題を解決したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 具体的な問題の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。 ② 比例式の意味とその性質を理解し、比例式の性質を利用して文字の値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 1次方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。 ② 求めた解が問題に適しているかどうかを、問題の場面に戻って考え、説明することができる。 ② 比例式の性質を利用して、具体的な問題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 方程式や比例式を具体的な問題の解決に利用しようとしている。 ② 方程式を活用した問題解決の過程を振り返ってその手順を検討しようとしている。
10月	4章【比例と反比例】 数量の関係を調べて問題を解決しよう 1 関数と比例・反比例	22	<ul style="list-style-type: none"> ● 関数の意味及び変域の意味と表し方を理解し、変域を不等号を使って表すことができる。また、2つの数量の間に関数の関係があるかどうかを判断することができる。 ● 比例の意味を理解し、比例の関係を式に表すことができる。また、反比例の意味を理解し、反比例の関係を式に表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 関数の意味や、変域の意味と表し方を理解し、変域を不等号を使って表すことができる。 ② 比例・反比例の意味を理解し、その関係を式に表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 身のまわりの問題を、関数の考えを利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 関数の考えを生活や学習に生かそうとしている。 ② 関数関係の意味や比例、反比例について考えようとしている。
	2 比例の性質と調べ方		<ul style="list-style-type: none"> ● yがxに比例するとき、1組のx、yの値から、比例の式を求めることができる。 ● 比例について、xの値が増加するときのyの値の変化の特徴を理解する。また、比例のグラフの特徴をもとに、グラフをかくことができる。 ● 比例の表、式、グラフを関連づけて理解する。また、比例のグラフから式を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② yがxに比例するとき、1組のx、yの値から、yをxの式で表すことができる。 ② 点の座標を求めたり、座標を平面上の点で表したりすることができる。 ② 比例のグラフの特徴を理解して、グラフや、座標、通る点から式を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 比例のグラフの特徴を見だし、説明することができる。 ② 比例の表やグラフから式を求める方法を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 変域や比例定数を負の数にひろげて、比例のグラフの特徴を捉えようとしている。 ② 比例の値の変化の特徴を、表やグラフを用いて捉えようとしている。 ② 比例について学んだことを生かして、比例の表、式、グラフを関連づけて捉えようとしている。
11月	3 反比例の性質と調べ方		<ul style="list-style-type: none"> ● yがxに反比例するとき、1組のx、yの値から、反比例の式を求めることができる。 ● 反比例のグラフや、値の変化特徴を理解する。また、反比例のグラフをかくことができる。 ● 反比例の表、式、グラフを関連づけて理解する。また、反比例のグラフから式を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② yがxに反比例するとき、1組のx、yの値から、反比例の式を求めることができる。 ② 反比例のグラフは、式をみたす点の集合であり、なめらかな2つの曲線であることを理解している。 ② 反比例のグラフの特徴を理解して、グラフをかいたり、グラフから式を求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 反比例のグラフの特徴を見だすことができる。 ② 反比例について、xの値が増加するときのyの値の変化の特徴を、表やグラフを用いて捉え、説明することができる。 ② 反比例の表やグラフから式を求める方法を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 数の範囲を負の数までひろげると反比例の性質やグラフの特徴がどうなるかやその調べ方を考えようとしている。 ② 反比例について学んだことを生かして、反比例の表、式、グラフを関連づけて捉えようとしている。
	4 比例と反比例の利用		<ul style="list-style-type: none"> ● 身のまわりの問題で、関数の関係にある数量を見だし、その関係を比例とみなして解決することができる。 ● 身のまわりの問題を比例や反比例を利用して解決することができる。また、$a=bc$で表される関係において、それらの数量の間関係を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 比例のグラフから、具体的な事象を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 具体的な事象の中の数量の関係が比例や反比例であることを見だし、問題を解決することができる。 ② 具体的な事象の中の数量の関係を比例とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ② 比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

12月	5章【平面図形】 平面図形の見方を広げよう 1 図形の移動	17	<ul style="list-style-type: none"> ● 平行移動・回転移動・対称移動の意味とその性質を理解する。 ● 2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 ㊦ 平行移動・回転移動・対称移動の意味とその性質を理解し、実際に移動した図を描くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉えようとしている。 ㊦ 図形の移動について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
	2 基本の作図		<ul style="list-style-type: none"> ● 作図における定規とコンパスの役割と使い方を理解し、簡単な作図ができる。 ● 基本的な作図方法を習得し、それらを利用して、円の接線やいろいろな条件をみたす図形を作図したり、説明したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 作図における定規とコンパスの役割と使い方を理解し、簡単な作図ができる。 ㊦ 垂線、線分の垂直二等分線、角の二等分線を作図する方法を理解し、作図することができる。 ㊦ 円の接線、接点の意味と円の接線の性質を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 正六角形がかける理由を、コンパスの役割に着目して考え、説明することができる。 ㊦ 基本的な作図を利用して、円の接線やいろいろな条件をみたす図形や角度を作図する方法を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 基本的な作図の方法を、線対称な図形の性質をもとにして考えようとしている。 ㊦ 作図について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ㊦ 基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	3 おうぎ形		<ul style="list-style-type: none"> ● 身のまわりにあるものを円とみなして、その円を等分してできるおうぎ形に着目し、弧の長さや面積が中心角に比例することを理解する。 ● おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ おうぎ形の弧の長さや面積が中心角に比例することをもとにして、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ㊦ おうぎ形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
1月	6章【空間図形】 立体の見方をひろげよう 1 いろいろな立体	18	<ul style="list-style-type: none"> ● 身のまわりにあるものから立体を見だし、それらの立体をいろいろな見方で分類することができる。 ● 多面体の意味を理解する。また、角錐や円錐の意味とそれらの特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ (正)多面体や角錐、円錐の意味とそれらの特徴を理解している。 ㊦ 正多面体の辺の数や頂点の数を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 立体をいろいろな見方で分類し、立体のどこに着目して分類したかを説明することができる。 ㊦ 角柱と角錐、円柱と円錐、角錐と円錐の共通点やちがいを見だし、説明することができる。 ㊦ 正多面体の共通点やちがいを見だし、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。
	2 立体の見方と調べ方		<ul style="list-style-type: none"> ● 角柱や円柱、円錐、球などを、平面図形の移動によってできた立体とみることができる。 ● 円錐の展開図で、側面になるおうぎ形の中心角を求め、展開図をかくことができる。 ● 投影図の意味を理解し、立体の投影図から、その立体を読み取ったり、投影図に立体のどの部分の実際の長さがあらわれるかを考え、説明したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 空間内にある平面や直線の位置関係を理解している。 ㊦ 円錐の展開図で、側面になるおうぎ形の弧の長さや、中心角を求めることができる。 ㊦ 投影図の意味と立体の投影図のかき方を理解している。 ㊦ 立体の投影図から、その立体を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 空間内にある直線や平面の関係について、具体物を用いて考え、説明することができる。 ㊦ 円錐の展開図で、側面になるおうぎ形の中心角を求める方法を考え、説明することができる。 ㊦ 投影図に立体のどの部分の実際の長さがあらわれるかを考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えようとしている。 ㊦ 空間図形を平面上に表現して、平面上の表現から空間図形の性質を見いだそうとしている。

2月	3 立体の体積と表面積		<ul style="list-style-type: none"> ● 角柱や円柱の体積や表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。 ● 球の体積や表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 角柱や円柱の体積や表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。 ㊦ 球の体積や表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 角錐や円錐の体積を、底面積が等しく、高さが等しい角柱や円柱の体積と比べ、その求め方を考え、説明することができる。 ㊦ 角柱や円柱、円錐の表面積の求め方を、展開図をもとにして考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 立体図形の体積や表面積の求め方を考えようとしている。
	7章【データの分析と活用】 データを活用して判断しよう 1 データの整理と分析	10	<ul style="list-style-type: none"> ● データを度数分布表やヒストグラムに表し、分布の特徴を読み取り、説明することができる。 ● 相対度数の必要性和意味を理解し、2つのデータを相対度数の折れ線に表して、分布を比較し、説明することができる。 ● 代表値や範囲を用いてデータの分布の傾向を読み取り、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ ヒストグラムや度数折れ線の必要性和意味を理解し、それらを用いてデータを整理することができる。 ㊦ 累積度数、相対度数、累積相対度数の必要性和意味を理解し、求めることができる。 ㊦ 代表値や範囲の必要性和意味を理解し、それらを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 度数分布表やヒストグラムから、データの分布の特徴を読み取り、説明することができる。 ㊦ 相対度数の折れ線から、2つのデータの分布を比較し、説明することができる。 ㊦ 代表値や範囲を用いてデータの分布の傾向を読み取り、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 既習のデータの整理や分析の方法を、問題解決に生かそうとしている。 ㊦ ヒストグラムや相対度数の必要性和意味を考えようとしている。 ㊦ 代表値や範囲の必要性和意味を考えようとしている。
	2 データの活用		<ul style="list-style-type: none"> ● 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしている。
3月	3 ことからの起こりやすさ		<ul style="list-style-type: none"> ● 不確定な事象の起こりやすさを、その事象の起こる割合や試行の回数に着目して考え、説明することができる。 ● 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 不確定な事象の起こりやすさを、その事象の起こる割合や試行の回数に着目して考え、説明することができる。 ㊦ 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
	まとめ	13				
評価方法・評価場面			<ul style="list-style-type: none"> ○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト <p>・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。</p> <p>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト <p>・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎授業への取り組み ◎ノート ◎ワーク・プリント ◎課題・レポート ◎自己評価・個人内評価 <p>・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	
学年末評価						

指導目標		○ 基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的に表現・処理する技能を育てる。 ○ 数学を活用して事象を論理的、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。 ○ 数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を進んで活用したり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとする態度を育てる。				
月	章	時数	指導目標	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	1章【式の計算】 文字式を使って説明しよう 1 式の計算	15	<ul style="list-style-type: none"> ● 身のまわりの問題を、具体的な数の計算をもとに考え、文字を用いて一般的に表す必要性を理解する。 ● 同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算や、多項式の加法や減法の計算ができる。 ● 単項式どうしの乗法と除法の混じった計算ができる。また、式の値をくふうして求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 文字を使うと、数量を一般的に表すことができることを理解している。 ⑧ 多項式についてのいろいろな計算ができる。 ⑧ 単項式どうしの乗法と除法の混じった計算ができる。 ⑧ 式の値をくふうして求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 身のまわりの問題を、具体的な数の計算をもとに考え、説明することができる。 ⑧ 既習の計算方法と関連付けて、2つの文字をふくむ多項式と数の乗法や除法の計算を考え、説明することができる。 ⑧ 単項式の乗法や除法の計算方法を、面積図を用いて考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ⑧ 既習の計算方法と関連付けて、多項式の計算方法を考えようとしている。 ⑧ 単項式の乗法や除法の意味を考えようとしている。 ⑧ 式の値をくふうして求める方法を考えようとしている。
5月	2 文字式の利用		<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な数の性質をもとに数の性質を見だし、その性質が成り立つことを、文字を使って一般的に説明できることを理解する。 ● 目的に応じて等式を変形することの必要性を理解し、等式を変形して、ある文字について解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 文字を使うと、数の性質を一般的に説明することができることを理解している。 ⑧ 文字を使って数量を表したり、説明することがらに合わせて文字式を変形したりすることができる。 ⑧ 等式を変形して、ある文字について解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。 ⑧ 文字を使った説明を読んで新たな性質を見だしたり、問題の条件を変えて統合的・発展的に考え説明したりすることができる。 ⑧ 予想したことがらが正しくない理由を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ⑧ 文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ⑧ 目的に応じて等式を変形することの必要性を考えようとしている。
6月	2章【連立方程式】 方程式を利用して問題を解決しよう 1 連立方程式とその解き方	12	<ul style="list-style-type: none"> ● 求めたい数量が2つある問題を、既習の1元1次方程式などを活用して解決することができる。 ● 2元1次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解する。 ● 加減法や代入法を理解し、それを用いているいろいろな連立方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 連立方程式では、1つの文字を消去して1次方程式をつくれれば解けることを理解している。 ⑧ 加減法や代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。 ⑧ $A=B=C$の形をした連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 求めたい数量が2つある問題を、既習の1元1次方程式などを活用して解決することができる。 ⑧ 連立方程式で、1つの文字を消去する方法を考え、説明することができる。 ⑧ 連立方程式の解き方を振り返って、加減法と代入法を統合的に捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 1元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ⑧ 連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ⑧ いろいろな連立方程式を、既知の連立方程式になおして解く方法を考えようとしている。
	2 連立方程式の利用		<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な問題を、連立方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 ● 個数と代金、速さ・時間・道のりに関する問題、割合に関する問題などを、連立方程式を利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 具体的な問題の中の数量やその関係に着目し、連立方程式をつくることができる。 ⑧ 連立2元1次方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 連立2元1次方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。 ⑧ 求めた解が問題に適しているかどうかを、問題の場面に戻って考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 連立2元1方程式を具体的な問題の解決に利用しようとしている。 ⑧ 連立2元1方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、その手順を検討しようとしている。
	3章【1次関数】 関数を利用して問題を解	19	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を調べ、一定の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 1次関数の意味を理解し、$y=ax+b$の式に表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を調べ、一定の 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 1次関数の必要性和意味を考えようとしている。

7月 9月	決しよう 1 1次関数		で変化していることを見いだす。 ● 1次関数の意味を理解し、 $y=ax+b$ の式に表すことができる。	㊦ 比例 $y=ax$ は、1次関数 $y=ax+b$ で $b=0$ の特別な場合であることを理解している。	割合で変化していることを見いだし、表やグラフを用いて説明することができる。	
	2 1次関数の性質と調べ方		● 1次関数 $y=ax+b$ の式やグラフの特徴を理解する。 ● 1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。 ● グラフから情報を読みとって1次関数の式を求めることができる。	㊦ 1次関数 $y=ax+b$ について a や b についての名称や特徴について理解している。 ㊦ グラフから情報を読み取って、1次関数の式を求めることができる。	㊦ 1次関数の値の変化の特徴を見いだし、説明することができる。 ㊦ 1次関数のグラフの特徴を見いだし、説明することができる。 ㊦ 1次関数の表、式、グラフを、相互に関連付けて考え、説明することができる。	㊦ 1次関数の値の変化の特徴を捉えようとしている。 ㊦ 比例のグラフと対比させて、1次関数のグラフの特徴を捉えようとしている。 ㊦ 1次関数の式を求める条件や求める方法を考えようとしている。
	3 2元1次方程式と1次関数		● 2元1次方程式のグラフをかくことができる。 ● 2元1次方程式 $ax+by=c$ で、 $a=0$ や $b=0$ の場合のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。	㊦ 2元1次方程式のグラフをかくことができる。 ㊦ 2元1次方程式 $ax+by=c$ で、 $a=0$ や $b=0$ の場合のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。	㊦ 連立方程式の解の意味を、2つの2元1次方程式のグラフを用いて捉え、説明することができる。	㊦ 2元1次方程式や連立方程式の解の意味を、グラフを用いて捉えようとしている。
評価方法・評価場面			○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	◎授業への取り組み ◎ノート ◎ワーク・プリント ◎課題・レポート ◎自己評価・個人内評価 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	
前期評価						
10月	4 1次関数の利用		● 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決する方法を説明することができる。 ● 図形の辺上を動く点によってできる図形の面積の変化を、1次関数の式やグラフで表すことができる。	㊦ 身のまわりには、2つの数量の間の関係を1次関数とみなして問題を解決できる場面があることを理解している。 ㊦ 1次関数のグラフを利用して問題を解決できることや、グラフのよさを理解している。	㊦ 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決する方法を説明したり、グラフを利用して問題を解決したりすることができる。	㊦ 1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ㊦ 1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	4章【平行と合同】 図形の性質の調べ方を考えよう 1 説明のしくみ	15	● 多角形の内角の和の求め方を説明することができる。 ● n 角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。 ● n 角形の外角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。	㊦ 多角形の内角、外角の意味を理解している。 ㊦ 多角形の内角の和の性質は、三角形の内角の和をもとに見いだせることを理解している。 ㊦ 多角形の外角の和の性質は、多角形の内角の和をもとに見いだせることを理解している。	㊦ 多角形の内角の和の求め方を説明することができる。 ㊦ n 角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。 ㊦ n 角形の外角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。	㊦ 多角形の角についての性質の説明で、もとにしていることがらを考えようとしている。

11月	2 平行線と角		<ul style="list-style-type: none"> ● 対頂角, 同位角, 錯角の意味を理解し, それらの関係を, 論理的に筋道を立てて説明することができる。 ● 三角形の内角の和が 180° であることを, 論理的に筋道を立てて説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 対頂角, 同位角, 錯角, 証明の意味を理解している。 ② 平行線の性質, 平行線になるための条件を理解している。 ② 三角形や多角形の内角, 外角の性質を理解し, 角の大きさを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 対頂角が等しいことや, 平行線と錯角の関係を, 論理的に筋道を立てて説明することができる。 ② 三角形の内角の和が 180° であることを, 論理的に筋道を立てて説明することができる。 ② 角の大きさの求め方を, 補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 証明の必要性と意味を考えようとしている。 ② 平面図形の性質について学んだことを学習に生かそうとしている。
	3 合同な図形		<ul style="list-style-type: none"> ● 三角形の合同条件を理解する。 ● 2つの三角形が合同かどうかを, 三角形の合同条件を使って判断することができる。 ● ことからの仮定と結論の意味を理解する。 ● 根拠となることからの明らかにして, 簡単な図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 平面図形の合同の意味と表し方を理解している。 ② 三角形の合同条件を利用して, 2つの三角形が合同かどうかを判断することができる。 ② ことからの仮定と結論の意味を理解している。 ② 証明の進め方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 三角形の合同条件を, 三角形の決定条件をもとにして考え, 説明することができる。 ② 証明の根拠となることからの明らかにして, 簡単な図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 平面図形の合同の意味を考えようとしている。 ② 三角形の合同条件を, 三角形の決定条件をもとにして考えようとしている。 ② 三角形の合同条件を学習に生かそうとしている。 ② 証明の必要性と意味及びその方法を考えようとしている。
	5章【三角形と四角形】 図形の性質を見つけて証明しよう 1 三角形	21	<ul style="list-style-type: none"> ● 二等辺三角形の底角の性質や頂角の二等分線の性質を見いだすことができる。また, 正三角形の性質を証明することができる。 ● ことからの逆と反例の意味を理解する。 ● 直角三角形の合同条件を, 三角形の合同条件をもとにして考え, 説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 二等辺三角形や正三角形の定義・性質を理解している。 ② 二等辺三角形になるための条件の証明において, 辺や角の関係などを読みとることができる。 ② ことからの逆と反例の意味を理解している。 ② 直角三角形の合同条件を利用して, 図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 二等辺三角形の底角の性質の証明を読んで頂角の二等分線の性質を見だし, 証明することができる。 ② 2つの角が等しい三角形の2辺は等しいことの証明について考察することができる。 ② 直角三角形の合同条件を, 三角形の合同条件をもとにして考え, 説明することができる。 ② 証明を振り返って, 新たな性質を見出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 平面図形の性質について学んだことを生活に生かそうとしている。 ② 二等辺三角形の性質や, 二等辺三角形になるための条件を証明する方法を考えようとしている。 ② 直角三角形の合同条件を, 三角形の合同条件をもとにして考えようとしている。
12月 1月	2 平行四辺形		<ul style="list-style-type: none"> ● 平行四辺形の定義と性質を理解する。 ● 平行四辺形の性質を証明することができる。 ● 平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり, その証明を振り返って統合的・発展的に考えたりすることができる。 ● 長方形, ひし形, 正方形の定義やそれらと平行四辺形との相互関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 平行四辺形の定義と性質を理解している。 ② 平行四辺形になるための条件を理解している。 ② 長方形, ひし形, 正方形の定義やそれらと平行四辺形との相互関係を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 平行四辺形の性質を証明することができる。 ② 平行四辺形の性質を利用して, 図形の性質を証明することができる。 ② 平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり, その証明を振り返って統合的・発展的に考えたりすることができる。 ② 長方形, ひし形, 正方形の定義をもとにして, それらが平行四辺形であることを証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 平行四辺形の性質や, 平行四辺形になるための条件を証明する方法を考えようとしている。 ② 長方形, ひし形, 正方形と平行四辺形との相互関係を捉えようとしている。 ② 平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	6章【確率】 起こりやすさをとらえて説明	9	<ul style="list-style-type: none"> ● 多数回の実験の結果をもとにして, あたりやすさの傾向を読み取 	<ul style="list-style-type: none"> ② 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて, 場合の数を 	<ul style="list-style-type: none"> ② 多数回の実験の結果をもとにして, あたりやすさの傾向を読み取 	<ul style="list-style-type: none"> ② 場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を考えようとし

2月	しよう 1 確率		<ul style="list-style-type: none"> ● 説明することができる。 ● 起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。 ● あることからの起こらない確率の求め方を理解し、その確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 身まわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数のデータの分布の傾向を比較するとき、ヒストグラムでは比較しにくいことを知る。 ● 箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。また、箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。 ● 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ● 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実験によらずに確率を求める方法を、場合の数に着目して考え、説明することができる。 ● 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考え、説明する。 ● あることからの起こらない確率を、場合の数について成り立つ関係に着目して考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 同様に確からしいことに着目し、起こりうる場合の数え方の誤りを指摘することができる。 ● 身まわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2つのヒストグラムから、データの分布の傾向を比較して読み取り、説明することができる。 ● 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考えようとしている。 ● 不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ● 確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ● 既習のデータの整理や分析の方法を、問題解決に生かそうとしている。 ● 四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を考えようとしている。 ● 四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	2 確率による説明									
3月	7章【データの比較】 データを比較して判断しよう 1 四分位範囲と箱ひげ図	5								
	まとめ	9								
評価方法・評価場面			<ul style="list-style-type: none"> ○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ◎授業への取り組み ◎ノート ◎ワーク・プリント ◎課題・レポート ◎自己評価・個人内評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようしたりしている。 			
学年末評価										

指導目標		<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的に表現・処理する技能を育てる。 ○ 数学を活用して事象を論理的、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。 ○ 数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を進んで活用したり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとする態度を育てる。 				
月	章	時数	指導目標	評価規準例		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	1章【多項式】 文字を使って説明しよう 1 多項式の計算	19	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な問題を、文字式とその計算を利用して解決することを通して、文字のよさを理解する。 ● 単項式と多項式の乗法や多項式を単項式でわる除法の計算ができる。 ● 式を展開することの意味を理解し、多項式どうしの積を展開できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 単項式と多項式の乗法の計算方法を理解し、計算することができる。 ⑧ 多項式を単項式でわる除法の計算方法を理解し、計算することができる。 ⑧ 式を展開することの意味を理解し、多項式どうしの積を展開できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 多項式と多項式の乗法を、面積図を用いたり、1つの多項式を文字におきかえたりして考え、説明することができる。 ⑧ $(x+d)(x+m)$を展開したり、面積図を用いたりして、公式を導くことができる。 ⑧ 乗法公式を利用するために、式の一部を1つの文字におきかえる方法を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 文字を使った式や、式を展開することの必要性と意味を考えようとしている。 ⑧ 式を展開する方法を考えようとしている。 ⑧ 式の展開について学んだことを学習に生かそうとしている。
5月	2 因数分解		<ul style="list-style-type: none"> ● 式を展開とは逆に、多項式をいくつかの式の積で表すことができることを理解する。 ● 式を因数分解することの意味を理解し、共通な因数をくり出して、式を因数分解できる。 ● 乗法公式を逆にみて、式を因数分解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 多項式をいくつかの式の積で表すことができることを理解している。 ⑧ 式の因数、式を因数分解することの意味を理解し、共通な因数をくり出して、式を因数分解できる。 ⑧ 因数分解の公式を利用して、いろいろな式をくふうして因数分解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 因数分解の公式を利用するために、式の一部を1つの文字におきかえる方法を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 式を因数分解することの必要性や意味を考えようとしている。 ⑧ 式を因数分解する方法を考えようとしている。 ⑧ 式の因数分解について学んだことを学習に生かそうとしている。
	3 式の計算の利用		<ul style="list-style-type: none"> ● 乗法公式や因数分解の公式を利用して、数の計算の結果や式の値をくふうして求めることができる。 ● 数の性質が成り立つことを、文字を使って証明することができる。 ● 図形の性質が成り立つことを、文字式とその計算を利用して証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 文字を使って数量を表したり、目的に応じて式を変形したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 乗法公式や因数分解の公式を利用して、数の計算の結果や式の値をくふうして求める方法を考え、説明することができる。 ⑧ 数の性質が成り立つことを、文字を使って証明することができる。 ⑧ 文字を使った証明を読んで、新たな性質を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 式の展開や因数分解について学んだことを学習に生かそうとしている。 ⑧ 式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
6月	2章【平方根】 数の世界をさらにひろげよう 1 平方根	16	<ul style="list-style-type: none"> ● 平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。 ● 平方根の大小関係を理解し、平方根の大小を不等号を使って表すことができる。 ● 有理数、無理数の意味を理解し、 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。 ⑧ 平方根の大小関係を理解し、平方根の大小を不等号を使って表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 2つの正方形の面積と1辺の長さの関係をもとに、平方根の大小を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 数の平方根の必要性と意味を考えようとしている。

		これまで学んだ数を有理数と無理数に分類できる。	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 有理数, 無理数の意味を理解し, これまで学んだ数を有理数と無理数に分類できる。 ㊦ 有理数を小数で表すと, 有限小数か循環小数になることを理解している。 		
	2 根号をふくむ式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ● 根号をふくむ式の加減乗除の計算方法を理解する。 ● 根号のついた数を変形することができる。また, 根号のついた数を変形して, 近似値を求めることができる。 ● 分母を有理化することの意味を理解し, ある数の分母を有理化することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 根号をふくむ式の加減乗除の計算方法を理解している。 ㊦ 根号のついた数を変形したり, 近似値を求めたりすることができる。 ㊦ 分母を有理化することの意味を理解し, ある数の分母を有理化することができる。 ㊦ $\sqrt{2} + \sqrt{3}$は, これ以上簡単にすることができない数であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ $\sqrt{a} \times \sqrt{b}$を$\sqrt{a \times b}$と計算してよい理由を, 具体的な数や近似値を用いて考え, 説明することができる。 ㊦ $\sqrt{a} + \sqrt{b}$を$\sqrt{a+b}$と計算できない理由を, 近似値や面積図を用いて考え, 説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 根号をふくむ式の加減乗除の計算方法を考えようとしている。 ㊦ 既習の計算法則などを, 根号をふくむ式の計算に生かそうとしている。
	3 平方根の利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 具体的な場面で数の平方根を用いて表したり, 処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 数の平方根について学んだことを生活に生かそうとしている。 ㊦ 数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
7月	3章【2次方程式】 方程式を利用して問題を解決しよう 1 2次方程式とその解き方	15 <ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な問題を解決することを通して, 2次方程式の必要性を理解する。 ● 2次方程式とその解の意味を理解する。 ● 2次方程式の解の公式の意味を理解し, 解の公式を使って2次方程式を解くことができる。 ● 因数分解を使って2次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 具体的な問題の中から数量の間の関係を見だし, 2次方程式をつくることができる。 ㊦ 2次方程式の解の公式の意味を理解し, 解の公式を使って2次方程式を解くことができる。 ㊦ いろいろな2次方程式を, 適当な方法で解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 平方根の考えをもとにして, 2次方程式の解き方を考え, 説明することができる。 ㊦ $x^2 + px + q = 0$の形をした2次方程式を, $(x + \blacktriangle)^2 = \bullet$の形に変形して解く方法を考え, 説明することができる。 ㊦ 因数分解の考えをもとにして, 2次方程式の解き方を考え, 説明することができる。 ㊦ 2次方程式の式の形や係数に着目して, それぞれに適した解き方を考え, 説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2次方程式の必要性と意味を考えようとしている。 ㊦ 平方根, 因数分解の考えをもとにして, 2次方程式の解き方を考えようとしている。 ㊦ 2次方程式の解き方を振り返って, よりよい方法で解こうとしている。
9月	2 2次方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な問題を, 2次方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 ● 数に関する問題を, 2次方程式を利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2次方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。 ㊦ 具体的な問題の中から数量の間の関係を見だし, 2次方程式をつくることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 具体的な問題の解決に2次方程式を活用し, 解が適切であるかどうかを判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ㊦ 2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
			<ul style="list-style-type: none"> ○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ◎授業への取り組み ◎ノート ◎ワーク・プリント ◎課題・レポート

評価方法・評価場面			・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	◎自己評価・個人内評価 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	
前期評価						
10月	4章【関数 $y=ax^2$ 】 関数の世界を広げよう 1 関数 $y=ax^2$	17	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な事象の中の2つの数量の変化や対応の様子を調べ、変化の割合が一定ではない関数があることを理解する。 ● 関数 $y=ax^2$の意味を理解し、$y=ax^2$の式に表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 具体的な事象の中の2つの数量の変化や対応の様子を調べ、変化の割合が一定ではない関数があることを理解する。 ㊦ 関数 $y=ax^2$の関係を式に表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 具体的な事象の中の2つの数量の変化や対応の様子を、表やグラフを用いて調べ、その特徴を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 関数 $y=ax^2$の必要性和意味を考えようとしている。
	2 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方		<ul style="list-style-type: none"> ● 関数 $y=ax^2$のグラフや、値の変化の特徴を理解する。 ● 関数 $y=ax^2$の変化の割合を求めることができる。 ● 関数 $y=ax^2$で、xの変域に対応する yの変域を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 関数 $y=ax^2$のグラフをかくことができる。 ㊦ 関数 $y=ax^2$の値の増減とグラフの特徴を理解している。 ㊦ 関数 $y=ax^2$の変化の割合は一定ではないことを理解している。 ㊦ 関数 $y=ax^2$の変化の割合は、グラフ上の2点を通る直線の傾きを表していることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 関数 $y=ax^2$のグラフについて、aの値と関連付けて、その特徴を説明することができる。 ㊦ 関数 $y=ax^2$の変化の割合を、1次関数の変化の割合と対比させて考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 関数 $y=ax^2$のグラフの特徴や、値の変化の特徴を捉えようとしている。
	3 いろいろな関数の利用		<ul style="list-style-type: none"> ● 放物線と直線の2つの交点の座標や2つの交点を通る直線の式を求めることができる。 ● いろいろな事象の中から関数関係を見だし、その変化や対応の特徴を捉え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 放物線と直線の2つの交点の座標や2つの交点を通る直線の式を求めることができる。 ㊦ いろいろな事象の中に関数関係があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を、関数 $y=ax^2$とみなして、問題を解決することができる。 ㊦ 放物線と直線の2つの交点の座標や2つの交点を通る直線の式の求め方を考え、説明することができる。 ㊦ いろいろな事象の中から関数関係を見だし、その変化や対応の特徴を捉え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 関数 $y=ax^2$について学んだことを生活に生かそうとしている。 ㊦ 関数 $y=ax^2$を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
5章【相似な図形】 形に着目して図形の性質を調べよう 1 相似な図形	23	<ul style="list-style-type: none"> ● 相似な図形の辺の長さを、対応する辺の比やとなり合う辺の比が等しいことを使って求めることができる。 ● 三角形の相似条件を利用して、2つの三角形が相似かどうかを判断したり、図形の性質を証明したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 相似比の意味を理解し、相似比を求めることができる。 ㊦ 相似な図形の辺の長さを、対応する辺の比やとなり合う辺の比が等しいことを使って求めることができる。 ㊦ 三角形の相似条件を利用して、2つの三角形が相似かどうかを判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 三角形の相似条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 ㊦ 相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 平面図形の相似、相似条件の意味を考えようとしている。 ㊦ 三角形の相似条件を学習に生かそうとしている。 ㊦ 図形の相似について学んだことを生活に生かそうとしている。 	

11月	2 平行線と比	<ul style="list-style-type: none"> ● 中点連結定理を利用して、図形の性質を証明することができる。 ● 平行線と比の定理を見だし、それを利用して線分の長さを求めることができる。 ● 平行線と比の定理を利用して、図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 中点連結定理を利用して、線分の長さを求めることができる。 ㊦ 平行線と比の定理を利用して、線分の長さを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 三角形と比の定理と、その逆を証明することができる。 ㊦ 中点連結定理を利用して、図形の性質を証明することができる。 ㊦ 平行線と比の定理を利用して、図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 平行線と線分の比についての性質を見いだそうとしている。 ㊦ 相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	3 相似な図形の面積と体積	<ul style="list-style-type: none"> ● 相似な平面図形の相似比と面積比の関係を利用して、図形の面積を求めることができる。 ● 相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を利用して、立体の表面積や体積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 立体の相似の意味及び相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 相似な平面図形の相似比と面積比の関係をみだし、説明することができる。 ㊦ 相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係をみだし、説明することができる。 ㊦ 身のまわりにあるものを立体とみなして、相似な立体の相似比と体積比の関係をj利用して問題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 相似な平面図形の相似比と面積比の関係を考えようとしている。 ㊦ 相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を考えようとしている。
12月	6章【円】 円の性質を見つけて証明しよう 1 円周角の定理	10 <ul style="list-style-type: none"> ● 円周角と中心角の関係をみいだすことができる。 ● 円周角と弧の定理を見だし、それを利用して図形の性質を証明することができる。 ● 直径と円周角の定理を見だし、具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 円周角の定理や、直径と円周角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。 ㊦ 円周角の定理の逆を利用して、4点が1つの円周上にあるかどうかを判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 円周角と中心角の関係をみいだすことができる。 ㊦ 円周角と弧の定理を利用して、図形の性質を証明することができる。 ㊦ 円周角の定理の逆を利用して、図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 円周角と中心角の関係をみいだそうとしている。
	2 円周角の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 円周角の定理の逆を利用して、見込む角についての条件をみだす点の求め方を考えることができる。 ● 円周角の定理を利用して、円外の1点からの接線を作図する方法を考えることができる。 ● 円周角の定理を利用して、図形の性質を見だし、証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 円外の1点からの接線の作図方法を理解し、作図することができる。 ㊦ 円外の1点からの接線の性質を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 円周角の定理や、その逆を具体的な場面で活用することができる。 ㊦ 円周角の定理を利用して、図形の性質を見だし、証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ㊦ 円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って、検討しようとしている。
1月	7章【三平方の定理】 三平方の定理を活用しよう 1 三平方の定理	13 <ul style="list-style-type: none"> ● 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知る。 ● 三平方の定理の逆が成り立つことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ㊦ 三平方の定理の逆を利用して、三角形が直角三角形であるかどうかを判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 直角三角形の各辺を1辺とする3つの正方形の面積の間に成り立つ関係を見いだすことができる。 ㊦ 三平方の定理を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 三平方の定理を見いだそうとしている。
	2 三平方の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 三平方の定理を利用して、平面図形や空間図形のいろいろな長さを求めることができる。 ● 身のまわりの問題を、三平方の定理を利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 特別な直角三角形を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 ㊦ 身のまわりの問題を、三平方の定理を利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。

		● 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。			③ 三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
2月	8章【標本調査】 集団全体の傾向を推測しよう 1 標本調査	6	● 身のまわりで行われている調査には全数調査と標本調査があることを知り、標本調査の必要性と意味を理解する。 ● 標本調査の方法や結果を批判的に考察したり、調査の計画を立てたりすることができる。	③ 全数調査、標本調査の必要性と意味を理解している。 ③ 母集団、標本の意味を理解している。 ③ 標本調査では、標本を無作為に抽出する必要があることを理解している。	③ 標本調査が行われる例について、全数調査ではなく標本調査が行われる理由を考え、説明することができる。 ③ 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 ③ 標本調査の方法や結果を批判的に考察したり、調査の計画を立てたりすることができる。	③ 標本調査の必要性と意味を考えようとしている。 ③ 標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③ 標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
3月	まとめ	21				
評価方法・評価場面			○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	◎授業への取り組み ◎ノート ◎ワーク・プリント ◎課題・レポート ◎自己評価・個人内評価 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	
学年末評価						

	単元	章	章の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	4月 (8)	自然の中にあふれる生命 (9)	校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物がさまざまな場所で生活していることを見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録のしかたなどの技能を身につけること。いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点をもとにして分類できることを理解するとともに、分類のしかたの基礎を身につけること。身近な生物を観察することにより、生物に対する興味・関心を高めること。	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	主体的に学習に取り組む態度	
			5月 (10)	[生命] 1章 植物の特徴と分類 (7)	身近な植物の外部形態の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだして、植物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点にもとづいて植物が分類できることを見いだして理解すること。植物に対する興味・関心をもち、植物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える力を身に	いろいろな植物の共通点と相違点に着目しながら、植物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	植物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。
	6月 (12)	(18+1) 2章 動物の特徴と分類 (9)	身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだして、動物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点にもとづいて動物が分類できることを見いだして理解すること。動物に対する興味・関心を高め、動物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える力を身に	いろいろな動物の共通点と相違点に着目しながら、動物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	動物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	動物の体の共通点と相違点に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
			力だめし、学んだ後にリトライ！ (1) 動物園・水族館の展示方法				
			単元導入 (1)、学ぶ前にトライ！				
	7月 (6)	[エネルギー] 1章 光による現象 (8)	光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いださせる。また、凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きとの関係を見いださせ	光に関する事象・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記	光について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	光に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	8月 (2)	2章 音による現象 (5)	音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じること、音は波として空気中を約340m/sの速さで伝わり、おおよそ音の大きさと高さは音源の振動のしかたに関係することを見いださせる。	音に関する事象・現象を日常生活や社会と関連づけながら、音の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に	音について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	音に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	9月 (11)	(24+1) 3章 力による現象 (9)	物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動のようすが変わったことを見いださせるとともに、力は大きさと向きによって表されることを理解させる。また、2力のつり合いの実験を行い、1つの物体にはたらく2力がつり合う条件を見だし理解させる。	力のはたらきに関する事象・現象を日常生活や社会と関連づけながら、力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	力のはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	力のはたらきに関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	10月 (5)		力だめし、学んだ後にリトライ！ (1) 自動運転を支える光と音の科学				
			単元導入 (1)、学ぶ前にトライ！				
後期	10月 (5)	[物質] 身のまわりの物質 (26+2)	身のまわりの物質の性質をさまざまな方法で調べる実験を行い、物質には密度や加熱したときの变化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解させるとともに、ガスバーナーや電子てんびんなどの実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につけさせる。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質やその変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質のすがたに関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
			2章 いろいろな気体とその性質 (5)	気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を理解させるとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につけさせる。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、気体の発生とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質やその変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質のすがたに関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	11月 (12)	3章 水溶液の性質 (6)	物質が水に溶ける際の水溶液の均一性を、粒子のモデルで理解させる。また、水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて理解させる。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、水溶液についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	水溶液について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質やその変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	水溶液に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	12月 (7)	4章 物質のすがたとその変化 (6)	物質の状態変化についての観察、実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解させる。また、物質の融点や沸点を境に状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解させる。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	状態変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	状態変化に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
			力だめし、学んだ後にリトライ！ (1) 古くて新しいガラスの世界				

期	1月 (9)	[地球] 活きている地球 (22+2)	単元導入 (1), 学ぶ前にトライ!				
			1章 身近な大地 (3)	身近な地形などの観察を通して、大地の成り立ちなどを理解させる。観察器具の基本的な扱い方などを身につけさせる。	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	身近な地形や地層、岩石の観察について、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	身近な地形や地層、岩石の観察に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	2章 ゆれる大地 (4)		地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解させ、記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いださせる。また、地震の原因などをプレートの動きと関連づけて理解させる。	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	地震について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地震の揺れの大きさや伝わり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	地震に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	3章 火をふく大地 (7)		さまざまな火山の活動などを調べさせ、それらの様子はマグマの性質が深く関係していることを考察させるとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解させる。	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	火山について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	火山に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	3月 (6)	4章 語る大地 (6)	さまざまな火山の活動などを調べさせ、それらの様子はマグマの性質が深く関係していることを考察させるとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解させる。	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	地層の重なりと過去の様子、自然の恵みと火山災害・地震災害について、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、火山活動や地震発生の仕組みとの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	地層の重なりと過去の様子、自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
		力だめし、学んだ後にリトライ! (1) 昔の地球を読みとく時空の旅へ					
	年間配当時数 99時間+予備6時間			行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、探Qシート、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、レポート、探Qシート、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、自己評価、レポート、探Qシート、ワークシートなど	

		単元	章	章の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	4月 (11)	[物質]	単元導入(1), 学ぶ前にトライ!					
			1章 物質の成り立ち(9)	身のまわりの物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からその物質の成分が推定できることを見いださせる。また、物質は原子や分子からできていることを認識させる。	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解や原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質の成り立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質の成り立ちに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
			2章 物質の表し方(4)	原子や分子は元素記号で表すことができることを伝え、分子を化学式で示すことができるようにする。また、化学式・化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができるようになる。	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解や原子・分子についての基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な化学変化の表し方などの基本的な技能を身につけている。	物質の成り立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案してモデルを使った実習などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質の成り立ちに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
			5月 (13)	化学変化と原子・分子 (30+4)	3章 さまざまな化学変化(9)	2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いださせる。また、さまざまな化学変化を原子・分子のモデルを用いて説明できるようにし、さらに化学反応式で表すことができるようにする。化学変化の学習では、酸化と還元が同時に起きていることを見いださせ、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づかせる。また、化学変化に伴う熱の出入りについても認識させる。	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、2種類の物質が結びつく化学変化や化学変化における酸化と還元、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。
	6月 (16)	[生命]	4章 化学変化と物質の質量(6)	化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いださせる。その際、実験で得られた結果をグラフ化するなど、実験結果の処理についての技能も習得させる。	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の量的な関係を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
			力だめし、学んだ後にリトライ!(1) 科学で宝石を生み出す+予備(4)					
	7月 (8)	[生命]	単元導入(1), 学ぶ前にトライ!					
			1章 生物の体をつくるもの(5)	生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見だし理解させる。	生物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞のつくりの特徴についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	生物と細胞に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
			2章 植物の体のつくりとはたらき(9)	植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果と関連づけて理解させる。	植物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	植物の体のつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	植物の体のつくりとはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
			8月 (3)	3章 動物の体のつくりとはたらき(12)	消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解させる。また、不要となった物質を排出するしくみがあることを理解させる。	動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	動物の体のつくりとはたらきのうち、生命を維持するはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	動物の体のつくりとはたらきのうち、生命を維持するはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
			9月 (15)	4章 動物の行動のしくみ(6)	動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解させる。	動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	動物の体のつくりとはたらきのうち、刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、刺激と反応についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	動物の体のつくりとはたらきのうち、刺激と反応に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
			10月 (6)	力だめし、学んだ後にリトライ!(1) 細胞内のリサイクル機能+予備(5)				
10月 (7)	[地球]	単元導入(1), 学ぶ前にトライ!						
		1章 地球をとり巻く大気のようにす(4)	地表にあるものすべてが大気圧がはたらいていることを理解させ、身のまわりの大気の状態を継続的に観測させて、気象要素の変化と天気の変化の関係を見いださせる。	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	気象観測について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	気象観測に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
		2章 大気中の水の変化(6)	霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解させる。また、地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識させる。	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	霧や雲の発生について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、霧や雲の発生についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	霧や雲の発生に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
地球の大気と天気の 変化		気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解させる。また、日本の気圧や気圧帯の移動とそれに伴う天気	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、前線の通過と天気の変化についての基本的な概念や原理・法則など	前線の通過と天気の変化について、見通しをもったり	前線の通過と天気の変化に関する事物・現象に			

後 期	11月 (16)	[エネルギー] 電流とその利用 (26+4)	3章 天気の変化と大気の動き (5)	た、日本付近の高気圧と低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉えさせる。	題と大気の変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	もつと解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、前線の通過と天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	進んで関わり、見通しをもつたり返つたりするなどの、科学的に探究しようとしている。
			4章 大気の動きと日本の四季 (9)	大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解させる。さらに、日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解させる。	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然の恵みと気象災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	日本の気象、自然の恵みと気象災害について、見通しをもつて解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、日本の気象、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもつたり返つたりするなどの、科学的に探究しようとしている。
	12月 (10)		力だめし、学んだ後にリトライ！ (1) 海洋と日本の天気の関係＋予備(4)				
	1月		単元導入 (1)、学ぶ前にトライ！				
	2月 (15)	[エネルギー] 電流とその利用 (33+4)	1章 電流の性質 (16)	回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いださせるとともに、実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得させる。	電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	電流に関する現象について、見通しをもつて解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の動きの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	電流に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもつたり返つたりするなどの、科学的に探究しようとしている。
			2章 電流の正体 (7)	日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べさせ、静電気と電流には関係があることを見いださせ、真空放電の実験から、電流の正体について理解させる。	静電気に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、静電気と電流の関係や電子、放射線についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	静電気や電子に関する現象について、見通しをもつて解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、静電気や陰極線の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	電流に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもつたり返つたりするなどの、科学的に探究しようとしている。
			3章 電流と磁界 (8)	日常生活と関連づけながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解させ、直流と交流の違いを捉えさせる。	電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	電流と磁界に関する現象について、見通しをもつて解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	電流と磁界に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもつたり返つたりするなどの、科学的に探究しようとしている。
	3月 (8)		力だめし、学んだ後にリトライ！ (1) 電力を“伝送”する＋予備(4)				
	年間配当時数 123時間＋予備17時間				行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、探Qシート、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、レポート、探Qシート、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、自己評価、レポート、探Qシート、ワークシートなど

	単元	章	章の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	4月 (11)	[生命]生命の連続性 (20+3)	単元導入(1), 学ぶ前にトライ!				
			1章 生物のふえ方と成長(8)	生殖の観察などを通して、生物のふえ方には、無性生殖と有性生殖の2つがあることを見だし、その違いを理解させる。また、種子から根がのびる様子の観察や、細胞分裂の観察を通して、生物の成長を細胞の分裂と関連づけて捉えさせるとともに、有性生殖における減数分裂について理解させる。	生物の成長と殖え方に関する事象・現象の特徴に着目しながら、生物の成長と細胞分裂、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の成長と殖え方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	生物の成長とふえ方に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
		2章 遺伝の規則性と遺伝子(6)	生物がふえていくとき、染色体にある遺伝子を介して親から子へ形質が伝わること、そしてその伝わり方に規則性があることを理解させる。	遺伝の規則性と遺伝子に関する事象・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	遺伝の規則性と遺伝子について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	遺伝の規則性と遺伝子に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	5月 (13)	[生命]生命の連続性 (20+3)	3章 生物の種類の多様性と進化(4)	現存の生物や化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じたものであることと体のつくりと関連づけて理解させる。また、生物の間のつながりを時間的に見ることを通じて進化の概念を身につけさせる。	生物の種類の多様性と進化に関する事象・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	生物の種類の多様性と進化に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
			刀たためし、字んた後にワドフイ！(1) 鳥類は恐竜から進化した？＋予備(4)				
	6月 (16)	[エネルギー]運動とエネルギー(34+2)	単元導入(1), 学ぶ前にトライ!				
			1章 力の合成と分解(7)	水中にある物体には浮力がはたらくことを見いださせ、重力と浮力のつり合いの関係から、浮き沈みのしくみを理解させる。次に、合力を導入し、作図によって合力を求めることができるようにする。最後に、分力の求め方を理解させる。	力のつり合いと合成・分解を日常生活や社会と関連づける基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	力のつり合いと合成・分解について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	力のつり合いと合成・分解に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
			2章 物体の運動(10)	記録タイマーなどを使って、物体の速さや運動の様子を調べる方法を身につけさせ、物体にはたらく力と運動の関係を理解させる。	運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	運動の規則性に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	7月 (8)	[エネルギー]運動とエネルギー(34+2)	3章 仕事とエネルギー(8)	仕事の定義を理解させ、仕事の原理を見いださせる。また、仕事をする能力としてエネルギーを定義し、位置エネルギーや運動エネルギーの大きさと、物体の高さや質量、速さとの関係を見いださせる。摩擦や空気の抵抗がなければ、力学的エネルギーが保存されることを理解させる。	仕事とエネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	仕事とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	仕事とエネルギーに関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	8月 (3)		4章 多様なエネルギーとその移り変わり(3)	身のまわりのさまざまなエネルギーについて気づかせ、それらのエネルギーがどのように移り変わるか理解させるとともに、エネルギーの総量は一定に保たれることを理解させる。	日常生活や社会と関連づけながら、さまざまなエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	日常生活や社会で使われているさまざまなエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈しているなど、科学的に探究している。	さまざまなエネルギーに関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	9月 (15)		5章 エネルギー資源とその利用(4)	人間は多様なエネルギー資源を消費して活動していることを知り、将来にわたってエネルギー資源を確保し、安全で有効な利用と環境保全をはかるとの重要性を認識させる。	日常生活や社会と関連づけながら、エネルギー資源などの基本的な概念を理解している。	日常生活や社会で使われているエネルギー資源について、実験結果やデータを分析して解釈しているなど、科学的に探究している。	エネルギー資源に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	10月 (6)	[物質]化学変化とイオン(27+2)	単元導入(1), 学ぶ前にトライ!				
1章 水溶液とイオン(8)			まず、水溶液の電気伝導性を調べる実験を行い、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解させる。次に、電解質水溶液の電気分解の実験を行い、電極に物質が生成することからイオンの存在を見いださせ、イオンの生成が原子の成り立ちに關係することを理解させる。	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子の成り立ちとイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	水溶液とイオンに関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
2章 電池とイオン(7)			まず、金属のイオンへのなりやすさの違いを調べる実験を探究的にを行い、金属によってイオンへのなりやすさの違いがあることを見いださせ、イオンのモデルと関連づけながら理解させる。また、電池を製作し、電池では化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることに気づかせるとともに、イオンのモデルを用いて電池の基本的な仕組みが説明できるようにする。また、いろいろな電池に関心をもたせ、燃料電池の仕組みについても興味をもたせる。	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	化学変化と電池について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	化学変化と電池に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
10月 (7)	[物質]化学変化とイオン(27+2)	3章 酸・アルカリと塩(10)	まず、酸やアルカリの水溶液を用いた実験を行い、酸やアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと水酸化物イオンによることを見いださせるとともに、電離のようすをイオンのモデルを使って説明できるようにする。次に、中和反応の実験により、酸とアルカリが反応すると塩と水ができることを見いださせるとともに、中和反応をイオンのモデルを使って説明	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、酸・アルカリ、中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	水溶液とイオンに関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

後 期	11月 (16)		力だめし、学んだ後にリトライ！(1) 化学電池と未来十予備(2)						
		[地球]宇宙を観る (20+2)	12月 (10)	単元導入(1)、学ぶ前にトライ！					
			1章 地球から宇宙へ(5)	太陽の観察を行い、その観察記録や資料から、太陽の形や大きさ、表面の様子などの特徴を見いだし理解させたり、観測資料などから、惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解させたりするとともに、太陽の表面を観察したり記録したりする技能を身につけさせる。	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽の様子、惑星と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	太陽の様子、惑星と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽の様子、惑星と恒星についての特徴や規則性を見いだし表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究	太陽の様子、惑星と恒星に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
	2章 太陽と恒星の動き(8)		太陽や星座の日周運動の観察を行い、天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解させるとともに、季節ごとの星座の位置の変化や太陽の南中高度の変化を調べ、それらの観察記録を、地球が公転していることや地軸が傾いていることと関連づけて理解させ、天体の動きを観察する技能を身につけさせる。	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだし表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	天体の動きと地球の自転・公転に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
	3章 月と金星の動きと見え方(5)	月や金星の動きや見え方の観察を行い、月や金星の観察記録などから、見え方を月や金星の公転と関連づけて理解させるとともに、月や金星の動きや形を観察したり記録したりする技能を身につけさせる。	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な	月や金星の運動と見え方について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだし表現しているとも	月や金星の運動と見え方に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
	12月 (10)	力だめし、学んだ後にリトライ！(1) 大きさをこえてさぐる太陽系の歴史十予備(2)							
	[環境]自然と人間 (27+3)	1月 (12)	単元導入(1)、学ぶ前にトライ！						
		1章 自然界のつり合い(5)	植物、動物および微生物を、栄養摂取の面から相互に関連づけて捉えたとともに、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを観察などを通して見いだし理解させる。	日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物と環境について、生物どうしの関係や、微生物のはたらきなどを調べる観察、実験などを行い、自然界のつり合いについて科学的に探究している。	生物と環境に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
		2章 さまざまな物質の利用と人間(5)	日常生活や社会では、さまざまな物質が使用目的や用途に応じて使い分けられていることを認識させ、物質を有効利用するためには、物質の再利用などがたいせつであることに気づかせる。	日常生活や社会と関連づけながら、さまざまな物質とその利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	日常生活や社会で使われている物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術のあり方について科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。	さまざまな物質に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
		3章 科学技術の発展(3)	科学技術の発展の過程について、どのようなものがあるかを理解させ、さまざまな科学技術の利用が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識させる。また、最新の科学技術について調べさせ、これからの科学技術の発展の方向性を、科学的根拠をもって検討させる。	日常生活や社会と関連づけながら、科学技術の発展についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な資料調査や記録などの基本的な技能を身につけている。	科学技術の発展について、見通しをもって情報収集や資料調査などを行い、その結果を分析して解釈し、科学技術の発展の方向性について根拠に基づいて予測しているなど、科学的に探究している。	科学技術の発展に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
		4章 人間と環境(8)	身近な自然環境や地域の自然災害を調べる活動を行い、人間の活動などのさまざまな要因が自然環境に影響をあたえていることについて理解させ、自然環境を保全することの重要性を認識させるとともに、大地の特徴を理解し、自然を多面的、総合的に捉え、自然と人間の関わり方について、科学的に考察して判断する能力や態度を身につけさせる。	日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な資料調査や記録などの基本的な技能を身につけている。	自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害について、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる調査などを行い、自然環境の保全や自然と人間の関わり方について科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。	自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
	5章 持続可能な社会をめざして(4)	科学技術の発展と人間生活との関わり方について多面的、総合的に捉えさせ、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察させ、持続可能な社会をつくることの重要性を認識させる。	日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な資料調査や記録などの基本的な技能を身につけている。	自然環境の保全と科学技術の利用について、調査活動や討論などを行い、持続可能な社会の構築に向けて、科学的な根拠に基づいて多面的・総合的に考察して判断し、行動しているなど、科学的に探究している。	自然環境の保全と科学技術の利用に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、持続可能な社会の構築に向けて、科学的に探究しようとしている。				
3月 (8)	力だめし、学んだ後にリトライ！(1) かけがえのない地球とともに十予備(3)								
年間配当時数 123時間十予備17時間					行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、探究シート、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、レポート、探究シート、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、自己評価、レポート、探究シート、ワークシートなど		

令和3年度 横浜市立名瀬中学校音楽科 年間指導・評価計画（第1学年） 使用教科書：教育芸術社

月	4	5		
時数	2	2	2	
学習の主題	「曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう」	「曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して演奏しよう」	「音楽の特徴を自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴こう」	
主題の目標	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、表現を創意工夫して歌う。	楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、表現を創意工夫して演奏する。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
中心教材 参考教材等	「We'll Find The Way」杉本竜一 「その先へ」山崎朋子 「校歌」	「喜びの歌」ベートーヴェン 「さんぼ道」岡部栄彦 「Music For A Bird」リンデ	和声と創意の試み“四季”より「春」 ヴィヴァルディ 「夏」「秋」「冬」ヴィヴァルディ	
評価規準	知識	☆「We'll Find The Way」と「その先へ」の、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 〈観察・記述〉	☆アルトリコーダーの音色と奏法との関わりについて理解している。 〈発言・記述〉	☆「春」の曲想と弦楽合奏の音色や繰り返し、変化等との関わりを理解している。 〈観察・記述〉
	技能	☆「We'll Find The Way」と「その先へ」を創意工夫した表現で歌うために必要な発声や発音、身体の使い方等の技能を身に付けて歌っている。 〈聴取〉	☆「喜びの歌」と「さんぼ道」を創意工夫を生かした表現で演奏するために必要なアルト・リコーダーの運指、プレスコントロールやタンギング、アーティキュレーション等の身体の使い方を身に付けて演奏している。 〈聴取〉	
	思・判・表	☆「We'll Find The Way」と「その先へ」の、歌詞の内容と旋律や副旋律、ピアノ伴奏との関わりを知覚・感受しながら歌唱表現を創意工夫している。 〈聴取・発言・記述〉	☆「喜びの歌」と「さんぼ道」の曲想と旋律の動きの関わりを知覚し、それらによって生み出される雰囲気を感じながらアーティキュレーションを工夫するなどして表現を創意工夫している。 〈聴取・発言・記述〉	☆「春」の弦楽合奏の音色と響き、曲想の変化と繰り返しや変化等の構成、音楽を形づくっている要素と要素同士の関わりを知覚・感受しながら根拠をもって自分なりに楽曲を評価し、よさや美しさを味わって聴いている。 〈発言・記述〉
	主体的	☆「We'll Find The Way」と「その先へ」を創意工夫して歌う活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 〈観察・記述〉	☆「喜びの歌」と「さんぼ道」を創意工夫してアルト・リコーダーで演奏する活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 〈観察・記述〉	☆「春」の楽曲を聴く活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 〈観察・記述〉
評価方法	・授業への取組 ・定期試験 ・鑑賞プリント ・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験 ・学習カード ・和太鼓実技試験 ・歌唱実技試験			

月	6		7	
時数	2		2	
学習の主題	「曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう」		「曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して演奏しよう」	
主題の目標	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、表現を創意工夫して歌う。		曲想と音楽の構造との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の音などを聴いて、他者と合わせて演奏する。	
中心教材 参考教材等	「浜辺の歌」成田為三 「主人は冷たい土の中に」フォスター		「かっこう」ドイツ民謡 「そっとやさしく」ドイツ民謡 「聖者の行進」アメリカ民謡	
評価規準	知識	☆「主人は冷たい土の中に」と「浜辺の歌」の曲想と歌詞の内容の関わり、二部形式について理解している。〈観察・記述〉 ☆「ト音記号」の意味と階名の読み方を理解している。〈観察・記述〉	☆跳躍進行と順次進行の旋律の動きの特徴から受け止めることができる印象やイメージ、心情等の相違について理解している。〈観察・記述〉	☆「かっこう」「そっとやさしく」「聖者の行進」の曲想とアーティキュレーションとの関わりについて理解している。〈観察・記述〉
	技能	☆「主人は冷たい土の中に」と「浜辺の歌」を創意工夫した表現で歌うために必要な発声や身体の使い方等の技能を身に付けて歌っている。〈聴取〉	☆リズムフレーズを基に、音と音の繋がりを考え、自分の表現したいイメージに合った旋律をつくっている。〈聴取・記述〉	☆「かっこう」「そっとやさしく」「聖者の行進」を、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要なアルト・リコーダーの運指、ブレスコントロールやタンギング、アーティキュレーション等の身体の使い方を身に付けて演奏している。〈聴取〉
	思・判・表	☆「主人は冷たい土の中に」と「浜辺の歌」の歌詞の内容と旋律、旋律やリコーダーの助奏、ピアノ伴奏との関わりを知覚・感受しながら歌唱表現を創意工夫している。〈聴取・記述〉	☆跳躍進行と順次進行の旋律の動きの特徴を生かしながら、自分の表現したいイメージに合わせて音と音の繋がりを考え、創意工夫して音楽をつくっている。〈聴取・記述〉	☆「かっこう」「そっとやさしく」「聖者の行進」の曲想とアーティキュレーションの変化を知覚し、それらによって生み出される雰囲気を感じながらリコーダー表現を創意工夫している。〈聴取・記述〉
	主体的	☆「主人は冷たい土の中に」と「浜辺の歌」を創意工夫して歌う活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆自分の表現したいイメージに合うように、音と音の繋がりを考え、旋律をつくる学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆「かっこう」「そっとやさしく」「聖者の行進」を創意工夫してアルト・リコーダーで演奏する活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。〈観察・記述〉
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・定期試験 ・鑑賞プリント 		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・和太鼓実技試験 ・歌唱実技試験 	

月		8 9		
時数		2	3	3
学習の主題		「曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう」	「音楽の特徴を自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴こう」	「曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう」
主題の目標		声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、表現を創意工夫して歌う。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。
中心教材 参考教材等		「エーデルワイス」ロジャーズ 「サウンド オブ ミュージック」より ロジャーズ	「魔王」シューベルト 「魔王」レーヴェ 「野ばら」シューベルト	「朝の風に」長谷部匡俊 「君をのせて」久石譲 合唱コンクール各クラス自由曲
評価 規準	知識	☆「エーデルワイス」の歌詞の内容や言葉(英語)の特性と発声、旋律やリズムとの関わりやミュージカルの表現について理解している。〈観察・記述〉	☆「魔王」の歌詞の内容によって変化する旋律、音域、調、ピアノ伴奏等、音楽を形づくっている様々な要素と要素同士の関わりを理解している。〈観察・記述〉	☆「朝の風に」と「君をのせて」の曲想と混声合唱の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。〈観察・記述〉
	技能	☆「エーデルワイス」を創意工夫した表現で歌うために必要な発声や発音、身体の使い方等の技能を身に付けて歌っている。〈聴取〉		☆「朝の風に」と「君をのせて」を創意工夫し、全体の響きや他声部の声、ピアノ伴奏を聴きながら合わせて歌う技能を身に付けている。〈聴取〉
	思・判・表	☆「エーデルワイス」の歌詞の内容と言葉(英語)の特性と発声、旋律やリズムとの関わりを知覚し、特質や雰囲気を感じながら、歌唱表現を創意工夫している。〈聴取・記述〉	☆「魔王」の歌詞の内容によって変化する旋律や調やテクスチャと曲想の変化を知覚・感受しながら、根拠をもって自分なりに楽曲を評価し、よさや美しさを味わって聴いている。〈発言・記述〉	☆「朝の風に」と「君をのせて」の旋律と副旋律の関わり、女声と男声の響きの違いとそれらの組み合わせによる曲想及びその変化、ピアノ伴奏との関わりを知覚・感受しながら歌唱表現を創意工夫している。〈聴取・記述〉
	主体的	☆「エーデルワイス」を創意工夫して歌う活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆「魔王」を楽しんで聴く活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆「朝の風に」と「君をのせて」を創意工夫して歌う活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。〈観察・記述〉
評価方法		・授業への取組 ・定期試験 ・鑑賞プリント	・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験	・学習カード ・和太鼓実技試験 ・歌唱実技試験

月	10	11		
時数	3	2	2	
学習の主題	「曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう」	「我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取り」	「我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取り」	
主題の目標	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。	我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏しながら、そのよさや特徴を感じ取り、味わう。	我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏したり、歌ったりしながら、そのよさや特徴を感じ取り、味わう。	
中心教材 参考教材等	「Let's Search For Tomorrow」 大澤徹訓 「星座」長谷部匡俊	〈和太鼓〉 教科書・プリントのリズム練習	〈日本の民謡〉 「ソーラン節」(北海道民謡) 「南部牛追唄」(岩手県民謡) 「野毛山ソーラン」	
評価 規 準	知識	☆「Let's Search For Tomorrow」と、「星座」の曲想と歌詞の内容との関わり、混声三部合唱の響きの特徴について理解している。〈観察・記述〉	☆和太鼓の音色や響きと奏法の関わりについて理解している。〈観察・記述〉	☆日本の音階や特有の歌い方を理解している。〈観察・記述〉
	技能	☆「Let's Search For Tomorrow」と、「星座」を創意工夫し、他声部との関わりや、ピアノ伴奏、全体の響きを聴きながら合わせて歌う技能を身に付けている。〈聴取〉	☆和太鼓で我が国の音楽表現をするための姿勢・打ち方等の技能を身に付け、表現している。〈聴取〉	☆日本の伝統的な音楽特有の歌唱表現をするための技能を身に付け、創意工夫しながら歌っている。〈聴取〉
	思・判・表	☆「Let's Search For Tomorrow」と、「星座」の旋律と副旋律の関わり、女声と男声の響きの違いとそれらの組み合わせによる曲想及びその変化、ピアノ伴奏との関わりを知覚・感受しながら歌唱表現を創意工夫している。〈聴取・記述〉	☆和太鼓の音色やリズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、器楽表現を創意工夫している。〈聴取・記述〉	☆日本の音階や特有の歌い方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌唱表現を創意工夫している。〈聴取・記述〉
	主体的	☆「Let's Search For Tomorrow」と、「星座」を創意工夫して歌う活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆我が国の音楽を形づくっている音色やリズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、創意工夫して表現したり、自分なりに価値を考えながら、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴こうとしている。〈観察・記述〉	☆日本の音階や、発音・発声の方法などの特徴を理解し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴こうとしている。〈発言・記述〉
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への取組 ・ 定期試験 ・ 鑑賞プリント 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽のハーモニー ・ アルトリコーダー実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カード ・ 和太鼓実技試験 ・ 歌唱実技試験

月	1 2		1	
時数	2		2	
学習の主題	「曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう」		「音楽の特徴を自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴こう」	
主題の目標	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、表現を創意工夫して歌う。		曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
中心教材 参考教材等	「赤とんぼ」山田耕筰 「涙そうそう」BEGIN		「六段の調」八橋検校 「数え歌変奏曲」宮城道雄	
評価 規準	知識	☆「涙そうそう」「赤とんぼ」の曲想と歌詞の内容、言葉の抑揚と旋律との関わりについて理解している。 〈発言、記述〉	☆「箏」の音色や奏法の関わりについて理解している。〈発言・記述〉	☆「越天楽」の音色と響き、曲想の変化と音楽の構造との関わり、使用される楽器とその組み合わせによる効果等について理解している。〈発言・記述〉
	技能	☆「涙そうそう」「赤とんぼ」を創意工夫した表現で歌うために必要な発声や身体の使い方等の技能を身に付けて歌っている。〈聴取〉		
	思・判・表	☆「涙そうそう」「赤とんぼ」の曲想と歌詞の内容、歌詞の抑揚と旋律との関わりを知覚・感受しながら歌唱表現を創意工夫している。〈聴取・記述〉	☆「六段の調」の音色と響き、曲想の変化と旋律や速度の変化等の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。 ☆我が国の音楽の特徴について考え、箏曲「六段の調」のよさや美しさを味わって聴いている。〈発言・記述〉	☆「越天楽」の音色と響き、曲想の変化と旋律や速度の変化、楽器の組合せの変化や特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。〈自己・記述〉
	主体的	☆「涙そうそう」「赤とんぼ」を創意工夫して歌う活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆「六段の調」を味わって聴く活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆「越天楽」を味わって聴く活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・定期試験 ・鑑賞プリント 		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・和太鼓実技試験 ・歌唱実技試験 	

月		2		
時数		2	3	2
学習の主題		「我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取り	「創意工夫を生かし、音楽をつくろう」	「音楽の特徴を自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴こう」
主題の目標		我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏したり、歌ったりしながら、そのよさや特徴を感じ取り、味わう。	音のつながり方、音素材及び音の重なり方や構成上の特徴を理解しながら、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを行い、創作表現を創意工夫して、旋律や音楽をつくる。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
中心教材 参考教材等		〈アジアの諸民族の音楽〉	〈Let's Create!〉 場面の变化に合わせて音楽をつくる 「ジョーズのテーマ」ウィリアムズ	“カルメン”より「前奏曲」ビゼー “組曲 くるみ割り人形”より チャイコフスキー
評価 規 準	知識	☆オルティン・ドー、カッターリー、ドゥクドゥク、ガムラン、カヤグム等のアジアの諸民族の音楽の特徴を理解している。〈観察・記述〉	☆表現したい情景や心情と、音色や強弱、リズム等の関わりについて理解している。〈観察・記述〉	☆「カルメン」の様々な場面について、拍子、速度、強弱とそれらの変化、楽曲の構成を理解している。
	技能	☆オルティン・ドー、カッターリー、ドゥクドゥク、ガムラン、カヤグム等の音色を模倣して歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。〈聴取〉	☆表現したい情景や心情と、音色や強弱、リズム等の関わりを知覚・感受し、それらの特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。〈記述・聴取〉	
	思・判・表	☆オルティン・ドー、カッターリー、ドゥクドゥク、ガムラン、カヤグム等のアジアの諸民族の音楽の特徴を知覚・感受しながら、我が国や西洋の音楽との共通点や相違点を明らかにして聴いている。〈観察・記述〉	☆表現したい情景や心情と、音色や強弱、リズム等の関わりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのような音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。〈観察・相互・記述〉	☆「カルメン」の様々な場面について、拍子、速度、強弱とそれらの変化、楽曲の構成を捉え、それらの働きが生み出す曲想を感受しながら、どのように指揮をするかについて思いや意図をもっている。
	主体的	☆アジアの音楽を味わって聴いたり、演奏したりする活動を楽しみながら、主体的・協働的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆表現したい情景や心情とを工夫して表現する活動を楽しみながら、主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆「カルメン」の曲想と、その変化を捉えて指揮をする活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。〈観察・記述〉
評価方法		・授業への取組 ・鑑賞プリント	・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験	・学習カード ・和太鼓実技試験

令和3年度 横浜市立名瀬中学校音楽科 年間指導・評価計画（第2学年） 使用教科書：教育芸術社

月	4	5	
時数	2	2	2
学習の主題	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」	「曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏しよう」	「音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう」
主題の目標	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。	楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏する。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
中心教材 参考教材等	「夢の世界を」橋本祥路 「翼をください」村井邦彦	「アニー ローリー」スコットランド民謡 「虹の彼方に」アーレン	「フーガト短調」バッハ 「トッカータとフーガニ短調」バッハ
評価規準	知識	☆「夢の世界を」「翼をください」の曲想と混声三部合唱の響きや、歌詞の内容との関わりを理解している。 〈観察・記述〉	☆リコーダーの音色や奏法との関わりを理解している。〈観察・記述〉
	技能	☆創意工夫を生かした表現で「夢の世界を」「翼をください」を歌うために必要な発声、発音、身体の使い方等の技能を身に付けて歌っている。 〈聴取・記述〉	☆「アニーローリー」「虹の彼方に」の曲想を表現するのにふさわしいブレスコントロールやタンギング、派生音の運指等、必要な技能を身につけて演奏している。〈聴取・記述〉
	思・判・表	☆「夢の世界を」「翼をください」の混声三部合唱の響きや、強弱、和声の変化等を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夢の世界を」「翼をください」それぞれにふさわしい合唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図を持っている。 〈観察・自己・記述〉	☆「アニーローリー」「虹の彼方に」の旋律やフレーズのまとまりを知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。〈発言・記述〉
	主体的	☆「夢の世界を」「翼をください」の混声三部合唱の響きや、歌詞が表す心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、合唱を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆リコーダーの奏法に関心を持ち、「アニーローリー」「虹の彼方に」の曲想を生かしながら創意工夫して表現する活動を楽しみながら、リコーダーを演奏する学習に主体的・協働的に取り組
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・定期試験 ・鑑賞プリント 		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験
			<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・和太鼓実技試験

月	6	7		
時数	2	2		
学習の主	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」	「音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう」	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」	
主題の目標	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。	
中心教材参考	「夏の思い出」中田喜直 「夏は来ぬ」小山作之助	「交響曲第5番 ハ短調」ベートーヴェン 「交響曲第101番 ニ長調」ハイドン	「サンタ ルチア」(ナポリ民謡) 「Joyful Joyful」 ベートーヴェン/ウォーレン	
評価規準	知識	☆「夏の思い出」の歌詞の内容を捉え、旋律との関わりを理解している。〈観察・問答〉	☆動機の組み合わせや変化とソナタ形式について理解している。〈観察・記述〉	☆「サンタ ルチア」「Joyful Joyful」の曲種の相違と言葉と音楽との関わりや、発音・発声の関わりについて理解している。〈観察・記述〉
	技能	☆創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」を歌うために必要な発声、発音、身体の使い方等の技能を身に付けて歌っている。〈観察〉		☆創意工夫を生かした表現で「サンタ ルチア」「Joyful Joyful」を歌うために必要な発声、発音、身体の使い方等の技能を身に付けて歌っている。〈観察・記述〉
	思・判・表	☆「夏の思い出」の歌詞の内容を捉え、表現にふさわしい発声や言葉の発音等を理解しながら、それらを生かした音楽表現をどのように工夫して歌うかについて思いや意図をもっている。〈観察・記述〉	☆「交響曲第5番ハ短調」で用いられている動機とその組み合わせによる曲想の変化や、ソナタ形式による曲想の変化について、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、楽曲のよさや美しさを味わって聴いている。〈観察・記述〉	☆「サンタ ルチア」「Joyful Joyful」の曲種の相違と言葉との関わりや、表現にふさわしい発声や発音、身体の使い方等を理解しながら、それらを生かした音楽表現をどのように歌うかについて思いや意図をもっている。〈観察・記述〉
	主体的	☆「夏の思い出」の歌詞の内容を捉え、旋律との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。〈観察・問答〉	☆交響曲やソナタ形式や、オーケストラで用いられる楽器の種類、組み合わせなどを理解し、それらと曲想との関わりに関心をもって鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆「サンタ ルチア」「Joyful Joyful」の曲種の相違や言葉と音楽との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への取組 ・ 定期試験 ・ 鑑賞プリント 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽のハーモニー ・ アルトリコーダー実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カード ・ 和太鼓実技試験 ・ 歌唱実技試験

月	8		9	10	
時数	2		2	2	
学習の主	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」		「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」	「創意工夫を生かし、まとまりのある音楽をつくろう」	
主題の目標	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。		声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。	音階や言葉、音のつながり方、音素材及び音の重なり方や構成上の特徴を理解しながら、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを行い、まとまりのある創作表現を創意工夫して、旋律や音楽をつくる。	
中心教材参考	「やさしさに包まれたなら」荒井由実 「ハートのアンテナ」杉本竜一 合唱コンクール各クラス自由曲		「夏の日の贈りもの」加賀清孝 「メッセージ」佐井孝彰 合唱コンクール各クラス自由曲	〈Let's Create!〉 サラダを盛り付ける音楽、食べる音楽	
評価規準	知識	☆「やさしさに包まれたなら」「ハートのアンテナ」の各声部の役割や、他の声部との関わりについて理解している。〈観察・記述〉	☆「夏の日の贈りもの」「メッセージ」の、各声部の役割や、他の声部との関わりについて理解している。〈観察・記述〉	☆反復、変化、対象等の構成や、リズムフレーズのつくり方、まとまりのある構成等を理解している。〈観察・記述〉	
	技能	☆「やさしさに包まれたなら」「ハートのアンテナ」の各声部の役割や、他の声部との関わりを捉えたり、楽譜から読み取ったりしながら、それらを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて合唱している。〈観察・記述〉	☆「夏の日の贈りもの」「メッセージ」の、各声部の役割や、他の声部との関わりを捉えたり、楽譜から読み取ったりしながら、それらを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて合唱している。〈観察・記述〉	☆反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。〈記述・聴取〉	
	思・判・表	☆「やさしさに包まれたなら」「ハートのアンテナ」の各声部の役割と、各パートとの関わりを捉えたり、楽譜から読み取ったりしながら、それらを生かした音楽表現を創意工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。〈観察・記述〉	☆「夏の日の贈りもの」「メッセージ」の、各声部の役割と、他の声部との関わりを捉えたり、楽譜から読み取ったりしながら、それらを生かした音楽表現を創意工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。〈観察・記述〉	☆反復、変化、対象などの構成と、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を知覚・感受しながら、音楽で表現したいイメージをもち、構成や全体のまとまりを生かして、どのように音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。〈観察・問答・記述〉	
	主体的	☆「やさしさに包まれたなら」「ハートのアンテナ」の各声部の役割と、各パートとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に合唱する学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆「夏の日の贈りもの」「メッセージ」の、各声部の役割と、他の声部との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に合唱する学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆反復、変化、対象などの構成と、まとまりのある構成等に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽をつくる学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	
評価方法	・授業への取組 ・鑑賞プリント		・定期試験	・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験	・学習カード ・和太鼓実技試験 ・歌唱実技試験

月	1 1		1 2	
時数	2		2	
学習の主	「音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう」		「我が国や諸外国の音楽の特徴を理解し味わおう」	
主題の目標	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解し、生活や社会における音楽の意味や役割について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。		我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏しながら、そのよさや特徴を理解し、味わう。	
中心教材参考	「アイーダ」ヴェルディ 「魔笛」モーツァルト 「カルメン」ビゼー		「荒城の月」滝廉太郎 「荒城の月」滝廉太郎/山田耕柞	
評価規準	知識	☆「音楽」「美術」「文学」「演劇」「舞踊」それぞれの特徴や、それらが関わり合うことによって生み出される、総合芸術としての歌劇の特徴を理解している。〈観察・記述〉	☆「荒城の月」の歌詞の内容を捉え、旋律との関わりを理解している。〈観察・問答〉	☆和太鼓の音色や響きと奏法の関わりについて理解している。〈観察・記述〉
	技能		☆創意工夫を生かした表現で「荒城の月」を歌うために必要な発声、発音、身体の使い方等の技能を身に付けて歌っている。〈観察〉	☆和太鼓で我が国の音楽表現をするための姿勢・打ち方等の技能を身に付け、表現している。〈聴取〉
	思・判・表	☆様々な声や楽器の音色、旋律やリズム、またそれらの組み合わせによって生み出される効果や、他の芸術との関わりを知覚・感受しながら、「アイーダ」のよさや美しさを理解し、味わって鑑賞している。〈観察・問答・記述〉	☆「荒城の月」の歌詞の内容を捉え、曲想にふさわしい音楽表現をどのように創意工夫して歌うかについて、思いや意図をもっている。〈観察・記述〉	☆和太鼓の音色やリズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、器楽表現を創意工夫している。〈聴取・記述〉
	主体的	☆オペラの特徴に関心を持ち、様々な芸術の関わり合いによって生み出される表現を楽しみながら鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆「荒城の月」の歌詞の内容を捉え、旋律との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。〈観察・問答〉	☆我が国の音楽を形づくっている音色やリズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、創意工夫して表現したり、自分なりに価値を考えながら、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴こうとしている。〈観察・記述〉
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・定期試験 ・鑑賞プリント 		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験 ・学習カード ・和太鼓実技試験 ・歌唱実技試験 	

月		1	2
時数		2	2
学習の主		「曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏しよう」	「我が国や諸外国の音楽の特徴を理解し味わおう」
主題の目標		楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏する。	我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏したり、歌ったりしながら、そのよさや特徴を理解し、味わう。
中心教材参考		「ラヴァーズ コンチェルト」ランデル	文楽「新版歌祭文」野崎村の段 近松半二 義太夫節「野崎村の段」から
評価規準	知識	☆リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解している。〈観察・記述〉	☆「文楽」の音楽の特徴と、世界各国に伝わる音楽との共通点や相違点について理解している。〈観察・発言・記述〉
	技能	☆創意工夫を生かした表現でリコーダーを演奏するために必要な奏法、タンギングや運指などの技能を身に付けて演奏している。〈聴取・記述〉	☆勸進帳の「長唄」の「旅の衣は篠懸の…」の部分にふさわしい発声や発音、息づかいや節回しを工夫して表現する技能を身に付けて歌っている。〈聴取・記述〉
	思・判・表	☆リコーダーの音色や「ラヴァーズコンチェルト」の旋律・副旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表現するかについて思いや意図をもっている。〈観察・記述〉	☆「文楽」で用いられている義太夫節の、声の音色や節回し、太棹三味線の音色や奏法等を知覚し、それらによって生み出される特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わって聴いている。〈観察・記述〉
	主体的	☆リコーダーの音色や「ラヴァーズコンチェルト」の曲の構造に関心をもち、アンサンブルを楽しみながら、主体的・協働的にリコーダーの学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆歌舞伎や長唄の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞する活動に取り組もうとしている。〈観察・発言・記述〉
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への取組 ・ 定期試験 ・ 鑑賞プリント 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽のハーモニー ・ アルトリコーダー実技試験 ・ 学習カード ・ 和太鼓実技試験 ・ 歌唱実技試験

月		3		
時数		2	2	2
学習の主		「曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏しよう」	「創意工夫を生かし、まとまりのある音楽をつくろう」	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」
主題の目標		楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏する。	音階や言葉、音のつながり方、音素材及び音の重なり方や構成上の特徴を理解しながら、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを行い、まとまりのある創作表現を創意工夫して、旋律や音楽をつくる。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。
中心教材参考		「春」 ヴィヴァルディ	〈My Melody〉 俳句に合わせて旋律をつくる	「大切なもの」山崎朋子 「ぜんぶ」相澤直人
評価規準	知識	☆リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解している。〈観察・記述〉	☆日本語の抑揚や言葉のもつリズムと、旋律との関わりについて理解している。〈観察・問答〉	☆「大切なもの」「ぜんぶ」の曲想と曲の構造、各声部の役割や、他声部との関わりを理解している。〈観察・問答〉
	技能	☆創意工夫を生かした表現でリコーダーを演奏するために必要な奏法、タンギングや運指などの技能を身に付けて演奏している。〈聴取・記述〉	☆日本語の抑揚や言葉のリズムを生かして、まとまりのある旋律をつくっている。〈観察・問答・記述〉	☆「大切なもの」「ぜんぶ」の曲想を創意工夫しながら合唱するために必要な技能を身に付けて合唱している。〈聴取・記述〉
	思・判・表	☆リコーダーの音色や「春」の旋律・副旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表現するかについて思いや意図をもっている。〈観察・記述〉	☆日本語の抑揚や言葉のリズムを生かして、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。〈観察・相互・記述〉	☆「大切なもの」「ぜんぶ」の曲想を生かし、各声部の役割や全体の響きを意識して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。〈観察・自己・記述〉
	主体的	☆リコーダーの音色や「春」の曲の構造に関心をもち、アンサンブルを楽しみながら、主体的・協働的にリコーダーの学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆日本語の抑揚や言葉のもつリズムを生かして旋律をつくる学習を楽しみながら、音楽をつくる学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。〈観察・発言・記述〉	☆「大切なもの」「ぜんぶ」の曲想を創意工夫して歌い合わせる音楽活動を楽しみながら、合唱する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。〈観察・記述〉
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・定期試験プリント ・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験 ・学習カード ・和太鼓実技試験 ・歌唱実技試験 ・鑑賞 			

令和3年度 横浜市立名瀬中学校音楽科 年間指導・評価計画（第3学年） 使用教科書：教育芸術社

月	4	5		
時数	2	2	2	
学習の主題	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」	「曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏しよう」	「音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう」	
主題の目標	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。	楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏する。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
中心教材 参考教材等	「花」滝廉太郎 「風の中の青春」	「われは海の子」	組曲「展覧会の絵」より	
評価規準	知識	☆「花」の曲想と歌詞の内容の関わりや、二重唱を中心とした曲の構造等を理解している。〈観察・記述〉	☆リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解している。〈観察〉	☆様々な楽器の音色やオーケストラの響きについて理解している。〈観察・記述〉
	技能	☆創意工夫を生かした表現で「花」の二重唱をするために必要な発声、発音、身体の使い方等の技能を身に付けて歌っている。〈聴取・記述〉	☆曲想を生かした、曲にふさわしいリコーダー表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。〈聴取〉	
	思・判・表	☆「花」の曲想と歌詞の内容の関わりや、二重唱の響き、曲の構造等が生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考え、「花」をどのように創意工夫して歌うかについて思いや意図をもっている。〈観察・自己・記述〉	☆旋律とリズムの特徴など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質から、音楽表現の可能性をさぐり、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。〈観察・発言・記述〉	☆様々な楽器の音色やオーケストラの響きを知覚し、楽曲の構造をとらえ、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞している。〈観察・記述〉
	主体的	☆「花」の二重唱の響きや、歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、歌い合わせることを楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆リコーダーの基礎的な奏法を身に付け、様々な曲にふさわしい音楽表現を楽しみながら工夫して演奏する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆様々な楽器の音色やオーケストラの響きや、絵画とつながりのある音楽作品に関心を持ち、音楽を解釈したり価値づけていったりする活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・定期試験 ・音楽のハーモニー ・鑑賞プリント ・アルトリコーダー実技試験 ・学習カード ・和太鼓実技試験 ・歌唱実技試験 			

月	6	7		
時数	2	2	2	
学習の主題	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」	「創意工夫を生かし、まとまりのある音楽をつくろう」	「曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏しよう」	
主題の目標	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。	音階や言葉、音のつながり方、音素材及び音の重なり方や構成上の特徴を理解しながら、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを行い、まとまりのある創作表現を創意工夫して、旋律や音楽をつくる。	楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏する。	
中心教材 参考教材等	「帰れソレントへ」クルティス 「Let It Be」レノン、マッカートニー	〈My Melody〉 和音進行に合う旋律をつくる	「きらきら星」フランス民謡 「威風堂々」エルガー「Edelweiss」ロジャーズ	
評価規準	知識	☆「帰れソレントへ」「Let It Be」の曲種の相違と、イタリア民謡の特性、及びビートルズの音楽の特徴を理解している。〈観察・記述〉	☆音階、和声進行、伴奏などの特徴と旋律との関わりを理解している。〈観察・記述〉	☆リコーダーの音色と奏法との関わりについて理解している。〈観察・記述〉
	技能	☆「帰れソレントへ」「Let It Be」の曲種にふさわしい表現を創意工夫して歌うために必要な技能を身に付けて歌っている。〈聴取〉	☆音階、和声進行、伴奏などの特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて旋律をつくっている。〈観察・聴取〉	☆創意工夫を生かした表現でリコーダーを演奏するために必要な奏法、タンギングや運指などの技能を身に付けて演奏している。〈聴取・記述〉
	思・判・表	☆「帰れソレントへ」「Let It Be」それぞれの曲種の特徴が生かされたアクセントやリズム、及び固有の雰囲気や味わい等を知覚・感受し、どのように工夫して歌うかについて、思いや意図をもっている。〈観察・自己・記述〉	☆音階、和声進行、伴奏などの特徴を知覚し、それらの味わいを感受しながら、どのように工夫してふさわしい旋律をつくるかについて、思いや意図をもっている。〈観察・聴取〉	☆リコーダーの音色や「Edelweiss」「星の世界」の旋律・副旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表現するかについて思いや意図をもっている。〈観察・記述〉
	主体的	☆「帰れソレントへ」「Let It Be」の曲種にふさわしい歌唱表現の工夫を楽しみながら、よりふさわしい表現について考えをもち、曲種を生かして歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆言葉や音階、和声進行、伴奏などの特徴に関心をもち、それらを生かした音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的・協働的に取り組んでいる。〈観察・問答・記述〉	☆リコーダーの音色や「Edelweiss」「星の世界」の曲の構造に関心をもち、アンサンブルを楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉
評価方法	・授業への取組 ・鑑賞プリント	・定期試験 ・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験	・学習カード ・和太鼓実技試験 ・歌唱実技試験	

月	8 9	1 0	1 1	
時数	2	3	2	
学習の主題	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」	
主題の目標	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。	
中心教材 参考教材等	「花の街」團伊玖磨 「花は咲く」菅野よう子	「きみとともに」	混声合唱のためのかたがた“土の歌”より 「大地讃頌」佐藤眞 “土の歌”全曲 佐藤眞	
評価規準	知識	☆「花の街」の歌詞の内容と曲想の変化の関わりを理解している。 〈観察・記述〉	☆「風の中の青春」「きみとともに」の曲想と歌詞の内容との関わりや、曲の構造等を理解している。 〈観察・記述〉	☆「大地讃頌」の、混声四部合唱の響きや声部の役割を理解している。 〈観察・記述〉
	技能	☆「花の街」の歌詞の内容と曲想の変化の関わりや、曲の構造を捉えて創意工夫して歌うために必要な技能を身に付けて歌っている。〈観察・聴取〉	☆創意工夫を生かした表現で「風の中の青春」「きみとともに」の合唱をするために必要な発声、発音、身体の使い方等の技能を身に付けて歌っている。 〈聴取・記述〉	☆創意工夫を生かした表現で「大地讃頌」の合唱をするために必要な発声、発音、身体の使い方等の技能を身に付けて歌っている。〈観察・聴取〉
	思・判・表	☆「花の街」の歌詞の内容と曲想の変化の関わりを捉えたり、曲の構造との関わりを知覚・感受しながら、曲想にふさわしい表現をどのように創意工夫して歌うかについて、思いや意図を持っている。〈観察・発言〉	☆「風の中の青春」「きみとともに」の曲想と歌詞の内容の関わりや、混声三部合唱の響き、曲の構造等を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように創意工夫して合唱するかについて思いや意図を持っている。 〈観察・自己・記述〉	☆「大地讃頌」の曲想と歌詞の内容の関わりや、混声四部合唱の響き、曲の構造等を知覚し、特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように創意工夫して合唱するかについて、思いや意図を持っている。 〈観察・発言・記述〉
	主体的	☆「花の街」の歌詞の内容と曲想の変化の関わりを理解し、音楽活動を楽しみながら工夫して歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 〈観察・記述〉	☆「風の中の青春」「きみとともに」の曲想と歌詞の内容の関わりや、混声三部合唱の響きを捉え、音楽活動を楽しみながら、創意工夫して合唱する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 〈観察・記述〉	☆「大地讃頌」の、混声四部合唱の響きを捉え、声部の役割に関心をもち、他の声部との関わりを考えて歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 〈観察・記述〉
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への取組 ・ 定期試験 ・ 鑑賞プリント 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽のハーモニー ・ アルトリコーダー実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カード ・ 和太鼓実技試験 ・ 歌唱実技試験

月		1 2		
時数		2	2	2
学習の主題		「音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう」	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」	「創意工夫を生かし、まとまりのある音楽をつくらう」
主題の目標		音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解し、生活や社会における音楽の意味や役割について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。	音階や言葉、音のつながり方、音素材及び音の重なり方や構成上の特徴を理解しながら、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを行い、まとまりのある創作表現を創意工夫して、旋律や音楽をつくる。
中心教材 参考教材等		「ブルタバ」スメタナ 「フィンランディア」シベリウス	「早春賦」中田章 「椰子の実」大中寅二	〈Let's Create!〉 ボディパーカッションのアンサンブルをつくる
評価規準	知識	☆「ブルタバ」で表現されている情景や心情、作曲者の思いや、人間や社会と音楽との関わりについて理解している。〈観察・記述〉	☆「早春賦」の歌詞の内容や、言葉がもつ抑揚やリズムと、音楽との関わりについて理解している。〈観察〉	☆ボディパーカッションの特徴や、音楽を形づくっている要素の変化及び組合せによる効果を理解している。〈観察・記述〉
	技能		☆「早春賦」の歌詞の内容や、言葉がもつ抑揚やリズム、アクセント等の語感と旋律との関わり等から曲想を捉え、創意工夫して歌う技能を身に付けて歌っている。〈観察・聴取〉	☆ボディパーカッションの特徴を生かして音楽づくりをする技能を身に付けている。〈観察・発言・記述〉
	思・判・表	☆「ブルタバ」の、様々な楽器の音色やオーケストラの響き、楽曲の構造を知覚し、それらの組合せによる効果を感じながら、音楽と作曲者の気持ちを結び付けたり、音楽と社会について考えたりする等の価値付けをしながら、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞している。〈観察・記述〉	☆「早春賦」の歌詞の内容や、言葉がもつ抑揚、リズム、アクセント等の語感と旋律との関わり等から曲想を捉え、どのように創意工夫して歌うかについて、思いや意図をもっている。〈観察・記述〉	☆ボディパーカッションの特徴を生かし、効果的な音楽表現をするために必要などのように創意工夫して音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。〈観察・聴取〉
	主体的	☆「ブルタバ」で表現されている情景や心情と音楽の関わりや、人間や社会と音楽との関わりに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆「早春賦」の歌詞の内容や、言葉がもつ抑揚、リズム等の語感と旋律との関わりに関心を持ち、それらを生かして歌う学習に楽しく取り組みながら、主体的・協働的に学習しようとしている。〈観察・記述〉	☆ボディパーカッションの特徴を理解し、効果的な音楽をつくる活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。〈観察・問答・記述〉
評価方法		・授業への取組 ・鑑賞プリント	・定期試験 ・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験	・学習カード ・和太鼓実技試験 ・歌唱実技試験

月	1		2
時数	2		2
学習の主題	「我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取り味わおう」		「我が国や諸外国の音楽の特徴を理解し味わおう」
主題の目標	我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と多様性について理解し、音楽表現の共通性や固有性について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。		我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と多様性について理解し、音楽表現の共通性や固有性について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
中心教材 参考教材等	「平調 越天楽」 「陵王(左舞)」 「納曾利(右舞)」		能「羽衣」
評価規準	知識	☆「越天楽」の音色と響き、曲想の変化と音楽の構造との関わり、使用される楽器とその組み合わせによる効果等について理解している。〈発言・記述〉	☆和太鼓の音色と奏法との関わり及び、旋律の変化と曲想の変化との関わりを理解している。〈観察・記述〉
	技能		☆我が国の音楽表現をするために創意工夫を生かすことのできる技能を身に付け、和太鼓で表現している。〈自己・聴取〉
	思・判・表	☆「越天楽」の音色と響き、曲想の変化と旋律や速度の変化、楽器の組合せの変化や特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。〈自己・記述〉	☆差太鼓の音色やリズムを捉え、曲想を知覚・感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように和太鼓で表現するかについて、思いや意図をもっている。〈観察・自己・記述〉
	主体的	☆「越天楽」を味わって聴く活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。〈観察・記述〉	☆和太鼓の音色を生かしながら創意工夫して演奏する活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習しようとしている。〈観察・記述〉
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への取組 ・ 定期試験 ・ 鑑賞プリント 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽のハーモニー ・ アルトリコーダー実技試験 ・ 学習カード ・ 和太鼓実技試験 ・ 歌唱実技試験

月	3	
時数	2	2
学習の主題	「我が国や諸外国の音楽の特徴を理解し味わおう」	「曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう」
主題の目標	我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏したり、歌ったりしながら、そのよさや特徴を理解し、味わう。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。
中心教材 参考教材等	〈ポピュラー音楽〉 「Amazing Grace」、 マイケルジャクソン、クイーン等	「旅立ちの日に」高橋浩美 「春に」木下牧子 (卒業式の式歌練習)
評価規準	知識	☆世界や日本のポピュラー音楽の特徴や、音楽と社会の関わりについて理解している。〈観察・記述〉
	技能	☆「旅立ちの日に」「春に」の声部の役割や全体の響き、他の声部との関わりについて理解している。 〈観察〉 ☆創意工夫をした表現で「旅立ちの日に」「春に」を合唱するための技能を身に付けて合唱している。 〈観察・聴取・記述〉
	思・判・表	☆世界や日本のポピュラー音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、それぞれの曲の相違点や共通点について考え、自分にとっての価値付けを行いながら、よさや美しさを味わって聴いている。〈観察・記述〉
	主体的	☆世界や日本のポピュラー音楽の特徴に関心を持ち、各曲の特質や雰囲気を楽しみながら、音楽のよさや美しさを見出す学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。〈観察・記述〉
評価方法	・授業への取組 ・歌唱実技試験 ・定期試験 ・鑑賞プリント ・音楽のハーモニー ・アルトリコーダー実技試験 ・学習カード ・和太鼓実技試験	

令和3年度 第1学年 美術科 年間指導計画・評価計画 (45時間)

期	月	時数	題材名	活動の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法等
前期	4 ～ 7	15	(オリエンテーション) 【文字絵】 ①レタリング ②色彩について ③制作 ④鑑賞会	○デザインの利用の用法について学び、理解を深める。 ○色彩に興味をもたせ、その性質を知ることによって色への認識力、分析力を高める。 ○色彩に関する感性を高め、表現方法の幅を広げる力を養う。	・レタリングの方法を理解し、丁寧に制作したり彩色したりすることができる。 ・配色の効果を理解し、美しく効果的な配色をしたり、表現したいイメージを意図的に作り出すことができる。	・文字のイメージに合った効果や配色を考慮することができる。 ・独創的な発想力がある。 ・作品の特徴や美しさを味わい、作者の意図を理解して、作品への見方を広げることができる。	・作品完成までの見通しをもっている。 ・生活の中にある様々なデザインに関心を持ち、意図に合わせて美しく表現するための技能を身につけようとし、意欲的に制作しようとしている。	①授業への取組 ②学習カードへの記述 ③ワークシートへの記述 ④作品 ⑤定期試験
	8 ～ 9	2	【見て感じて描く】 スケッチとデッサン 対象物を次回授業の身近なものの立体にする。	○身近なものの中にある形の美しさや特徴を生かして表現することができる。 ○スケッチを通して、表現を楽しむ心情を育てる。 ○デッサンを通して、ものの形のとらえ方や観察力、表現力など、美術の基礎的な力を高める	・意図に応じて、形や明暗を工夫して表現することができる。 ・鉛筆を適切に使いわけることができる。 ・身近なものの特徴をどのように工夫して表現しているかを理解することができる。	・身近なものがどのような特徴をもち、どのように角度や光を表現したいかについて表現の意図を明確にしている。 ・身近なものの特徴をどのように工夫して表現しているかを感じ取ることができる。	・身近なものを表現するための構想を練ることができている。 ・身近なものを観察し、特徴を捉えて描くことに主体的に取り組もうとしている。	

後期	10 ～ 11	<p>【身近なものを立体で表そう】</p> <p>①アイデアスケッチ ②制作 ③鑑賞会</p>	<p>○粘土や立体作品の性質について学び、理解を深める。</p> <p>○身近なものの中にある美しさや特徴を発見し造形感覚を働かせ創意工夫して作る力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意図に応じた材料や用具の生かし方考え、創意工夫して表現することができる。 ・主題を元に、全体と部分などの関係を考えて創造的に作品を構成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴や美しさや味わい、美術作品への見方を広げることができる ・主題を元に、全体と部分などの関係を考えて創造的に作品を構成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立体作品完成までの見通しをもって制作することができる。 ・表現したい対象がもつ造形的な美しさや特徴を感じ取り、意欲的に制作しようとしている。
	12 ～ 1	<p>【スクラッチで表現】</p> <p>①線で表す ②アイデアスケッチ ③下書き ④制作 ⑤鑑賞会</p>	<p>○スクラッチ作品の性質や使用道具について理解する。</p> <p>○テーマを決め制作意図を明確にし、それを表現する力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・画材を理解し、表現したいものの構成(レイアウト)をしたり配色の工夫をしたりしている。 ・光や色、枠線のバランスを考えながら、カットを細やかに使用し、美しい作品を仕上げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現したい対象となるものの造形的な美しさや面白さを感じ取っている。 ・作者の意図を汲み取り、作品の工夫や美しさや味わい美術作品への見方を広げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成までの見通しをもって制作することができる。 ・使用する画材の理解、表現したい対象となるものの造形的な美しさや面白さを感じ取り、意欲的に制作しようとしている。
	2 ～ 3	<p>【わたしの手】</p> <p>①マインドマップ作り ②アイデアスケッチ ③制作 ④鑑賞会</p>	<p>○自分の手から発想を広げ、自身の主題を生み出し心豊かに表現する能力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発想を基に、作品を構成していくことができる。 ・意図に応じて材料や用具の生かし方を考え創意工夫して丁寧に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「手」をどのように表現するか柔軟な独創性をもって発想したり、構成したりしている。 ・作品の工夫や美しさ面白さを味わい、美術作品への見方を広げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品完成までの手順を考え、完成までの見通しをたてることができる。 ・自分の手の持つ不思議な造形的な部分の魅力を感じ取り、意欲的に制作することができる。

令和3年度 第2学年 美術科 年間指導計画・評価計画 (35時間)

期	月	時数	題材名	活動の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法等
前期	4 ～ 7	12	【石彫 抽象表現】 ①篆刻について ②印面の制作 ③抽象彫刻の鑑賞 ④アイデアスケッチ ⑤制作	○立体作品の制作について関心を持ち、理解を深める。 ○石の特性を理解し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現することができる力を育てる。 ○石の面と面のつながりを理解し、効果的に立体の美しさを表現できるような力を養う。	・石彫の印面で使用する文字の特徴や、石彫で使用する道具を理解している。 ・石の特徴(硬さや柔らかさ)を生かして、適切な道具を使い、自分のイメージを創意工夫しながら立体的に表現することができる。	・ダミーなどで自身の考えを具体化し、造形的な美しさを考え、構想を練ることができる。 ・作品の特徴や、よさ・美しさを味わい、美術作品への見方を広げることができる。	・完成までの見通しをもって制作することができる。 ・表現したい対象の造形的な美しさや特徴を感じ取り、意欲的に制作しようとしたり、鑑賞しようとしたりしている。	①授業への取組 ②学習カードへの記述 ③ワークシートへの記述 ④作品 ⑤定期試験
	8 ～ 11	12	【ピクトグラム制作】 ①ピクトグラムの鑑賞 ②アイデアを練る ③制作 ④鑑賞会	○デザインの用具の使用方法について学び、理解を深める。 ○伝えたい内容は何か、伝える対象は誰なのかを明確にして、その内容を形や色彩などの効果を生かして表現する力を育てる。 ○色彩に関する感性を高め、表現方法の幅を広げる。	・表現意図に合わせて伝わりやすく美しい作品をつくる技能を身につけている。 ・伝わりやすさを考えてデザインしている。 ・色の特徴を理解し、効果的な表現方法を工夫することができる ・美しい仕上がりになっている。	・伝わりやすさを考えたデザインをし、色の特徴を生かして効果的な表現方法を工夫することができる ・形や色彩などの効果を生かして、伝えたい内容を意識してデザインが構成されている。 ・独創的な発想力がある。	・完成までの見通しをもって制作することができる。 ・生活の中にあるピクトグラムに関心をもち、伝えることの面白さを感じとりながら意欲的に制作しようとしている。	

後期	12 ～ 2	9	A 表現(1) 【墨が表す世界】 ①水墨画の鑑賞 ②技法を学ぶ ③アイデアスケッチ ④制作 ⑤鑑賞会	<p>○水墨画の作品やその歴史に触れ、関心を深める。</p> <p>○水墨画が持つ特性や使用する道具について学び、理解を深め、豊かに表現する力を育てる。</p> <p>○与えられたテーマを元に、見通しを持って計画的に制作を進められる力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用する水や筆、用紙の特徴を理解して、それらを作品に生かすことができる。 ・ 水墨画を創意工夫して表現するための技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨の効果を生かした表現方法から発想を広げ、表したい内容について構想を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成までの見通しをもって制作することができる。 ・ 水墨画の表現の美しさに関心をもち、自身の作品に生かして表現しようとしている。
	3	2	【浮世絵とヨーロッパの美術】	<p>○江戸時代の日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考え、それぞれの表現を味わい、美術文化の理解を深める。</p> <p>○作品を鑑賞しながら、一点透視法、2点透視法、などを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品に興味をもち、時代背景や作品が作られた経緯に興味をもち、透視法や構図や技法などへの理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作者の意図を汲み取り、作品の工夫や美しさを味わい美術作品への見方を広げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本と諸外国の美術や文化の共通性や相違に気づき、それぞれの特徴や美しさを味わうことができる。

令和3年度 第3学年 美術科 年間指導計画・評価計画 (35 時間)

期	月	時数	題材名	活動の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法等
前期		3	【京都・奈良の文化遺産】 仏像の鑑賞	○日本の歴史や文化を美術的な視点で鑑賞し、 仏像の鑑賞を通し文化遺産についての理解を深める。	・ 仏像の特徴を理解している。 ・ 伝統工芸品の特徴や美しさに気づき、受け継がれている技や歴史を理解している。	・ それぞれの時代の文化遺産に込められた当時の人々の願いや祈り、美術文化の継承と創造について思いや願いをもっている。	・ 様々な仏像に込められた人々の思いや願いや祈りを捉え、自分のこととして美術文化の継承や創造をしようとしている。	①授業への取組 ②学習カードへの記述 ③ワークシートへの記述 ④作品 ⑤定期試験
		4 ～ 7	12	【わたしとの対話】 ①自画像を描く ②モダンテクニックの学習 ③アイデアを練る ④制作	○デッサンを行う。 ○モダンテクニックについて学び、理解を深める。 ○自身を深く見つめ直し、考えたことや感情など心の世界を作品で表現することができる力を伸ばす。	・ さまざまな表現方法を創意工夫しながら、自分を効果的に表現することができる。 ・ 水彩画の特徴を生かして、豊かに表現することができる。	・ 表現したい自身のイメージを意図的に作り出すことができる。 ・ 自分の姿を見つめ考えた事をもとに、表現の構想を練ることができる。 ・ 作品に託した思いや意図、表現の工夫に気づき、作品の個性や美しさを味わうことができる。	
	8 ～ 12	12	A 表現(2) 【木彫ウエルカムボード制作】	○工芸品の制作について関心を持ち、理解を深める。	・ 神奈川県伝統工芸品について知ることができる。	・ 独創的な発想をもち、それを生かすことができる。	・ 使用場面や目的を考えながら作品の構成を練り、完成までの	

後期			①伝統工芸品鑑賞 ②木彫の技法学習 ③制作 ④鑑賞会 着色を省きニスやワックス仕上げで時間を削減する。	○木の特性を理解し、制作に必要な技法を学ぶ ○彫る順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現することができる力を伸ばす。 ○道具の使い勝手や特性や必要性を知り、使いこなせる力を育てる。	・ 作品の使用場面や目的に見合った造形的な美しさを、総合的に理解している。 ・ 創意工夫した作品をつくり出すために必要な木彫の技法身に付けている。	・ 作品の使用場面や目的に見合った作品を考えながら、美術作品としての美しさを意図的につくり出すことができる。 ・ 構想を練ることができる。を生かし、美しい作品を意図的に作り出すことができる。	見通しをもって制作しようとしている。 ・ 作品のよさや美しさを感じ取り、理解を深めようとしている。	
	1 ～ 3	8	カードで気持ちを表そう】 ①アイデアを練る ②制作 ③鑑賞会	○紙の特性を生かして、豊かに表現する力を伸ばす。 ○身近な人にメッセージを伝えるデザインに関心を持ち、相手の気持ちを考えて制作する心の豊かさを育てる。	・ 紙の造形的な美しさやよさを理解し、自身の作品に生かすことができている。 ・ カードの特徴を最大限に生かして美しく機能的な作品をつくる技能を身に付けている。	・ カードを贈る相手の気持ちを想像し、作品に反映させることができる。 ・ 互いの作品の創造的なよさや美しさを認め、作り手の思いや意図を感じ取ることができる。	・ 完成までの見通しをもって制作することができる。 ・ 気持ちを伝えるための方法や仕組みを工夫して、丁寧に表現しようとしている。	

2021年度

年間学習計画と評価

保健体育科

第2学年

指導目標		運動に親しむとともに心身の健康を保持増進と体力の向上を目指し、生涯にわたって豊かなスポーツライフを選択し、実現するための資質・能力を養う。					
月	単元	時数	指導目標	観点別評価基準			
				知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
				知識	技能		
4	体づくり運動	7	身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。健康の保持増進や体力の向上を目指す。目的に適した運動の計画を立て取り組む。	運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組もうとしている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しようとしている。自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。	積極的に取り組もうとしている。互いに助け合おうとしている。話し合いに貢献しようとしている。健康・安全に気を配ろうとしている。
4 ・ 5 ・ 6	バスケットボール	22	基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開する。	技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。	ボール操作と空間へ走りこむなどの動きによってゴール前での攻防をしている。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しようとしている。自己の考えたことを他者に伝えようとしている。	積極的に取り組もうとしている。フェアなプレイを守ろうとしている。一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとしている。作戦などの話し合いに参加しようとしている。健康・安全に気を配ろうとし
	陸上競技		基本的な動きや効率的な動きを身につける。	特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。	基本的な動きや効率的な動きを身につける。	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しようとしている。自己の考えたことを他者に伝えようとしている。	積極的に取り組もうとしている。ルールやマナーを守ろうとしている。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。健康・安全に気を配ろうとし
7	柔道	6	基本的な礼法を身につけ、受け身や体さばき、崩しなどの柔道の基本的な動きを身につけ安全に武道を展開する。	特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方関連して高まる体力などを理解する。	基本的な礼法を身につけ、受け身や体さばき、崩しなどの柔道の基本的な動きができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しようとしている。自己の考えたことを他者に伝えようとしている。	積極的に取り組もうとしている。相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。

7 ・ 8 ・ 9	水泳	11	クロール、平泳ぎの基本技能を身につけ、健康・安全に留意して活動できる。	特性や成り立ちや安全な行い方、関連して高まる体力などを理解する。	クロール、平泳ぎを一連の動作で泳ぐことができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しようとしている。自己の考えたことを他者に伝えようとして	水泳の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとしている。
夏期休業中			課題への取り組みとその内容				
7 ・ 8 ・ 9	保健	8	個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。健康について自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	生活習慣の乱れと生活習慣病などとのつながりを理解する。喫煙、飲酒、薬物乱用をすることによる健康への影響を理解する。健康な生活と疾病の予防について理解している。運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について	健康を保持増進するために、正しい生活習慣を送ることができる。	健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現しようとする。	生涯にわたって自らの健康を管理しようとする意欲がもてるようにする。運動やスポーツが心身の発達に与える効果や、それらを安全に行う方法について自主的に取り組もうとする。
			前期の取り組みにおける評価の集計		全体まとめの提示		
前期の評価		評価方法・評価場面		授業への取り組み◎ 定期試験 ◎	授業への取り組み◎ 技能テスト ◎	授業への取り組み ◎ 学習カード ◎	授業への取り組み ◎ 学習カード ◎
9 ・ 10	ダンス 陸上競技	6	身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。健康の保持増進や体力の向上を目指す。目的に適した運動の計画を立て取り組む。	運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組もうとしている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しようとしている。自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。	積極的に取り組もうとしている。互いに助け合おうとしている。話し合いに貢献しようとしている。健康・安全に気を配ろうとしている。
1 ・ 1	卓球		相手の攻撃や防御に応じた作戦を立て、自分の役割を考えながらゲームを楽しむことができるようにする。	特性や成り立ち、安全な行い方、運動観察の方法などを理解している。	基本的な技能を用いて、相手のコートに空いているスペースにコントロールできる。	攻防など自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しようとしている。自己の考えたことを他者に伝えようとしている。	自主的に取り組もうとしている。ルールやマナーを大切にしようとしている。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。健康・安全を確保しようとして

1 2 ・ 1	ソフトボール	22	<p>作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。</p> <p>特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。</p>	<p>基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防する。</p>	<p>攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しようとしている。</p> <p>自己の考えたことを他者に伝えようとしている。</p>	<p>積極的に取り組もうとしている。</p> <p>フェアなプレイを守ろうとしている。</p> <p>一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとしている。</p> <p>作戦などの話し合いに参加しようとしている。</p> <p>健康・安全に気を配ろうとし</p>	
1 ・ 2	保健 体育理論	8 ・ 3	<p>個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。</p> <p>健康について自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</p> <p>運動やスポーツの効果と学び方から、体育の見方・考え方を育み、現在及び将来における自己の適性等に応じた運動やスポーツとの</p>	<p>交通事故や自然災害などによる傷害には様々な要因が関わりによって発生すること、適切な対策によって防止できることを理解する。</p> <p>運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解する。</p>	<p>様々な障害の要因について理解し、それぞれを防止するための適切な行動ができる。</p>	<p>傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。</p>	<p>生涯にわたって自らの健康を管理しようとする意欲がもてるようにする。</p> <p>運動やスポーツが心身の発達に与える効果や、それらを安全に行う方法について自主的に取組もうとする。</p>
2 ・	サッカー	19	<p>基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開する。</p>	<p>技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。</p>	<p>ボール操作と空間へ走りこむなどの動きによってゴール前での攻防をしている。</p>	<p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しようとしている。</p> <p>自己の考えたことを他者に伝えようとしている。</p>	<p>積極的に取り組もうとしている。</p> <p>フェアなプレイを守ろうとしている。</p> <p>一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとしている。</p> <p>作戦などの話し合いに参加しようとしている。</p> <p>健康・安全に気を配ろうとし</p>

3	アルティメット	基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開する。	技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。	ディスク操作と空間へ走りこむなどの動きによってフィールドを広く使う動きで攻防をしている。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しようとしている。自己の考えたことを他者に伝えようとしている。	積極的に取り組もうとしている。フェアなプレイを守ろうとしている。一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとしている。作戦などの話し合いに参加しようとしている。健康・安全に気を配ろうとし
総時数	105	評価方法・評価場面	授業への取り組み◎ 定期試験◎	授業への取り組み◎ 技能テスト◎	授業への取り組み◎ 学習カード◎	授業への取り組み◎ 学習カード◎
			前期・後期の取り組みにおける評価の集計		全体まとめの提示	
年度末の評価		評価方法・評価場面	授業への取り組み◎ 定期試験◎	授業への取り組み◎ 技能テスト◎	授業への取り組み◎ 学習カード◎	授業への取り組み◎ 学習カード◎

2021年度 年間指導計画と評価

技術・家庭科(技術分野)

第1学年

月	学習内容	時数	指導目標	観点別評価基準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
指導目標 ○生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身につけさせる。 ○生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を育てる。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する実践的な態度を育てる。						
4	◆技術分野のガイダンス	2	技術に対する興味・関心を持ち、見通しを持って学習に取り組む姿勢をつくる。			技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。
5	◆材料と加工の技術	26	材料の特徴や構造上の工夫、加工の方法を知り、活用できる力を養う。 使用目的と使用条件にあった作品の製作において、設計や技能を理解させ、正確かつ安全に製作することを通し、発見した課題を解決する力を養う。	材料の特性と材料に適した加工方法、工具や機器について理解している。 安全に配慮しながら適切に製作品を製作・検査できる技能を身に付けている。	「技術の見方・考え方」を働かせ、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 構想に基づいて、製作の計画を立て、製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善・修正する力を身に付けている。	自分なりの捉え方考え方により、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重・保護・活用しながら、協働して粘り強く取り組もうとしている。 自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
6	原理・法則と仕組み					
7	問題解決					
8						
9						
10						
11						
12	社会の発展と材料と加工の技術	社会の問題解決における最適化を知り、持続可能な社会の構築のために、これからの材料と加工の技術について考える態度を養う。	材料と加工の技術の概念について理解している。	材料と加工の技術の最適化について考えている。 材料と加工の技術を評価し、適切な選択やその応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。	
1						
2	◆情報の技術	7	コンピュータの機能や処理方法を理解し、情報通信ネットワークを適切に利用できる能力を養う。	情報やネットワークの仕組みを理解し、安全に利用できる技能を身に付けている。 情報セキュリティの基本的な知識について理解している。	情報技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気づくことができる。	主体的に情報の技術について考えようとしている。 情報の安全を確保するために必要な判断や対応力を身に付けようとしている。
3	原理・法則と仕組み					
評価方法・評価場面				◎作品の評価 ◎実技技能の評価 ◎定期テスト ・作業を効率よく進め、作品を正しく完成させることができる。 ・実習の注意事項を遵守し、安全に配慮した行動をしている。 ・学習した内容を理解し、活動に臨んでい	◎ノートやワークシートの状況 ◎定期テスト ◎作品・実習の状況 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善・修正する力を身に付けている。 ・ノートやワークシートに自らの考えをまとめ、表現している。	◎実習に取り組む姿勢 ◎ノートやワークシートの状況 ◎作品・実習の状況 ・学習内容に関心を持ち、主体的に授業に取り組んでいる。 ・ノートやワークシートにおいて、問題解決の評価と改善を行おうとしている。

2021年度 年間指導計画と評価

技術・家庭科(技術分野)

第2学年

月	学習内容	時数	指導目標	観点別評価基準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
指導目標 ○生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身につけさせる。 ○生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を育てる。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する実践的な態度を育てる。						
4	◆生物育成に関する技術	11	生物を健康に育てるために、成長に合わせた育成計画を立てられる能力を養う。生物の成長に合わせた管理作業を行う力を養う。	生物の育成環境の調節や成長を管理する技術について理解している。生物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。生物育成の技術の概念について理解している。	「技術の見方・考え方」を働かせ、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。育成する生物に適した環境を考えて計画を立て、製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善・修正する力を身に付けている。生物育成の最適化や適切な選択、応用	主体的に生物育成の技術について考えようとしている。自分なりの捉え方考え方により、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重・保護・活用しながら、協働して粘り強く取り組もうとしている。自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
5	・生物を育てる技術の特徴					
6	・生物を育てる技術の計画と管理					
7	・生物育成に関する技術の評価・活用					
8	◆エネルギー変換に関する技術	24	エネルギーを他のエネルギーに変換することで、目的の仕事を得ていることを理解させる。エネルギー変換を利用した製品の製作を通して、設計や技能を理解させ、正確かつ安全に製作・点検する力を養う。	生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。発電や電源の種類や特徴、電気回路や機械の仕組み、その安全な使い方について理解している。構想に基づいて設計をまとめ、安全に配慮しながら製作・点検・調整する技能を身に付けている。	「技術の見方・考え方」を働かせ、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。構想に基づいて製作の計画を立て、過程や問題解決の結果を評価し、改善・修正する力を身に付けている。エネルギー変換の技術の最適化や適切な選択、応用について考えている。	自分なりの捉え方考え方により、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重・保護・活用しながら、協働して粘り強く取り組もうとしている。自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
9	・エネルギーの変換と利用					
10	・製作品の設計・製作					
11						
12						
1						
2	・エネルギー変換に関する技術の評価・活用					
3		エネルギー変換に関する技術について、さまざまな側面から評価できる力を養う。	エネルギー変換の技術の概念について理解している。	エネルギー変換の技術の最適化について考えている。エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択やその応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。	
評価方法・評価場面				◎作品の評価 ◎実技技能の評価 ◎定期テスト ・作業を効率よく進め、作品を正しく完成させることができる。 ・実習の注意事項を遵守し、安全に配慮した行動をしている。 ・学習した内容を理解し、活動に臨んでい	◎ノートやワークシートの状況 ◎定期テスト ◎作品・実習の状況 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善・修正する力を身に付けている。 ・ノートやワークシートに自らの考えをまとめ、表現している。	◎実習に取り組む姿勢 ◎ノートやワークシートの状況 ◎作品・実習の状況 ・学習内容に関心を持ち、主体的に授業に取り組んでいる。 ・ノートやワークシートにおいて、問題解決の評価と改善を行おうとしている。

2021年度 年間指導計画と評価

技術・家庭科(技術分野)

第3学年

月	学習内容	時数	指導目標	観点別評価基準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
指導目標 ○生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身につけさせる。 ○生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を育てる。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する実践的な態度を育てる。						
4 5 6	◆情報に関する技術 ・コンピュータと情報通信ネットワーク	7	コンピュータの機能や処理方法を理解し、情報通信ネットワークを適切に利用できる能力を養う。	情報通信ネットワークの構成や情報セキュリティの基本的な知識について理解している。 情報の特性を理解し、安全に利用できる技能を身に付けている。	情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気づくことができる。	情報が社会に与える影響を理解し、望ましい情報社会のために撮るべき態度を身に付けようとしている。 情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。
7 8 9 10 11 12	◆情報に関する技術 ・デジタル作品の設計・製作 ・プログラムによる計測・制御	8	デジタル作品の制作手順を設計し、制作する力を養う。 計測・制御システムの基本的な構成とプログラムを作るための手順を知り、制作できる力を養う。	計測・制御システムの基本的な構成を理解している。 安全で適切なプログラムの制作と動作確認ができる技能を身に付けている。	「技術の見方・考え方」を働かせ、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。 計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善・修正する力を身に付けている。	自分なりの捉え方考え方により、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重・保護・活用しながら、協働して粘り強く取り組もうとしている。 自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
1 2 3	◆情報に関する技術 ・情報に関する技術の評価・活用 ◆技術分野の学習を終えて	2.5	情報に関する技術について、さまざまな側面から評価できる力を養う。	情報の技術の概念について理解している。	情報の技術の最適化について考えている。 情報の技術の評価し、適切な選択やその応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
評価方法・評価場面				◎作品の評価 ◎実技技能の評価 ◎定期テスト ・作業を効率よく進め、作品を正しく完成させることができる。 ・実習の注意事項を遵守し、安全に配慮した行動をしている。 ・学習した内容を理解し、活動に臨んでい	◎ノートやワークシートの状況 ◎定期テスト ◎作品・実習の状況 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善・修正する力を身に付けている。 ・ノートやワークシートに自らの考えをまとめ、表現している。	◎実習に取り組む姿勢 ◎ノートやワークシートの状況 ◎作品・実習の状況 ・学習内容に関心を持ち、主体的に授業に取り組んでいる。 ・ノートやワークシートにおいて、問題解決の評価と改善を行おうとしている。

2021年度 年間指導計画と評価

技術・家庭科(家庭分野)

第1学年

月	学習内容	時数	指導目標	観点別評価基準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>指導目標</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>						
4 5	ガイダンス 家族・家庭生活 ・自分の成長と家族・家庭生活	6	<p>◆中学校の家庭科の学習内容や1年次の学習内容に理解できるようにする。</p> <p>◆自分の成長を振り返ることを通して、自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族と協力して家庭生活を営む必要があることに気づくことができるようにする。</p>	<p>・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。</p> <p>・家族・家庭の基本的な機能について理解している。</p> <p>・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。</p> <p>・家族の互いの立場や役割について理解している。</p> <p>・家族と協力することによって家族関係をよりよく</p>	<p>・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p>	<p>・家族とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>・よりよい家庭生活の実現に向けて、家庭生活について工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
6 7 8 9	食生活の自立 ・食事の役割と食習慣 ・中学生に必要な栄養を満たす食事 ・中学生の1日分の献立作り ・さまざまな食品とその選択 ・日常食の調理	14	<p>◆中学生に必要な栄養を満たす食事について課題をもち、栄養素や食品の栄養的特質、中学生の1日に必要な食品の種類と概量、1日分の献立作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、健康に良い食生活を意識した中学生の1日分の献立を工夫することができるようにする。</p> <p>◆日常食の調理について課題をもち、食品の選択と調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常食の調理を工夫することができるようにする。</p>	<p>・生活の中で食事が果たす役割について理解している。</p> <p>・健康によい食習慣について理解している。</p> <p>・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。</p> <p>・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。</p> <p>・1日分の献立を作成する方法について理解している。</p> <p>・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品や加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。</p> <p>・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に選択できる。</p> <p>・野菜に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。</p>	<p>・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p> <p>・中学生に必要な栄養を満たす食事や中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。</p> <p>・食品の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p> <p>・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p>	<p>・自分の食生活について、振り返り、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>・中学生に必要な栄養を満たす食事や中学生の1日分の献立作りについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>・食品の選択について、振り返り、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
10 11 12	住生活の自立 ・住まいのはたらきとこころよさ ・安全な住まいで安心な暮らし	8	<p>◆住居の機能と安全な住まい方について、課題をもち、住居の基本的な機能について理解し、家庭内の事故を防ぎ、自然災害に備えるための住空間の整え方を工夫することができるようにする。</p>	<p>・住居の基本的な機能について理解している。</p> <p>・家族の生活と住空間との関わりが分かりについて理解している。</p> <p>・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。</p> <p>・自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。</p>	<p>・住生活について問題を見いだして課題を設定している。</p> <p>・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p>	<p>・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
1 2 3	衣生活の自立 ・生活を豊かにするものの製作	7	<p>◆生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題をもち、製作する物に適した縫い方、用具の安全な取扱いに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p>	<p>・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。</p>	<p>・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p>	<p>・生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
評価方法・評価場面				定期テスト、ワークシート、ノート、製作品と製作過程の技能、課題レポート	製作実習カード、課題レポート、ノート、ワークシート、定期テスト	授業や実習時の行動観察、ノート、ワークシート、課題レポート、製作実習カード

2021年度 年間指導計画と評価

技術・家庭科(家庭分野)

第2学年

月	学習内容	時数	指導目標	観点別評価基準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>指導目標</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>						
4 5	衣生活の自立 ・衣服のはたらき ・T.P.O.を踏まえた自分らしい着方 ・必要な衣服の選択 ・衣服の手入れ ・衣服の計画的な活用方法を考えよう	6	◆衣服の選択と手入れについて、課題をもち、衣服と社会生活との関わりについて理解し、衣服の選択、着用及び手入れに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、衣服の選択、日常着の手入れの仕方を工夫することができるようにする。	・衣服と社会生活との関わりや目的に応じた着用、個性を生かす着用について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性について理解している ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 ・日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて日常着の手入れについて、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
6 7 8 9	生活を豊かにするために ・フェルトを利用した小物作り ・生活に役立つエコバッグ製作	12	◆製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、資源や環境に配慮して製作計画を考え、製作を工夫することができるようにする。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
10 11 12	調理と食文化 ・日常食の調理(肉の調理) ・季節の食材を用いた和食の調理	8	◆日常食の調理と食文化について、課題をもち、食品の選択と調理、日本の食文化に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常食の調理を工夫することができるようにする。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・季節の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・調理の仕方や調理計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
1 2 3	消費生活と環境 ・消費者としての自覚 ・商品の選択と購入 ・消費者トラブルを解決する方法 ・消費者の権利と責任 ・環境に配慮した消費生活	9	◆金銭の管理と購入について、課題をもち、計画的な金銭管理の必要性について理解し、購入方法や支払い方法の特徴、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応及び物資とサービスの選択に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、必要な情報を活用して購入について工夫できるようにする。 ◆自立した消費者としての責任ある消費行動を工夫することができるようにする。	・物資・サービスについて理解している。 ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組みについて理解している。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。 ・自立した消費者としての消費行動について問題を見だし、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、自立した消費者として、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法・評価場面				定期テスト、ワークシート、ノート、製作品と製作過程の技能、課題レポート	製作実習カード、課題レポート、ノート、ワークシート、定期テスト	授業や実習時の行動観察、ノート、ワークシート、課題レポート、製作実習カード

2021年度 年間指導計画と評価

技術・家庭科(家庭分野)

第3学年

指導 目標	(1)家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (3)自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。						
	月	学習内容	時数	指導目標	観点別評価基準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7 8 9 10	幼児の生活と家族 ・幼いころを振り返ろう ・幼児の心身の発達 ・幼児の生活習慣の習得 ・幼児の生活と遊び ・幼児との関わり ・子どもにとっての家族	10	◆幼児の生活と家族について、課題をもち、幼児の発達と生活、幼児との関わり方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、それを支える家族の役割や遊びの意義について理解し、幼児の関わり方を工夫することができるようにする。	・幼児の心身の発達の特徴について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・幼児との関わり方について理解している。	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。	・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	
11 12	調理と食文化 ・日常食の調理	5	◆日常食の調理と食文化について、課題をもち、食品の選択と調理、日本の食文化に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常食の調理を工夫することができるようにする。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・季節の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・調理の仕方や調理計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
1 2 3	家族・家庭と地域 ・家庭や家族の機能 ・中学生にとっての家族 ・家庭生活と地域とのかかわり 3年間を振り返って	2.5	◆家族・家庭や地域との関わりについて、課題をもち、家族の立場や役割、家庭生活と地域との関わりについて理解し、家族関係や高齢者との関わり方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり協働する方法を考え、くふうすることができるようにする。 ◆3年間の家庭分野の学習内容ごとにふり返らせ、これからの生活で生かしていきたい	・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることや家族や地域との関わり方を理解している。	・地域の人びとと関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家庭分野で学習したことをこれからの生活に生かそうとしている。	
評価方法・評価場面				定期テスト、ワークシート、ノート、製作品と製作過程の技能、課題レポート	製作実習カード、課題レポート、ノート、ワークシート、定期テスト	授業や実習時の行動観察、ノート、ワークシート、課題レポート、製作実習カード	

「学年の目標」自分のことや日常生活について、まとまりのある内容を伝え合うことができる。

[L] = 聞く, [R] = 読む, [SI] = 話す(やり取り), [SP] = 話す(発表), [W] = 書く

学習月	単元・教材名等	活動目標・到達目標	言語の使用場面	言語の働き	主な言語材料	時数 (計 100)	小学校との 対応※
4月	Let's Be Friends!	①[L][SI]言葉で人とつながろう	学校	相づち	気持ちや状態を表す語	1	3-4年Unit 6 5年 Unit 1, 2, 3, 6 5-6年 Let's Start, Sounds and Letters
		②[L][SI][W]好きなものでつながろう	学校	相づち, 質問	色を表す語	1	
		③[L][SI][W]世界のどこかへ行ってみよう	学校	質問	国の名前	1	
		④[L][R][SI]数字を聞いて動物を探し出そう			数を表す語	1	
		⑤[L][SI][W]誕生日をたずね合おう	家庭	質問	日付や月を表す語	1	
		⑥[L][W]アルファベットを聞いて書こう			アルファベット	1	
		⑦[L][SI][W]英語の音とつづりを確かめよう			英語の音とつづり	1	
5月	Unit 1 Here We Go!	[L]会話から, その人の情報を聞き取ることができる。 [W]自己紹介カードに, 自分の情報を書くことができる。	自己紹介	相づち, 礼を言う, 質問, 褒める, 発表	I am ~. I like ~. / I don't like ~. I can ~. / I can't ~.	8	3年 Unit 4 5年 Unit 1, 5 6年 Unit 1
	Daily Life 1 国際郵便	[W]海外宛ての送り状に, 宛名や住所を書くことができる。			ローマ字	1	5年 Unit 1
6月	Unit 2 Club Activities	[L]会話から, 好みや得意なことなどを聞き取ることができる。 [SI]好きなことや得意なことなどについて, たずね合うことができる。	学校	話し掛ける, 礼を言う, 説明, 質問, 命令	Are you ~? Do you ~? Can you ~?	8	5年 Unit 1, 4, 5 6年 Unit 9
	Unit 3 Enjoy the Summer	[L]インタビューから, したいことなどを聞き取ることができる。 [SI]夏休みにしたいことについて, アンケートを取ることができる。	地域の行事	相づち, 苦情, 説明, 意見, 質問	What do you ~? I like dancing. I want to ~.	8	3年 Unit 5 5年 Unit 2, 3, 6 6年 Unit 3, 9
7月	World Tour 1 世界の中学生	[L]世界の挨拶や, 中学生の生活の様子を知ろう	自己紹介	話し掛ける, 質問	How many ~?	1	3年 Unit 3 4年 Unit 1 5年 Unit 3
	Active Grammar 1	自分と相手のことを伝える言い方を整理しよう			am, are / 一般動詞 / can	2	
	You Can Do It! 1	[R][SP]自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	自己紹介	説明	既習の表現	2	
9月	Unit 4 Our New Friend	[L]人物紹介から, 基本的な情報を聞き取ることができる。 [SP]身近な人などについて, 基本的な情報を紹介することができる。	学校	相づち, 褒める, 説明, 質問	He is ~. / She is ~. Who is ~? Is he ~? / He isn't ~.	9	5年 Unit 3, 9 6年 Unit 5
10月	Unit 5 This Is Our School	[R]学校公開の案内状から, 時間や場所などを読み取ることができる。 [SI]お気に入りの学校内の施設について, たずね合うことができる。	学校	相づち, 褒める, 説明, 意見, 質問	Where is ~? Watch your step. When is ~?	9	4年 Unit 8 5年 Unit 2, 8 6年 Unit 6
	Daily Life 2 落とし物	[SI]落とし物の持ち主を探すやり取りができる。	学校	聞き直す, 質問	Whose ~?	1	
	Active Grammar 2	人や物事の代わりをする言葉を整理しよう			代名詞	1	
11月	Unit 6 Cheer Up, Tina	[R]紹介文から, その人物が誰かを読み取ることができる。 [W]身近な人の基本的な情報を伝える, 紹介文を書くことができる。	家庭	相づち, 謝る, 説明, 質問	She likes ~. Does she ~? She doesn't ~.	9	
	Active Grammar 3	自分と相手以外のことを伝える言い方を整理しよう			is / 3人称単数現在形	1	
	Daily Life 3 カフェ	[SI]飲食店で, 注文をするやり取りができる。	食事	質問, 依頼	Which ~? How much ~?	1	5年 Unit 7
12月	World Tour 2 世界の時刻	[L]日本と世界の時差について知ろう			What time ~?	1	4年 Unit 4 5年 Unit 4
	Active Grammar 4	yesやnoでは答えられない疑問文を整理しよう			疑問詞	1	
	Let's Read 1 What Am I?	[R]説明文から, "I"についての情報を読み取ることができる。			既習の表現	1	
	You Can Do It! 2	[L][SP]「ドリームファミリー」を紹介しよう	学校	説明	既習の表現	2	
1月	Unit 7 New Year Holidays in Japan	[R]はがきから, 出来事や感想などを読み取ることができる。 [W]冬休みの出来事や感想などを伝える, はがきを書くことができる。	地域の行事, は がき	聞き直す, 褒める, 説明, 意見, 質問	I went ~. Did you ~? It was ~.	10	6年 Unit 4, 7
	Active Grammar 5	過去の出来事や状態などを伝える言い方を整理しよう			動詞の過去形	1	
2月	Daily Life 4 ウェブサイト	[R]ウェブサイトから, 必要な情報を読み取ることができる。		説明	既習の表現	1	
	Unit 8 Getting Ready for the Party	[L]写真の説明から, その場の状況を聞き取ることができる。 [W]写真に, 状況を説明するキャプションを書くことができる。	家庭, 電話	相づち, 礼を言う, 描写, 意見, 質問	I am baking ~. Are you baking ~? It looks ~.	9	
	Active Grammar 6	している最中のことを伝える言い方を整理しよう			現在進行形	1	
	Daily Life 5 ラジオの中継	[L]ラジオの中継から, 現地の様子を聞き取ることができる。		描写, 報告	既習の表現	1	
3月	Let's Read 2 The Lion and the Mouse	[R]物語から, あらすじを読み取ることができる。			既習の表現	2	
	You Can Do It! 3	[R][SP]学校行事の紹介ページを作ろう	学校	説明, 質問	既習の表現	2	6年 Unit 2, 7
	Let's Read More My Japanese Lessons	[R]レポートから, 筆者の体験に基づく感想などを読み取ることができる。		報告	既習の表現	(2)	
帯	Sounds and Letters	[R]文字を正しく読むことができる。			発音とつづり		5-6年 Sounds and Letters
帯	Story Retelling	[SP]ストーリーについて, 簡単な語句や文を使い, その場で話すことができる。		説明, 描写	既習の表現		
帯	Let's Talk!	[SI]自分や相手のことについて, その場でやり取りすることができる。		説明, 質問	既習の表現		
帯	Active Words	自分が言いたいことを伝えるための語彙を探して活用しよう			カテゴリー別語彙		

※3, 4年は文部科学省小学校外国語教材Let's Try! 1・2との対応を,
5, 6年は光村図書小学校英語教科書Here We Go! 5・6との対応を示しています。

英語科 観点別評価資料収集計画

各観点の目標（新学習指導要領より）

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）	・理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成）	・「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）

評価資料 \ 評価観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
定期試験	○	○	
単語テスト・単元テスト	○	○	
音読テスト		○	○
リスニングテスト		○	
会話テスト		○	○
スピーチテスト・ライティングテスト		○	○
提出物			○
授業態度・言語活動（発言・コミュニケーション）	○	○	○

〈評価の方法〉

定期試験	観点別に問題を作成し評価する
単語テスト・単元テスト	文法や単語の定着力を評価する
音読テスト	音読の力を評価する
リスニングテスト	聞き取りでの理解に力を評価する
会話テスト	日常会話を通してコミュニケーションへの能力を評価する
スピーチテスト・ライティングテスト	自分の考えなどをまとめた内容にして発表、表現する力を評価する
提出物	学期に数回点検する
授業態度・言語活動（発言・コミュニケーション）	授業態度・コミュニケーション活動への取り組み状況を観察法等で評価する

「学年の目標」 自分の町や日本文化などについて、内容を整理して伝え合うことができる。

[L] = 聞く, [R] = 読む, [SI] = 話す(やり取り), [SP] = 話す(発表), [W] = 書く

学習月	単元・教材名等	活動目標・到達目標	言語の使用場面	言語の働き	主な言語材料	時数 (計108)
4月	Unit 1 Hajin's Diary	[R]日記から、出来事や感想などを読み取ることができる。 [W]日記に、出来事や感想などを書くことができる。	学校	説明, 質問, 依頼	I went ~. / How was ~? I was studying ~. When I was ~.	9
5月	Active Grammar 1	過去の出来事や状況などを伝える言い方を整理しよう			動詞の過去形 / 過去進行形	1
	Unit 2 Basketball Tournament	[L]インタビューから、好きなことなどを聞き取ることができる。 [SI]好きなことやしたいことなどについて、たずね合うことができる。	学校	褒める, 説明, 意見, 依頼	I don't like playing ~. Hajin wants to ~. I think (that) ~.	9
6月	Active Grammar 2	~することの言い方を整理しよう			動名詞 / 不定詞(名詞的用法)	1
	Daily Life 1 電話	[SI]電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。	電話	話し掛ける, 依頼, 承諾	May I ~? Can you ~?	1
	Unit 3 Plans for the Summer	[R]メールから、予定や希望などを読み取ることができる。 [W]予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。	家庭, 電子メール	聞き直す, 歓迎, 報告, 申し出る, 質問	I'm going to ~. It will ~. If you are ~.	9
	Active Grammar 3	未来のことを伝える言い方を整理しよう			be going to / will	1
7月	Daily Life 2 アナウンス	[L]アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。	旅行	説明	既習の表現	1
	Let's Read 1 Sukh's White Horse	[R]物語から、出来事の経過を読み取ることができる。		説明, 描写	既習の表現	3
	World Tour 1 いろいろな単位	[L]日本とは異なる単位について知ろう		説明, 質問	既習の表現	1
	You Can Do It! 1	[R][SP]わが町観光プランをおすすめしよう			既習の表現	2
9月	Daily Life 3 レストラン	[SI]飲食店で、注文したり何かを依頼したりすることができる。	食事	申し出る, すすめる, 依頼	Shall I ~? Will you ~?	1
	Unit 4 Tour in New York City	[R]ガイドブックから、施設やできることなどを読み取ることができる。 [SP]施設やできることなどを言って、場所を紹介することができる。	旅行	相づち, 歓迎, 説明, 意見, 質問	There is ~. / There are ~. Show me the leaflet. a place to stay	9
	Daily Life 4 道案内	[SI]行き方をたずねたり教えたりする, 道案内のやり取りができる。	道案内	話し掛ける, 依頼する	Could you ~? How long ~?	1
10月	Active Grammar 4	動詞の後ろにくる言葉を整理しよう			目的語	1
	Unit 5 Earthquake Drill	[L]説明から、どんなものかを聞き取ることができる。 [SI]防災バッグに入れるものを決める, 話し合いをすることができる。	学校	相づち, 説明, 意見, 命令	have to / don't have to must / must not should / should not	9
	Daily Life 5 イベントのお知らせ	[R]複数の掲示物から、自分が必要とする情報を読み取ることができる。	地域の行事	説明	既習の表現	1
	Daily Life 6 体調不良	[SI]体調をたずねたり, 助言をしたりするやり取りができる。	学校	話し掛ける, 意見	I think you should ~.	1
11月	Active Grammar 5	話し手の考えを動詞に加える言葉を整理しよう			助動詞	1
	Unit 6 Work Experience	[R]レポートから、職場で体験したことや感想などを読み取ることができる。 [W]職場で体験したことや感想などを伝える, レポートを書くことができる。	学校	相づち, 報告, 意見, 質問	He's here to help you. ~ because ... I'm glad to hear ~.	9
	Active Grammar 6	to + 動詞の原形が表すいろいろな意味を整理しよう			不定詞(形容詞的用法・副詞的用法)	1
	Active Grammar 7	文と文をつなぐ言葉を整理しよう			接続詞	1
12月	Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru	[R]インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる。		説明, 質問	既習の表現	3
	World Tour 2 世界を舞台に働く人	[R]世界で活躍する人たちについて知ろう		説明	既習の表現	1
	You Can Do It! 2	[R][SI]職業診断のチャートを作ろう			既習の表現	2
1月	Unit 7 Amazing Australia	[R]観光紹介の記事から、名所や特色などを読み取ることができる。 [W]町の名所や名物などを伝える, 紹介文を書くことができる。	学校	相づち, 説明, 発表, 意見, 質問	比較級, 最上級, as ~ as ...	9
2月	Daily Life 7 観光案内	[L]音声案内から、おおまかな情報を聞き取ることができる。 [R]観光案内情報から、必要な情報を読み取ることができる。		説明	既習の表現	1
	Active Grammar 8	何かを比べて説明する言い方を整理しよう			比較表現	1
	Unit 8 Staging a Musical	[R]学級新聞から、作品紹介のおおまかな内容を読み取ることができる。 [SP]作者やおおまかな内容などを言って、好きな作品を紹介することができる。	学校	相づち, 苦情, 説明, 意見, 依頼	were written by ~ make me nervous want you to do ~	9
Active Grammar 9	何かをされると説明する言い方を整理しよう			受け身の文	1	
3月	Daily Life 8 音声ガイド	[L]音声ガイドから、絵画のおおまかな情報を聞き取ることができる。		描写	既習の表現	1
	Let's Read 3 Emojis — From Japan to the World	[R]説明文から、絵文字の概要を読み取ることができる。		説明	既習の表現	4
	World Tour 3 世界遺産めぐり	[L]いろいろな国の世界遺産について知ろう		説明	既習の表現	1
	You Can Do It! 3	[L][SP]日本のおもしろいものを紹介しよう。			既習の表現	2
	Let's Read More 1 The Statue of Liberty	[R]紹介文から、自由の女神像の歴史や見どころを読み取ることができる。			既習の表現	(1)
Let's Read More 2 Aboriginal Art	[R]紹介文から、アボリジナル・アートの歴史や特徴を読み取ることができる。			既習の表現	(2)	
帯	Story Retelling	[SP]ストーリーについて、簡単な語句や文を使い、その場で話すことができる。		説明, 描写	既習の表現	
帯	Let's Talk!	[SI]自分や相手のことについて、その場でやり取りすることができる。		説明, 質問	既習の表現	
帯	Active Words	自分が言いたいことを伝えるための語彙を探して活用しよう			カテゴリー別語彙	

英語科 観点別評価資料収集計画

各観点の目標（新学習指導要領より）

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）	・理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成）	・「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）

評価資料 \ 評価観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
定期試験	○	○	
単語テスト・単元テスト	○	○	
音読テスト		○	○
リスニングテスト		○	
会話テスト		○	○
スピーチテスト・ライティングテスト		○	○
提出物			○
授業態度・言語活動（発言・コミュニケーション）	○	○	○

〈評価の方法〉

定期試験	観点別に問題を作成し評価する
単語テスト・単元テスト	文法や単語の定着力を評価する
音読テスト	音読の力を評価する
リスニングテスト	聞き取りでの理解に力を評価する
会話テスト	日常会話を通してコミュニケーションへの能力を評価する
スピーチテスト・ライティングテスト	自分の考えなどをまとめた内容にして発表、表現する力を評価する
提出物	学期に数回点検する
授業態度・言語活動（発言・コミュニケーション）	授業態度・コミュニケーション活動への取り組み状況を観察法等で評価する

「学年の目標」これまでの自分のことや社会的な問題などについて、考えを順序立てて伝え合うことができる。

[L] = 聞く, [R] = 読む, [SI] = 話す(やり取り), [SP] = 話す(発表), [W] = 書く

学習月	単元・教材名等	活動目標・到達目標	言語の使用場面	言語の働き	主な言語材料	時数 (計95)
4月	Unit 1 School Life Around the World	[R]学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。 [SP]読んだ記事について、意見を発表することができる。	学校	相づち、説明	The classes are taught ~. Let me show you ~. Ms. Brown told us that ~.	9
5月	Daily Life 1 ディスカッション	[L]話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取ることができる。	学校	意見	既習の表現	1
	Unit 2 Our School Trip	[L]会話から、おすすめの場所やしたことなどを聞き取ることができる。 [SI]おすすめの場所について、教え合うことができる。	学校	話し掛ける、礼を言う、 描写、質問、命令	現在完了形(完了) 現在完了形(経験)	9
6月	Daily Life 2 留守番電話	[L][SI]留守番電話の伝言を聞き、用件に応じたやり取りができる。	電話	話し掛ける、依頼	既習の表現	1
	Unit 3 Lessons From Hiroshima	[R]文章から、人物の経験や心情などを読み取ることができる。 [SP]読んだ文章について、感じたことなどを発表することができる。	学校	説明、報告、意見、質問	現在完了形(継続) 現在完了進行形 It is ~ for us to	9
	Active Grammar 1	過去とつながりのある現在の状態を伝える言い方を整理しよう			現在完了形 / 現在完了進行形	2
7月	Let's Read 1 From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi	[R][SI]日記から出来事や気持ちを読み取り、筆者について想像したことを伝え合うことができる。		報告	既習の表現	4
	World Tour 1 Living With Animals	[L]絶滅危惧種の現状やその原因について知ろう		説明	既習の表現	1
	You Can Do It! 1	[L][SP]「現在」と「過去」の相違点を挙げよう		説明	既習の表現	2
9月	Unit 4 AI Technology and Language Let's Read 2 Robots Make Dreams Come True	[R]投稿文から、それぞれの意見の要点を読み取ることができる。 [W]読んだ投稿文について、感想や自分の意見を書くことができる。	学校	説明、意見	関係代名詞(主格)which, who, that	9
10月	Daily Life 3 ポスター	[R][SI]説明文の要旨を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。		説明	既習の表現	4
	Daily Life 3 ポスター	[R]ポスターから、必要な情報を読み取ることができる。	地域の行事	説明、招待	既習の表現	1
11月	Unit 5 Plastic Waste	[R]プレゼンテーションから、話の流れを読み取ることができる。 [SI]読んだプレゼンテーションについて、感想や考えを伝え合うことができる。	学校	発表、意見	関係代名詞(目的格)which, that 接触節	9
	Daily Life 4 ニュース	[L][SP]ニュースを聞いて要点を捉え、おおまかな内容を説明することができる。		報告、意見	既習の表現	1
12月	Unit 6 The Chorus Contest	[L]絵の説明から、場面や状況を聞き取ることができる。 [SP]絵にふさわしいせりふを考えて、発表することができる。	学校	相づち、褒める、説明、 意見、質問	two people playing ~ T-shirts designed by ~ Tell us why you are ~.	9
	Active Grammar 2	名詞の後ろに説明を追加する言い方を整理しよう			後置修飾	2
	You Can Do It! 2	[R][SP]学校に必要なものを考えて意見を伝えよう	学校	説明、賛成、反対	既習の表現	2
1月	Unit 7 Tina's Speech	[L]スピーチから、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取ることができる。 [SP]今の自分の様子を伝える、スピーチをすることができる。	学校	発表、仮定	what to expect ~ If I could ~, I would	7
	World Tour 2 How Do We Live?	[R]世界の現状を知ろう		説明、仮定	既習の表現	1
2月	Let's Read 3 Changing the World	[R][SI]スピーチから話し手の主張を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。		発表	既習の表現	4
3月	Unit 8 Goodbye, Tina	[R]手紙から、書き手のいちばん伝えたいことを読み取ることができる。 [W]自分の気持ちを伝える、手紙を書くことができる。	手紙	相づち、礼を言う、 約束、仮定、依頼	I wish you weren't ~.	6
	You Can Do It! 3	[R][W]3年間を締めくくる言葉を考えよう		礼を言う	既習の表現	2
	Let's Read More 1 The Runner Wearing Number 67	[R]1964年の東京オリンピックのエピソードから、選手の思いを読み取ることができる。		報告	既習の表現	(2)
	Let's Read More 2 Visas for 6,000 Lives	[R]杉原千畝の伝記から、彼の行動と思いを読み取ることができる。			既習の表現	(3)
	Let's Read More 3 The Adventure of Tom Sawyer	[R]「トム・ソーヤの冒険」の1節から、物語のおもしろさを味わったり人間の行動について考えたりすることができる。			既習の表現	(3)
帯	Story Retelling	[SP]ストーリーについて、簡単な語句や文を使い、その場で話すことができる。		説明、描写	既習の表現	
帯	Let's Talk!	[SI]自分や相手のことについて、その場でやり取りすることができる。		説明、質問	既習の表現	
帯	Active Words	自分が言いたいことを伝えるための語彙を探して活用しよう			カテゴリ別語彙	

英語科 観点別評価資料収集計画

〇〇中学校英語科の重点

各観点の目標（新学習指導要領より）

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）	・理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成）	・「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）

評価資料 \ 評価観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
定期試験		(AリスO)	
小テスト			
読みテスト	(AO)		(AOJET)
会話テスト		(AOAET)	(AOJET)
スピーチテスト(A)		(AOAET)	(AOJET)
提出物			
授業態度（発言・ボランティア・取り組み等）			(AO)
言語活動（コミュニケーション）			(AO)

〈評価の方法〉

定期試験	観点別に問題を作成し評価する
小テスト	文法や単語の定着力を評価する
読みテスト	音読の力を評価する
会話テスト	日常会話を通してコミュニケーションへの能力を評価する
スピーチテスト	自分の考えなどをまとめた内容にして発表する力を評価する
提出物	学期に数回点検する
授業態度（発言・ボランティア・取り組み等）	授業への取り組みを評価する
言語活動（コミュニケーション）	コミュニケーション活動への取り組み状況を観察法等で評価する